

宮古島市スポーツマネジメントプラン

～ 施設・人・地域の好循環を目指して～



平成 26 年 3 月

宮古島市教育委員会

目次

1章 はじめに	1
(1) 背景と目的	1
(2) スポーツマネジメントプランの位置づけ	3
(3) 計画の期間	4
2章 スポーツに関する現況	5
(1) 上位・関連計画の整理	5
(2) 宮古島市の概況	14
(3) スポーツに関する意向	28
(4) スポーツ施設に関する現状について	35
3章 公共スポーツ施設における現状整理と課題	64
(1) 現状の整理	64
(2) 課題	66
4章 スポーツマネジメントの基本方針	67
(1) スポーツマネジメントの目指すべき姿	67
(2) 基本方針	68
(3) 基本方針別の取り組み内容	69
5章 スポーツマネジメントプラン	81
(1) 特定の競技に特化した拠点施設の形成	82
(2) スポーツ振興のためのエリア	88
6章 スポーツマネジメントプラン エリア整備計画	91
(1) 目指すべき環境と期待される効果	92
(2) 各エリアで整備を優先する施設の選定	92
(3) 優先する施設における必要な整備内容及び整備スケジュール	96
(4) 各施設の今後の整備の方向性	98
7章 モデル事業～宮古島型地域スポーツ循環システム～	100
(1) 事業の目的	100
(2) 事業の概要	102
(3) 事業期間	105
(4) スケジュール	105
(5) 実現に向けた今後の取り組み	105
8章 実現に向けて	106
(1) 進行管理	106

(2) 今後のスポーツ振興に向けた提案.....	107
資料編	109
(1) 施設分類別の状況.....	110
(2) アンケート調査.....	133
(3) 策定の経過.....	143
(4) 検討に関わる組織の設置要綱及び委員名簿.....	144
(5) 宮古島市スポーツ推進委員会検討委員会について.....	146

1章 はじめに

(1)背景と目的

国では平成 23 年（2011）、スポーツ振興法が 50 年振りに改正されて「スポーツ基本法」が制定され、続く平成 24 年（2012）3月 30 日には「スポーツ基本計画」が策定されました。

「スポーツ基本法」では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての国民の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない」と規定するとともに、多面にわたるスポーツの果たす役割の重要性に鑑み、国家戦略としてスポーツを総合的・計画的に推進することを一層明確にしています。

「スポーツ基本計画」では、平成 24 年度（2012）から 10 年間を見通した概ね 5 年間で計画期間とし、5つの基本方針のもと「年齢や性別、障がい等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができるスポーツ環境を整備」するとしています。

また、平成 24 年（2012）3月 30 日に閣議決定された「観光立国推進基本計画」の中では、地域スポーツコミッションの設立を促すとともに、情報の集約・発信、国際スポーツイベントの誘致・開催支援などを担うスポーツツーリズム推進連携組織を創設するなどの「スポーツツーリズムの推進」が、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策として挙げられて、スポーツを活用した観光振興を図ることを示しています。

沖縄県においては、県の新たな将来ビジョンであり、世界水準の観光リゾート地の実現を目指すとしている「沖縄 21 世紀ビジョン」の他、沖縄観光が国内外に広く認知される基盤の構築を目指し、スポーツを活用した観光を推進するとともに大規模なスポーツコンベンションに対応できる施設整備を進めるとしている「沖縄県観光振興基本計画」及び、児童の体力向上などの学校体育全般や健康増進に関わる生涯スポーツの方向性を示している「沖縄県教育振興基本計画」が策定されるなど、スポーツ行政を取り巻く状況は大きく変化しています。また、これまでの「沖縄県スポーツ振興基本計画」に替わる新たな計画として平成 25 年（2013）3月に、今後のスポーツ振興のあり方、スポーツ活動の普及・推進による活力ある地域社会の形成及び新たな産業の振興について、基本的な方向性を示した「沖縄県スポーツ推進計画」が策定されました。

「沖縄県スポーツ推進計画」では、沖縄県の特長である地理的・自然的条件とスポーツ資源を有効に活かした、「スポーツアイランド沖縄」の形成とともに、国際的な沖縄観光ブランドの確立や世界との交流ネットワークの構築を目指すものとしています。また、大規模な国際競技大会等の開催は、沖縄のイメージや知名度を上げるプロモーション

ョンの場や機会ともなり、国内外からのスポーツツーリズム等の観光客の増大にも寄与するとしています。

宮古島市では、スポーツを活用した人材育成と交流促進を基本とする地域活性化戦略として「スポーツアイランド構想」を掲げ、スポーツ振興および宮古島圏域の活性化に貢献してきました。しかし、近年の社会情勢はめまぐるしく変化しており、社会的ニーズも大きく変化する等、スポーツ振興の新たな展開を図る必要がでてきています。

平成24年(2012)4月に策定した「第1次宮古島市総合計画【後期計画】」では、より社会ニーズに適した「スポーツアイランド」を形成するために、スポーツ活動の舞台となる自然環境の保全とスポーツを通じた交流促進と健康づくり、スポーツ施設の整備、スポーツを活用した観光振興などを示しています。

平成24年(2012)6月に策定した「宮古島市教育ビジョン(教育振興基本計画)」では、スポーツ振興の基本方針を「気軽にスポーツに親しむ環境づくりと健康の保持増進及び体力向上」が示されており、生涯スポーツと競技スポーツの拡大を図っていくためにも、スポーツ施設の充実と有効活用、人材育成の推進・活用の方向性が示されています。

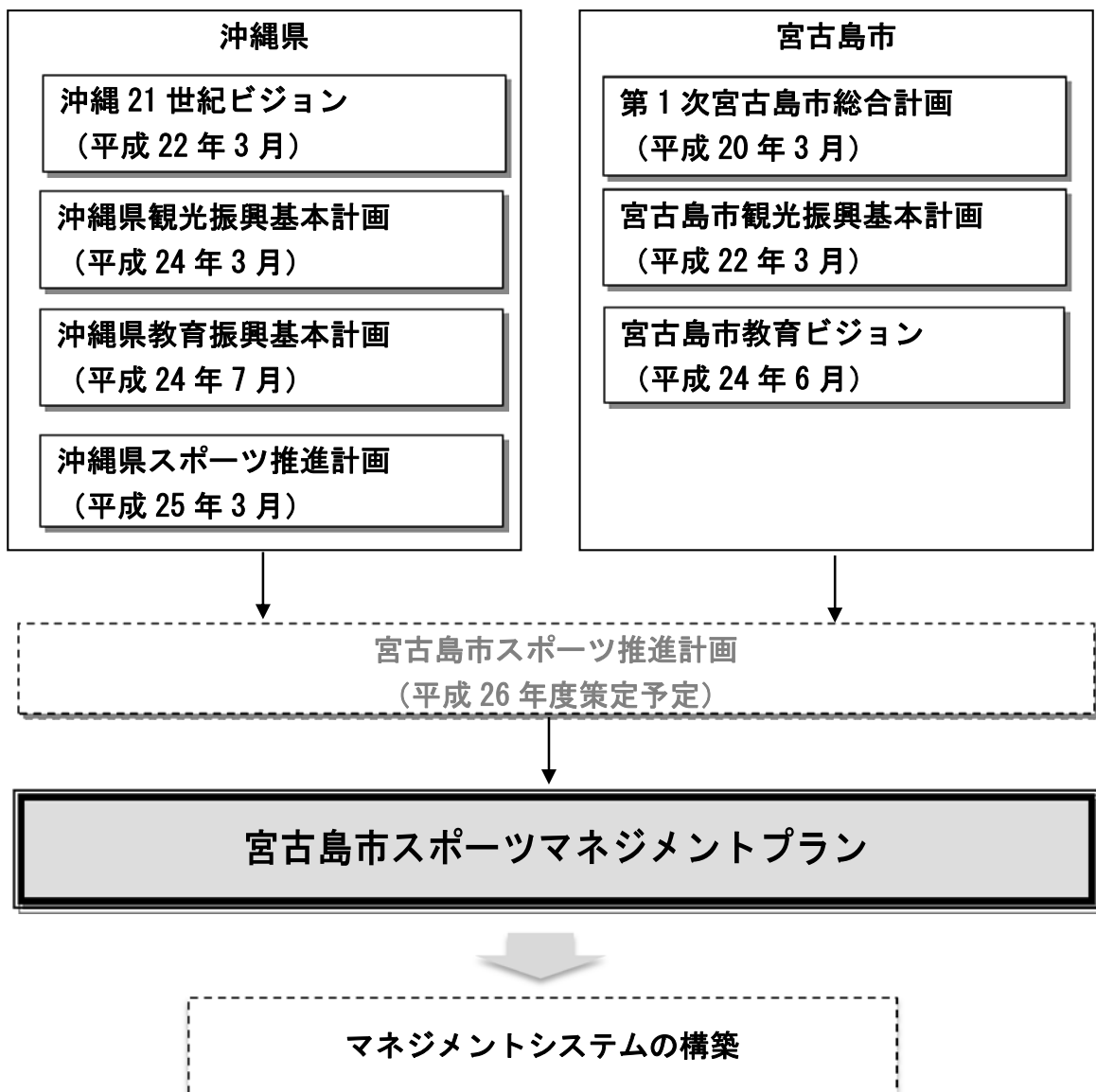
「宮古島市スポーツマネジメントプラン」は、スポーツを活用した観光振興及び地域活性化につなげることを目的とし、宮古島市の資源を活かして、市独自の戦略により「施設」、「人材」、「コスト」、「情報」を総合的かつ計画的にマネジメントすることにより、スポーツ施設の有効活用と人材の育成・活用を推進していきます。

なお、スポーツの活用による観光振興を図るための基盤となる施設の有効活用と人材の育成・活用については、優先的に整備を行う必要があるため、「宮古島市スポーツ推進計画(策定予定)」に先駆け、「宮古島市スポーツマネジメントプラン」を策定することとします。

(2)スポーツマネジメントプランの位置づけ

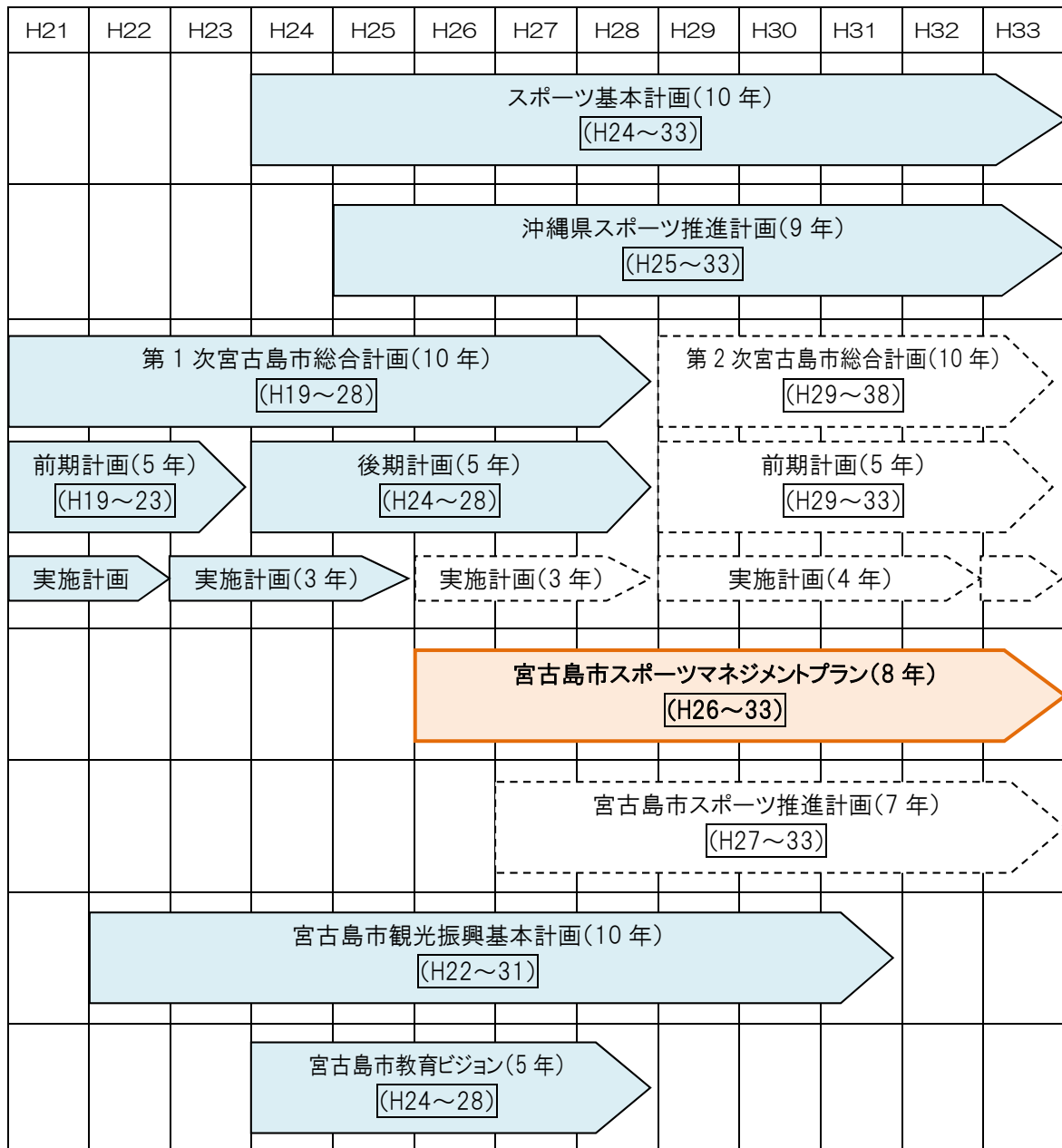
宮古島市スポーツマネジメントプランは、上位計画である総合計画や関連する個別計画との整合を図り、スポーツ推進計画のアクションプランとして、スポーツを活用した観光振興及び地域活性化につながる計画として位置付けます。

また、目標を達成するための仕組みであるマネジメントシステムの構築を目指します。



(3)計画の期間

計画の期間は、次期総合計画の前期計画の期間に合わせ、平成26年度(2014)から平成33年度(2021)の8年間とします。期間中は、社会情勢の変化や、国のスポーツ基本計画や本市の総合計画など関連する計画等との整合性に留意し、必要に応じて見直しを行うなど適切に対応します。



2章 スポーツに関する現況

(1) 上位・関連計画の整理

計画策定にあたり、上位計画・関連計画を整理します。

① スポーツ基本計画（平成 24 年（2012）3 月 文部科学省）

<p>計画目標</p>	<p><目指すべき具体的な社会の姿></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 青少年が健全に育ち、他者との協同や公正さと規律を重んじる社会 ② 健康で活力に満ちた長寿社会 ③ 地域の人々の主体的な協働により、深い絆で結ばれた一体感や活力がある地域社会 ④ 国民が自国に誇りを持ち、経済的に発展し、活力ある社会 ⑤ 平和と友好に貢献し、国際的に信頼され、尊敬される国 <p><政策目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子どものスポーツ機会の充実 ② ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ③ 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備 ④ 国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備 ⑤ オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会の招致・開催等を通じた国際貢献・交流の推進 ⑥ スポーツ界における好循環の創出
<p>計画期間</p>	<p>計画の期間は、10年間程度を見通した平成 24 年度（2012）からの概ね 5 年間。</p>
<p>計画内容</p>	<p><今後 5 年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策></p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 2. 若者のスポーツ参加機会の拡充や高齢者の体力づくり支援等のライフステージに応じたスポーツ活動の推進 3. 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備 4. 国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備 5. オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等を通じた国際交流・貢献の推進 6. ドーピング防止やスポーツ仲裁等の推進によるスポーツ界の透明性、公平・公正性の向上 7. スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

② 沖縄 21 世紀ビジョン（平成 22 年（2010）3 月 沖縄県）

<p>計画目標</p>	<p><計画の性格></p> <p>県民の参画と共同のもとに、将来のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性等を明らかにする「基本構想」。</p> <p><基本理念></p> <p>21 世紀に求められる人権尊重と共生の精神を基に、“時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合う平和で豊かな「美ら島」おきなわ”を創造する。</p> <p><めざすべき5つの将来像></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島 2) 心豊かで、安全・安心に暮らせる島 3) 希望と活力にあふれる豊かな島 4) 世界に開かれた交流と共生の島 5) 多様な能力を発揮し、未来を拓く島 <p><各圏域の機能整備の方向性></p> <p>[宮古圏域]</p> <p>固有の自然や文化等の風土に根ざし、美しい海や白い砂浜、周辺離島を含めた風景・景観を活かすとともに、広域的なレクリエーション需要に対応した広域公園の整備に努める。</p>
<p>計画期間</p>	<p>計画の期間は、平成 42 年（2030）を目途とする。</p>
<p>計画内容</p>	<p><スポーツ振興に関する内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の健康な体づくりに向けて、年間を通して温暖な「スポーツアイランド」にふさわしい豊かなスポーツ・レクリエーション環境の整備を図るとともに、誰もがスポーツに親しみ、心身ともに健康で生きがいのある人生を送ることのできる生涯スポーツ社会の実現に取り組む。 ・ 年間を通して温暖な沖縄の亜熱帯性の気候を活かし、プロからアマチュアに至る幅広い各種スポーツ大会やイベントの開催、キャンプや合宿の誘致を促進するとともに、これらスポーツを活用した関連ビジネスの創出など「スポーツアイランド」の形成に向けて取り組む。

③ 沖縄県観光振興基本計画（平成 24 年（2012）3 月 沖縄県）

<p>計画目標</p>	<p><計画の性格></p> <p>「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」を踏まえつつ、観光の振興に関する基本的な方向を明らかにする。</p> <p>沖縄観光にかかわるすべての人が認識すべき 10 年後の沖縄観光のビジョンを指し示す計画であり、各主体が協働してそのビジョンを着実に実現するための基本方針を示すものである。</p> <p><計画の目標></p> <p>本計画は、観光の振興によって真に美しい豊かな郷土の創出を目指す施策を推進するとともに、沖縄全体の今後の目指すべき姿を指し示す沖縄 21 世紀ビジョンで掲げる「世界水準の観光リゾート地」の実現に向けて、沖縄観光が国内外に広く認知される基盤を構築することを目的とする。</p>
<p>計画期間</p>	<p>計画の期間は、平成 24 年度（2012）から平成 33 年度（2021）までの 10 か年とする。</p>
<p>計画内容</p>	<p><スポーツ振興に関する内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの展開 <p>温暖な気候や既存のインフラを活かして、野球やサッカーなどの各種キャンプ・大会の誘致などスポーツを活用した観光を推進する。</p> <p>また、サッカーの国際試合など大規模なスポーツコンベンションに対応できる全天候型多目的施設などの施設整備を進めるとともに、野球のキャンプ地訪問観光や、サッカー、バスケットボールなどの地元チームを活用した観光の推進を図り、県民と観光客が一体となって楽しめる観光を促進する。</p> <p><宮古島に関する内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・離島特性の活用 <p>離島アクセスの円滑化や離島間ネットワークの整備、離島における観光施設の整備、着地型観光プログラム等の開発を促進し、県民生活との調和を図りながら、多くの個性ある島々が点在する沖縄の特徴を活かした離島観光の振興を図る。</p> ・宮古圏域 <p>恵まれた自然環境、景観を活かした海洋レジャー、自然観察など多様な取組を促進する。</p> <p>島々の特性に応じた各種イベントの充実を図り、スポーツアイランドの形成など本圏域ならではの特色ある取組を促進する。</p>

④ 沖縄県教育振興基本計画（平成 24 年（2012） 沖縄県）

<p>計画目標</p>	<p><計画の性格></p> <p>(1) 大きな時代の転換期の中で、教育をめぐる諸課題の解決を図り、新しい時代に対応した本県教育の在り方についての新たな視点と方向性を示すものである。</p> <p>(2) 希望と活力にあふれる豊かな県づくりのため、その基盤となる人材育成を図るためのものである。</p> <p>(3) 本県教育の振興のための施策に関する基本的な計画として策定するものであり、教育行政運営の基本となるものである。</p> <p>(4) 本県教育の在り方について、広く県民の理解と協力を求めるのである。</p> <p><計画の目標></p> <p>創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児・児童・生徒を育成 ○国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成 ○生涯学習社会の実現を図る ○時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、改善していく資質を有する人材を育成
<p>計画期間</p>	<p>計画の期間は、平成 24 年度（2012）から平成 33 年度（2021）までの 10 年間。（一部平成 28 年度（2016）までの 5 年間の前期計画）</p>
<p>計画内容</p>	<p><スポーツに関する内容></p> <p>主要施策 2：自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実</p> <p>(3) たくましい心と体を育む教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒スポーツ学習指導の工夫・改善を図る ⇒運動部活動の活性化や適正化を促進 ⇒発達段階に応じた基礎的な体力の向上 <p>主要施策 8：健康な体をつくり県民が輝くスポーツの振興</p> <p>(1) 県民一人一人が輝く生涯スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒生涯スポーツ社会の実現 ⇒スポーツに親しめる環境の整備・拡充 ⇒地域住民主体のスポーツ活動の促進、スポーツ人口の拡大 <p>(2) 県民に夢と希望を与える競技スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒本県トップアスリートの育成・強化の推進 ⇒スポーツ団体の育成・強化、指導者の養成・確保 ⇒トップレベルのスポーツイベント等の誘致の促進 <p>(3) 社会体育施設の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒誰でも気軽に利用できる社会体育施設の整備・充実 ⇒全国規模の大会等が開催できる社会体育施設の整備

⑤ 沖縄県スポーツ推進計画（平成 25 年（2013）3 月 沖縄県）

<p>計画目標</p>	<p><計画の性格></p> <p>① 「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」のスポーツ分野における沖縄のあるべき将来像の実現を図る取組の基本的方向をより具体的に示す。</p> <p>② 沖縄県内で展開されるスポーツの普及・発展を目指したものであり、県民に限らず広く県外や海外の人々も含め、それぞれのスポーツ享受を楽しく豊かなものにする。</p> <p>③ スポーツの多様な展開を通じてまちづくりや地域の活性化に寄与するという性格を持つとともに、スポーツ分野の産業振興や雇用創出を図るという性格を持つ。</p> <p><計画の目標></p> <p>本計画においては、本県の特徴である地理的・自然的条件とスポーツ資源を有効に活かした、「スポーツアイランド沖縄」の形成とともに、国際的な沖縄観光ブランドの確立や世界との交流ネットワークの構築を目指す。</p> <p><目指す将来像></p> <p>『アジア、世界に開かれたスポーツアイランド』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にするスポーツアイランド 2 心豊かで、安全・安心に暮らせるスポーツアイランド 3 希望と活力にあふれる豊かなスポーツアイランド 4 世界に開かれた交流と共生のスポーツアイランド 5 多様な能力を発揮し、未来に拓くスポーツアイランド
<p>計画期間</p>	<p>計画の期間は、平成 25 年度（2013）から平成 33 年度（2021）までの 9 年間。</p>
<p>計画内容</p>	<p><基本施策></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 2 一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動の推進 3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備 4 トップスポーツを目指す競技力の向上に向けたスポーツ環境の整備 5 トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進 6 スポーツを活用した地域活性化の推進 7 地域のスポーツ資源を活かした特色あるスポーツの推進

⑥ 第1次宮古島市総合計画（平成20年（2008）3月 宮古島市）

<p>計画目標</p>	<p>＜総合計画における理念＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地下水保全及び環境保全 ●産業振興と雇用の創出 <ul style="list-style-type: none"> ⇒スポーツイベント等を通じた人材育成 ⇒スポーツアイランドとしての魅力向上 ●宮古の未来を担う人づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒子どもたちの健全育成 ●定住魅力の強化 ●安全・安心で快適な暮らしの創出 <p>＜島づくりのテーマ、将来像＞</p> <p>『こころつなぐ 結いの島 宮古』 ～みんなでつくる 元気で誇れる島づくり～</p> <p>＜島づくりの基本目標＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地下水に配慮した資源循環型社会、花と緑であふれる島 ○明日に夢をつなぐ活力と多彩な交流によるにぎわいのある島 ○個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島 ○笑顔とふれあいで、ともに支えあう健康福祉の島 ○快適な暮らしを支える生活基盤の整った島 ○住民と行政の協働による自立した島
<p>計画期間</p>	<p>平成19年度（2007）から平成28年（2016）までの10年間</p>
<p>計画内容</p>	<p>＜スポーツ振興に関する内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツアイランドの振興 <ul style="list-style-type: none"> ⇒各種スポーツのキャンプ地としての受け入れ体制の整備 ⇒スポーツアイランド宮古島を国内外に幅広くアピール ⇒市民がスポーツを気軽に楽しむことができる環境整備 ○みんなで学ぶ生涯学習・生涯スポーツの充実＜生涯スポーツの充実＞ <ul style="list-style-type: none"> ⇒身近なスポーツ施設を活用した市民スポーツの振興 ⇒指導者の育成強化 ○健やかな生活を支える健康づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒市民参加型のスポーツイベント等の参加機会の拡充 ⇒地域ぐるみの自主的な健康づくり活動を促進

⑦ 宮古島市教育ビジョン（平成 24 年（2012）6 月 宮古島市）

<p>計画目標</p>	<p><基本理念></p> <p>宮古島市教育ビジョンでは、「郷土の自然と文化に誇りを持ち、心豊かで創造性・社会性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興」を基本として定め、教育の振興を図る。</p> <p><教育目標></p> <p>① 自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ、幼児・児童・生徒を育成する。</p> <p>② 平和で安らぎと活力のある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し国際化・情報化社会で活躍する心身ともに健全な市民を育成する。</p> <p>③ 学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応しながら、結いの心を大切にした生涯学習社会の実現を図る。</p> <p>④ 宮古の美しい自然を守り、島の未来を拓く新たな時代に対応できる創造性溢れる人材を育成する。</p> <p><宮古島市の子ども像></p> <p>～宮古の自然や文化に誇りを持ち、国際化時代をたくましく生きる創造性に溢れた明るい子～</p>
<p>計画期間</p>	<p>平成 24 年度（2012）から平成 28 年度（2016）までの 5 年間</p>
<p>計画内容</p>	<p><スポーツ振興に関する内容></p> <p>○スポーツ振興 ～スポーツアイランドの確立～</p> <p>「気軽にスポーツに親しむ環境づくりと健康の保持増進及び体力向上を目指します。」</p> <p>1 生涯スポーツの推進</p> <p>生涯（軽）スポーツの普及発展 各種スポーツ教室・講習会の充実 総合型地域スポーツクラブの促進 スポーツ施設の充実と有効活用</p> <p>2 競技スポーツの充実</p> <p>指導者の講習会の充実と県大会の誘致 講習会及び実技指導の推進 リーダーバンクの活用 競技スポーツ人口の拡大 児童・生徒のアスリート育成 各種スポーツ団体の活動支援</p>

⑧ 宮古島市観光振興基本計画（平成 22 年（2010）3 月 宮古島市）

<p>計画目標</p>	<p>＜基本理念＞</p> <p>『みんなの「ちょっと」を持ち寄った 美^みぎ島^{しま}づくり』 ～いつまでも人と海・自然を誇れる美^みぎ島を目指して～</p> <p>＜観光振興の方向性＞</p> <p>(1) 質の向上</p> <p>① 既存の魅力向上と新たな魅力づくり</p> <p>② 観光資源の保全と活用と既存の質の向上</p> <p>③ 観光地の整備</p> <p>(2) 誘客・受け入れ態勢の強化</p> <p>① 市民参加の仕組みづくり</p> <p>② 誘客・受入体制の整備</p> <p>③ 推進体制の整備</p>
<p>計画期間</p>	<p>平成 22 年度（2010）から平成 31 年度（2019）までの 10 年間</p>
<p>計画内容</p>	<p>＜スポーツ振興に関する内容＞</p> <p>(3) 人や伝統・文化を活かした観光地づくり</p> <p>3) まつり・イベントを活かした観光地づくり</p> <p>⇒イベントを通して「スポーツアイランド宮古島」を国内外に広くアピールしていく。</p> <p>⇒各種スポーツイベントのレベルアップを図るとともに、新たなイベントの創出について検討を行う。</p> <p>(4) 施設や資源を活かした観光地づくり</p> <p>1) 温暖な気候と充実した施設を活かしたスポーツアイランドの推進</p> <p>⇒充実したスポーツ施設を活かし、プロ・社会人・大学等の各種スポーツキャンプ・合宿の誘致を促進する。</p> <p>⇒スポーツキャンプ・合宿の誘致に向けてスポーツ施設の充実を図るとともに、各施設へのアクセスの向上に努め、受け入れ体制の整備に努める。</p> <p>⇒スポーツキャンプ・合宿で来島したアスリートやその指導者との交流を図り、高度な技術力や戦術、指導方法などを体育指導員やスポーツ指導員の育成強化に生かし、市内スポーツ振興につなげ、地域活性化を図る。</p>

⑨ 上位関連計画のまとめ

上位関連計画では、生涯スポーツ、競技スポーツの充実の他に、観光関連計画で、スポーツイベントやスポーツ合宿に関する取り組みについて挙げられていることから、本市のスポーツの振興は、観光の視点を含めた地域活性化を図る取り組みが求められています。

スポーツ基本計画	<p><今後5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 2. ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 3. 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備 4. 国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備 5. 国際競技大会等の招致・開催等を通じた国際交流・貢献の推進 6. スポーツ界の透明性、公平・公正性の向上 7. トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進
沖縄 21 世紀ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツ・レクリエーション環境の整備を図る ・生涯スポーツ社会の実現に取り組む。 ・各種スポーツ大会やイベントの開催、キャンプや合宿の誘致を促進するとともに、これらスポーツを活用した関連ビジネスの創出など「スポーツアイランド」の形成に向けて取り組む。
沖縄県観光振興基本計画	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの展開 ・宮古圏域：各種イベントの充実を図り、スポーツアイランドの形成など特色ある取組を促進
沖縄県教育振興基本計画	<p>主要施策 2：自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実 主要施策 8：健康な体をつくり県民が輝くスポーツの振興</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 県民一人一人が輝く生涯スポーツの推進 (2) 県民に夢と希望を与える競技スポーツの推進
沖縄県スポーツ推進計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実 2 一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動の推進 3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備 4 トップスポーツを目指す競技力の向上に向けたスポーツ環境の整備 5 トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進 6 スポーツを活用した地域活性化の推進 7 地域のスポーツ資源を活かした特色あるスポーツの推進
第 1 次宮古島市総合計画	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツアイランドの振興 ○みんなで学ぶ生涯学習・生涯スポーツの充実<生涯スポーツの充実> ○健やかな生活を支える健康づくりの推進
宮古島市教育ビジョン	<p>「気軽にスポーツに親しむ環境づくりと健康の保持増進及び体力向上を目指します。」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生涯スポーツの推進 2 競技スポーツの充実
宮古島市観光振興基本計画	<p>「スポーツアイランド宮古島」を国内外に広くアピール。 温暖な気候と充実した施設を活かしたスポーツアイランドの推進</p>

(2)宮古島市の概況

宮古島市全体のスポーツ環境を取り巻く概況を整理します。

1) 地理的特性

宮古諸島は、北緯 24 度から 25 度、東経 125 度から 126 度を結ぶ編目の中に位置し、沖縄本島から南西約 300km、東京から約 2,000km に位置しています。市域は宮古島を中心とした大小 6 つの有人島（宮古島、池間島、来間島、伊良部島、下地島、大神島）から構成されており、総面積は 204.60k m²です。

宮古島内は池間大橋、来間大橋などの架橋が整備されたことにより、宮古空港からもっとも遠い沿岸部（池間島、東平安名崎）でも、車で約 30 分程度で着くことができるようになってきました。さらに、伊良部大橋の建設が進んでおり、平成 27 年（2015）には宮古島と伊良部島・下地島において、陸路でのアクセスが可能となり、大神島を除き 5 つの橋梁で結ばれることとなります。

■宮古島市の広域的な立地状況



出典：宮古島ネット

■宮古島市の地理状況



2) 自然

宮古島は美しい海岸線・白い砂浜、サンゴ礁、海の透明度は沖縄随一です。宮古島（本島）は1周約100kmで島全体が概ね平坦です。宮古島の海が綺麗な理由のひとつは、河川水を通じて泥などが海に流入しないためといわれています。標高の最も高い所（ンキヤフス嶺とナカオ嶺）で115mです。

美しい海と自然に恵まれ、自然のフィールドをフルに使ってスポーツに打ち込める最高水準の環境があります。



与那覇前浜ビーチ



東平安名崎



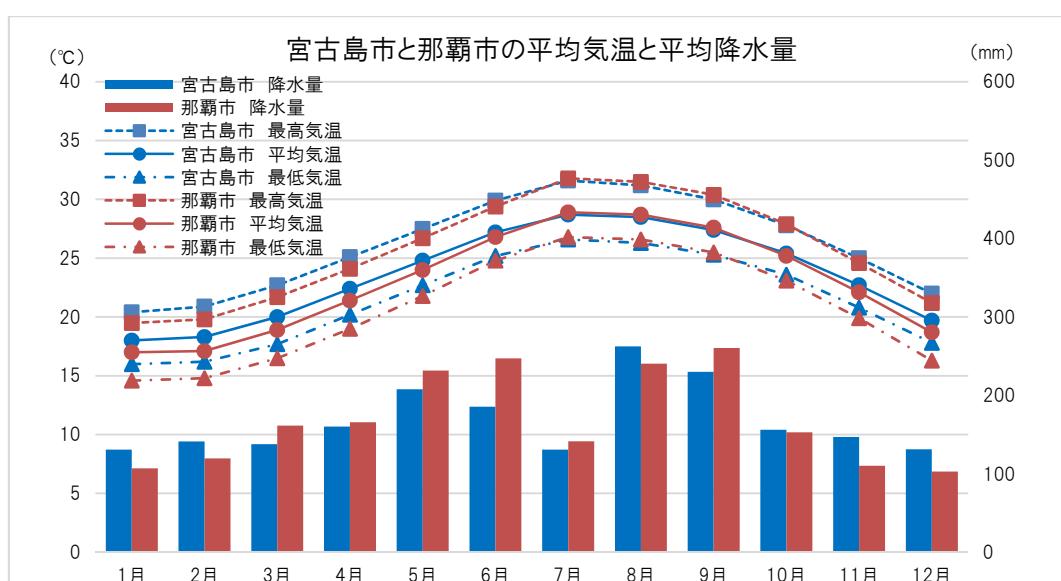
砂山ビーチ

3) 気候

年間平均気温は摂氏23.6度、平均降水量2,021mmで亜熱帯海岸性気候に属しています。最も寒い1~2月でも気温10~15度で東京の4月頃の気温です。

那覇市と気候を比較すると、気温は宮古島市の方がやや高く、月ごとに降水量の変動はありますが、那覇市の平均降水量2,041mmと大きな差はありません。

年間を通じて温暖な気候のため、冬でも快適なスポーツ環境となっています。

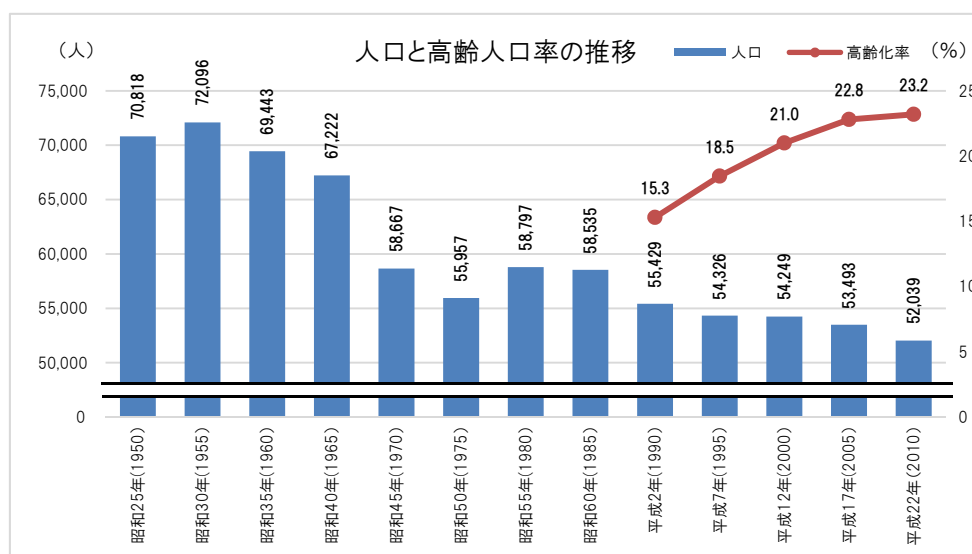


出典：気象庁

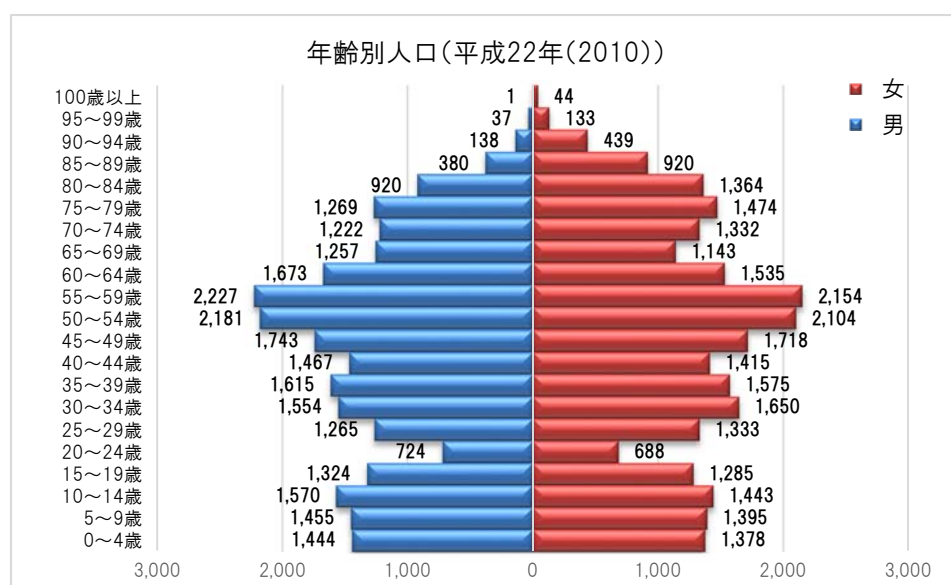
4) 人口

人口は、昭和30年（1955）にピークを迎え、昭和30年（1955）から平成22年（2010）までの約55年間で20,057人、率にして27.8%減少しています。高齢者（65歳以上）比率は、平成2年（1990）から平成22年（2010）までの約20年間で15.3%から23.3%と大きく比率が高くなっています。

平成22年度（2010）の年齢別人口では、20～24歳の人口が、極端に少なくなっており、これは市外の大学や専門学校に進学するためであると考えられます。



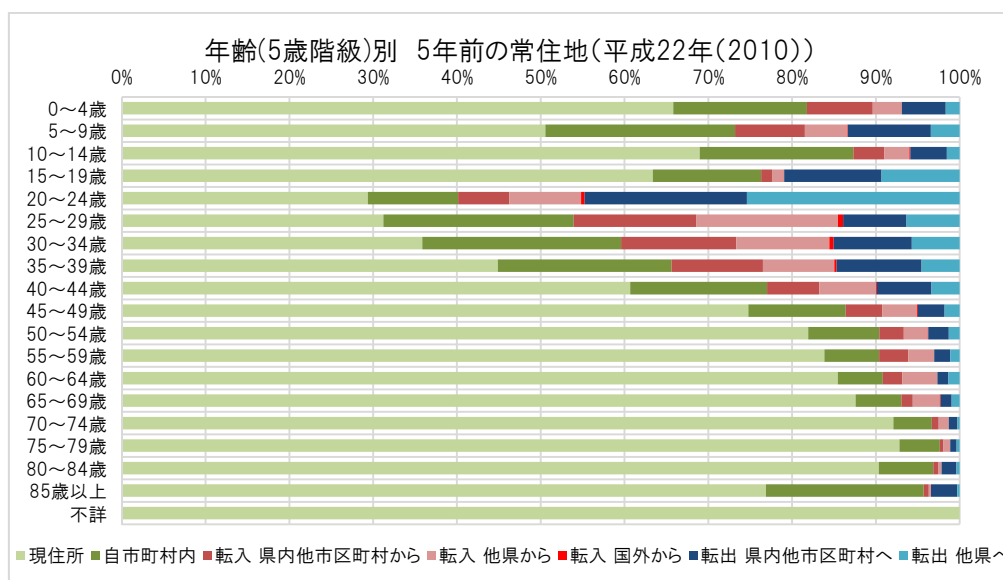
出典：平成22年国勢調査



出典：平成22年国勢調査

年齢別の人口に占める5年前の常住地別の割合をみると、転入の割合が最も多いのは「25～29歳」で、次いで「30～34歳」となっています。転出の割合が最も多いのは、「20～24歳」で、次いで「15～19歳」となっています。

転出が10代後半から20代前半に多くなっているのは、市外の大学や専門学校に進学するためであると考えられます。



出典：平成22年国勢調査

年齢別の常駐地に占める就業・通学者の流出率が最も高いのは、「20～24歳」で、次いで「15～19歳」となっています。年齢別の就業地に占める就業・通学者の流入率が最も高いのは「25～29歳」で、次いで「35～39歳」となっています。

■年齢(5歳階級)別の常住地又は従業地・通学地による人口

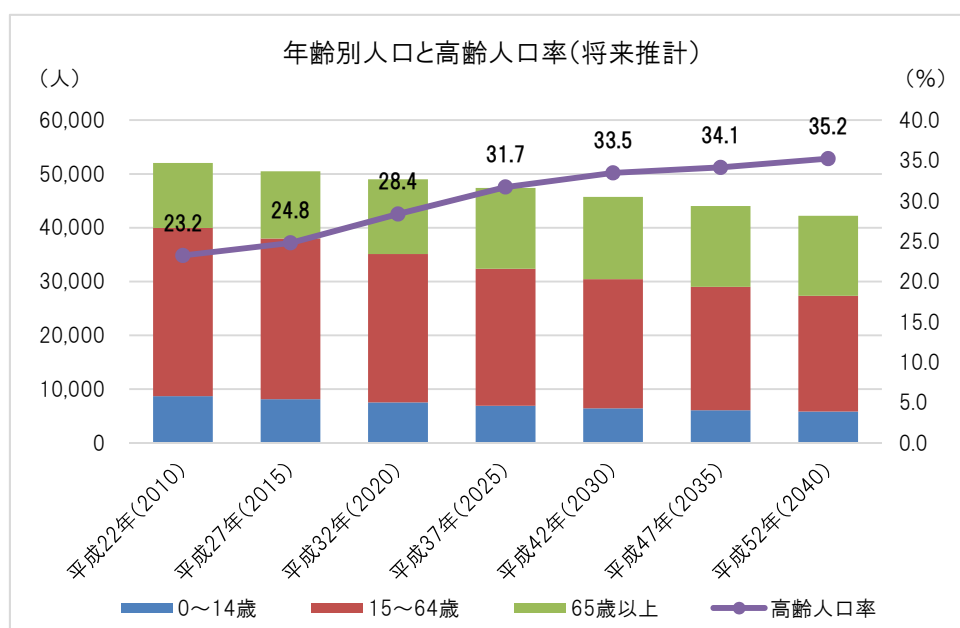
	常駐地による 就業・通学者 数(人)	流出		従業地による 就業・通学者 数(人)	流入		就業・通学者 比率(従/常) (%)
		就業・通学者 (人)	流失率(%)		就業・通学者 (人)	流入率(%)	
宮古島市	52,039	177	0.34	52,115	113	0.22	100.15
15歳未満	8,685	9	0.10	8,687	2	0.02	100.02
15～19歳	2,609	27	1.03	2,604	2	0.08	99.81
20～24歳	1,412	24	1.70	1,406	6	0.43	99.58
25～29歳	2,598	22	0.85	2,609	15	0.57	100.42
30～34歳	3,204	20	0.62	3,210	8	0.25	100.19
35～39歳	3,190	12	0.38	3,202	14	0.44	100.38
40～44歳	2,882	13	0.45	2,894	12	0.41	100.42
45～49歳	3,461	7	0.20	3,474	14	0.40	100.38
50～54歳	4,285	15	0.35	4,297	15	0.35	100.28
55～59歳	4,381	10	0.23	4,391	12	0.27	100.23
60～64歳	3,208	12	0.37	3,213	8	0.25	100.16
65～69歳	2,400	3	0.13	2,402	2	0.08	100.08
70～74歳	2,554	1	0.04	2,555	1	0.04	100.04
75～79歳	2,743	1	0.04	2,744	2	0.07	100.04
80～84歳	2,284	1	0.04	2,284	0	0.00	100.00
85歳以上	2,092	0	0.00	2,092	0	0.00	100.00
不詳	51	0	0.00	51	0	0.00	100.00

出典：平成22年国勢調査

国立社会保障・人口問題研究所による人口将来推計では、宮古島の人口は、平成22年(2010)から平成52年(2040)までの30年間で9,830人、率にして19%減少すると推計しています。

また、高齢(65歳以上)比率をみると、平成22年(2010)から平成52年(2040)までの30年間で、23.2%から35.2%と大きく比率が高くなる推計が示されています。

人口は減少傾向にあり、今後も減少していく見通しのため、スポーツの競技人口やスポーツを支えるボランティアも減少することが想定されます。また、若年層の流出によってさらに少子高齢化進むことが懸念されます。



出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』

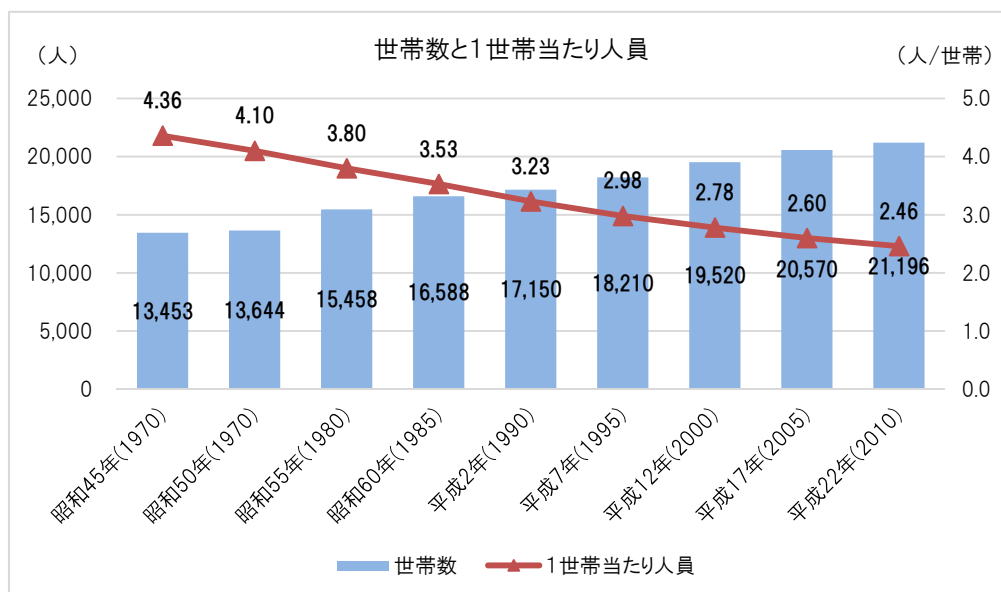
■年齢別人口と高齢人口率（国立社会保障・人口問題研究所） (単位：人、%)

		平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)
年齢別 人口	0~14歳	8,686	8,111	7,525	6,908	6,411	6,063	5,825
	15~29歳	6,628	5,976	6,287	6,354	6,059	5,616	5,168
	30~64歳	24,640	23,893	21,303	19,115	17,969	17,333	16,350
	65歳以上	12,084	12,510	13,898	15,027	15,303	15,035	14,866
高齢人口率		44.1	47.0	50.2	53.1	55.1	56.3	57.5

出典：国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）』

5) 世帯数

世帯数は、昭和45年(1970)から平成22年(2010)までの約40年間で7,743世帯と、人口の減少に対して世帯数は大幅に増加しており、1世帯当たり人員は4.36人から2.46人と減少しています。これは、核家族化によって1世帯の平均世帯人員が減少していることを示しています。



出典：平成22年国勢調査

1世帯当たり人員を平成12年(2000)から平成22年(2010)の実測値をもとに、トレンド法による簡易推計によって算出し、その結果と国立社会保障・人口問題研究所による人口将来推計から世帯数を算出した結果は以下のとおりです。

現在と同様のペースで核家族化等が進行した場合、1世帯当たり人員が大幅に減少する反面、世帯数は増加し、平成52年(2040)には世帯数は28,328世帯、1世帯当たり人員は1.49人と推計されます。

1世帯当たりの人員が減少していくことにより、今後も、核家族化が進んでいくことが想定されます。

■1世帯当たり人員と世帯数の推計

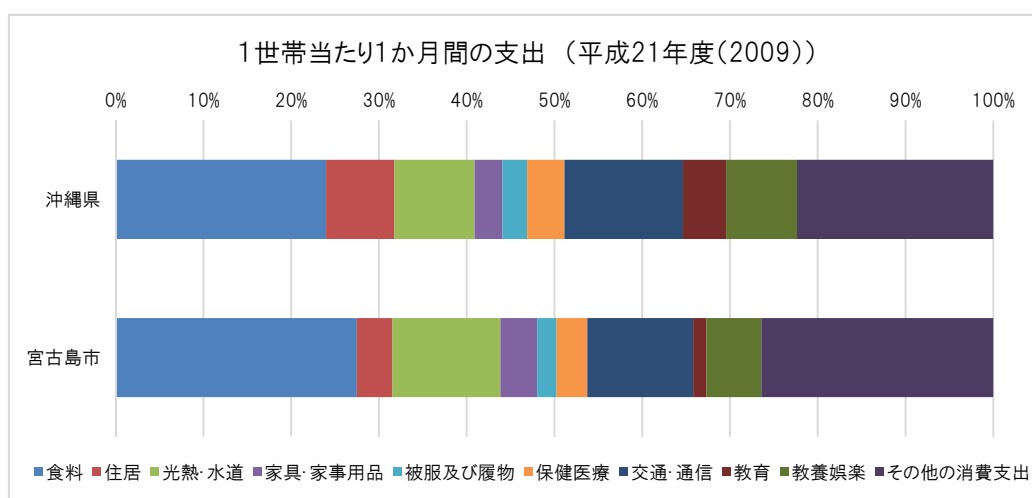
(単位：人、世帯、人)

	実測値			推計値					
	平成12年(2000)	平成17年(2005)	平成22年(2010)	平成27年(2015)	平成32年(2020)	平成37年(2025)	平成42年(2030)	平成47年(2035)	平成52年(2040)
人口	54,249	53,493	52,039	50,490	49,013	47,404	45,742	44,047	42,209
世帯数	19,520	20,570	21,196	22,048	23,011	24,063	25,272	26,695	28,328
1世帯当たり人員	2.78	2.60	2.46	2.29	2.13	1.97	1.81	1.65	1.49

6) 消費動向

1世帯当たりの1か月の支出を沖縄県と比較すると、「光熱・水道」、「家具・家事用品」が沖縄県全体より支出額が多くなっています。一方、「教育」や「居住」は沖縄県全体の支出額の半分以下となっています。

本市における「教養娯楽」の1月当たり支出は、約1万円程度となっており、沖縄県より約7,000円少なくなっています。



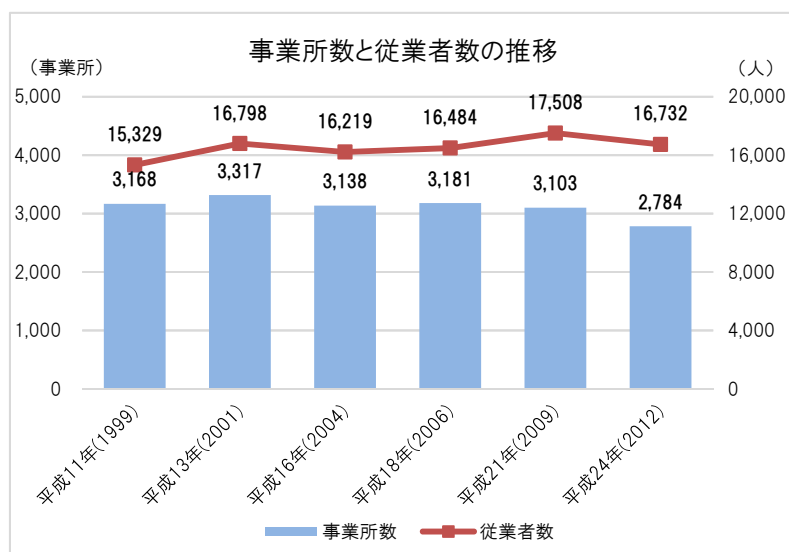
■1世帯当たり1か月間の支出（平成21年度(2009)） (単位:円)

	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他の消費支出	合計
沖縄県	53,487	17,375	20,423	7,046	6,270	9,518	30,141	10,961	18,032	49,880	223,133
宮古島市	47,096	6,964	21,102	7,173	3,783	6,007	20,656	2,623	10,708	45,304	171,416

出典：平成21年全国消費実態調査

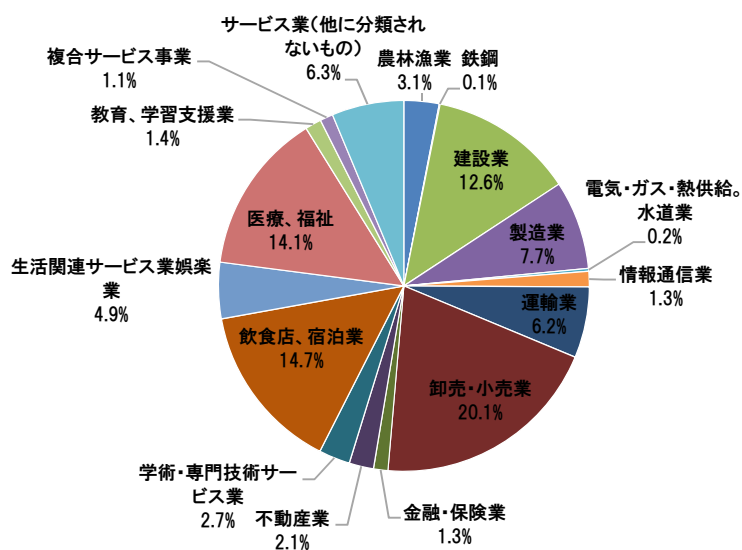
7) 産業

平成11年(1999)から平成24年(2012)までの13年間で、宮古島市の事業所数は384事業所減少しており、従業者数は1,403人増加しています。従業者数の内訳をみると、卸売・小売業が最も多く、次いで飲食店・宿泊業、医療・福祉、建設業となっています。観光入域客の増加や各種観光施設等の整備が進んだことにより、観光関連産業の就業者数の割合が大きくなっています。



出典：統計みやこじま（平成24年度版）、平成24年経済センサス

産業(大分類)別従業員数の割合(平成24年)



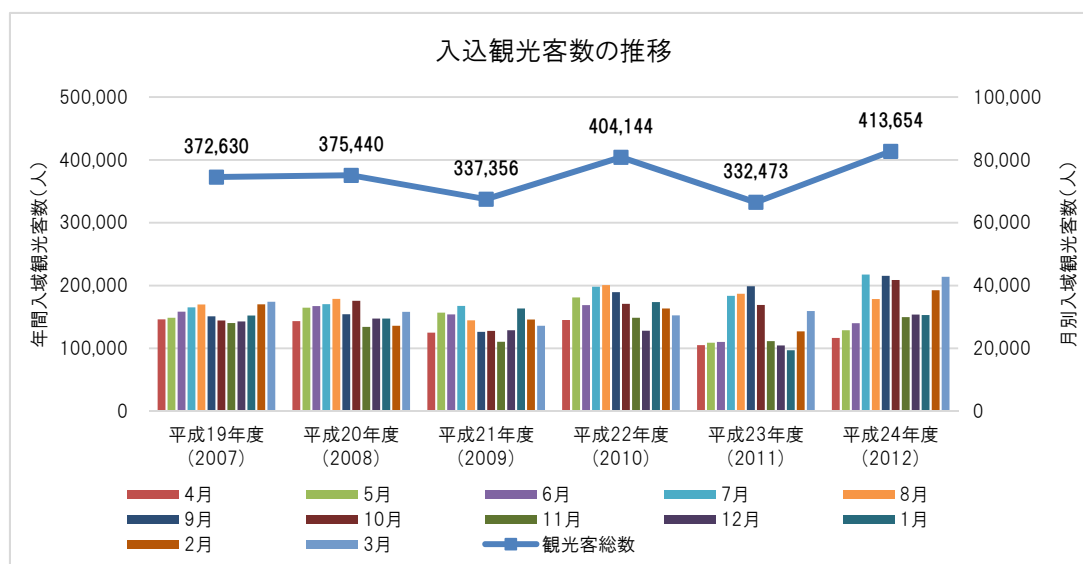
出典：統計みやこじま（平成24年度版）、平成24年経済センサス

8) 観光

① 観光客数及び宿泊施設の状況

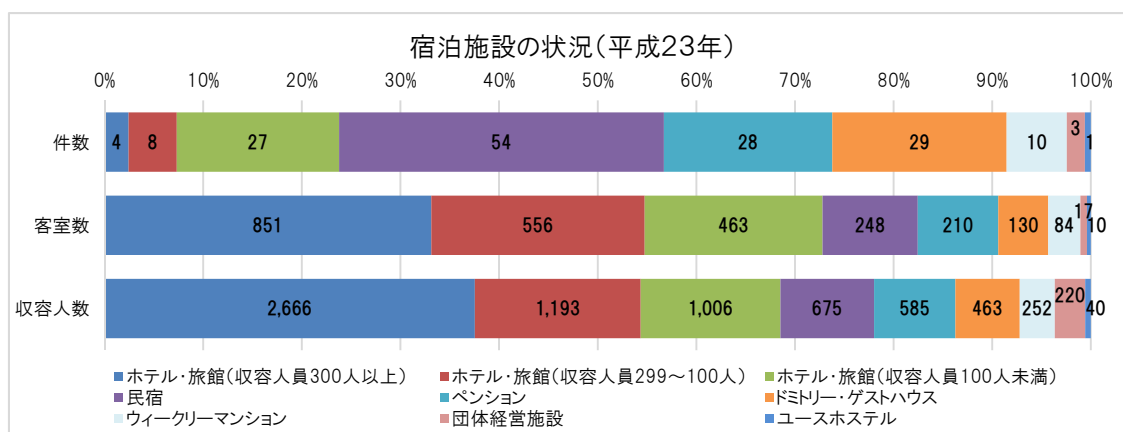
宮古島市の入込観光客数は、平成19年度(2007)から平成24年(2012)までで41,024人増加しています。月別の入込観光客数をみると、入込観光客数に大きな差があり、特に7月から10月にかけて多く、夏期のマリンスポーツを楽しみに来島していると考えられます。

平成23年(2011)の宿泊施設の状況をみると、中規模以上(収容人員100人以上)の宿泊施設は、市内全体に占める宿泊施設の件数1割未満ですが、客室数、収容人数の過半数を占めています。



※平成24年度(2012)からは算定方法を変更し、混在率を用いて算定。

出典：統計みやこじま(平成24年度版)、平成25年度入域観光客数(宮古島市観光商工局)



出典：統計みやこじま(平成24年度版)

② 主なスポーツイベント

本市は、全日本トライアスロン宮古島大会、宮古島 100km ワイドーマラソン、島内マラソン大会などの様々なスポーツイベントが開催されており、温暖な気候を有していることから年間を通してスポーツに関われる環境があります。また、これまでに整備された充実したスポーツ施設を活かし、プロ・社会人・大学等の各種スポーツキャンプ・合宿が行われています。

大規模なスポーツイベントでは、プロスポーツ選手やトップアスリートと市民との交流が行われているものもあり、スポーツ意識の向上や地域活性化につながっています。

スポーツイベントに関する窓口は、主に観光商工局が実行委員を作り、対応していますが、イベントによっては窓口の担当課が異なります。

＜宮古島の主なスポーツイベントと参加者数＞

		H23	H24	H25
1月	宮古島 100km ワイドーマラソン	527 人	728 人	1,146 人
2月	プロ野球オリックス・バファローズキャンプ※	約 3,600 人	約 3,600 人	約 3,600 人
	ロマン海道伊良部島マラソン	1,247 人	921 人	829 人
4月	全日本トライアスロン 宮古島大会	1,346 人	1,470 人	1,470 人
6月	ビーチバレー宮古島大会	75 組	96 組	105 組
	ツール・ド・宮古島	396 人	中止	394 人
7月	サニツ浜カーニバル	1,026 人	1,039 人	1,256 人
8月	宮古体育大会	2,600 人	2,647 人	2,616 人
10月	エコアイランド宮古島マラソン	982	1,034 人	1,403 人
11月	「南部忠平杯」グラウンドゴルフ宮古島大会	446 人	386 人	417 人

※概算による値（選手・スタッフ約 100 人、報道関係約 500 人、観客 3,000 人）



(参考) 2013年のプロ野球春季沖縄キャンプの状況

<2013年のプロ野球春季沖縄キャンプの状況>



出典：沖縄観光 web サイト『プロ野球沖縄キャンプ攻略ガイドブック』より

(図表1) 沖縄県内における2013年春季キャンプの実施状況

	日本ハム	※広島	中日	横浜	オリックス	ヤクルト	阪神	楽天	ロッテ	巨人
一軍	キャンプ地 名護市		北谷町	宜野湾市	宮古島市	浦添市	宜野座村	※久米島町	石垣市	那覇市
	期間 2/1~2/28		2/1~2/28	2/1~2/28	2/1~2/22	2/1~2/27	2/1~2/22	2/1~2/14	2/1~2/19	2/13~2/26
二軍	キャンプ地 国頭村		読谷村	嘉手納町	宮古島市			久米島町		
	期間 2/1~2/22		2/1~2/28	2/8~2/28	2/1~3/3			2/1~3/2		

※1.広島(一軍)のキャンプは、沖縄県営球場の建替え工事により期間を通して宮崎県で実施した。

2.楽天(一軍)は、2/16~2/22に金武町をベースにキャンプを実施。

出典：りゅうぎん総合研究所『沖縄県内における 2013年プロ野球春季キャンプの経済効果』

(参考) プロ野球春季キャンプの沖縄県内での実施状況

【補注1】プロ野球春季キャンプの沖縄県内での実施状況

暦年	日本ハム	広島	中日	横浜	オリックス	ヤクルト	阪神	楽天	ロッテ	巨人	ソフトバンク	西武
1979	(投手陣) 名護市	◎						(○)				
80		◎						(○)				
81	(一軍) 名護市 ○									◎		
82		沖縄市	○									◎
83			石垣市							○		◎
84	(二軍) 宜野座村 84年のみ	◎			○							
85			(投手陣) 員志川市				◎					○
86		○										◎
87			(一軍) 石川市 員志川市	宜野湾市						○		◎
88			○									◎
89			(一軍) 石川市 (二軍) 員志川市		(投手陣) 糸満市			(○)	(投手陣) 那覇市	◎		
90					(一軍) 糸満市					○	(一軍) 読谷村 (二軍) 嘉手納町	◎
91		○			(一軍) 糸満市 (二軍) 那覇市							◎
92						○						◎
93					(一、二軍) 平良市 糸満市	◎						○
94					(一、二軍) 平良市 糸満市 城辺町					◎		○
95					(一軍) 平良市 (二軍) 城辺町 ○	◎						
96	(二軍) 宜野座村		(一軍) 北谷町 (二軍) 読谷村	(二軍) 嘉手納町	◎					○		
97			読谷村			◎						○
98				◎								○
99			○								◎	
2000						浦添市				◎	○	
01						◎		(○)				
02										◎		○
03	(二軍) 東風平町						宜野座村 ○				◎	
04			(一、二軍) 北谷町 読谷村 ○		(二軍) 平良市 城辺町							◎
05			(一軍) 北谷町 (二軍) 読谷村 北谷町		(一軍) 平良市		○	(一、二軍) 久米島町	◎			
06	(二軍) 八重瀬町 国頭村 ○		(二軍) 読谷村 ○		(一軍) 宮古島市							
07	(二軍) 國頭村 ○		◎							○		
08									(一軍) 石垣市	○		◎ ○
09	○				(二軍) 宮古島市	(二軍) 八重瀬町				◎ ○		
10			○						◎		○	
11			○								◎ ○	
12	○									◎ ○		
13												
一軍 キャンプ地	名護市	宮崎県	北谷町	宜野湾市	宮古島市、高知県	浦添市	宜野座村	久米島町、金武町	石垣市	宮崎県 那覇市	宮崎県	宮崎県
二軍 キャンプ地	国頭村	宮崎県	読谷村	嘉手納町 神奈川県	宮古島市	東京都 宮崎県	高知県	久米島町	鹿児島県	宮崎県	宮崎県	埼玉県 高知県

(注) 1.太線内は沖縄県内で春季キャンプを実施。○はリーグ優勝、◎は日本シリーズ制覇。
2.楽天の列の(○)は、05年からオリックスと合併した旧・近鉄のリーグ優勝。

出典：りゅうぎん総合研究所『沖縄県内における2013年プロ野球春季キャンプの経済効果』

(参考) 2013年のサッカー沖縄キャンプの状況

<2013年のサッカー沖縄キャンプの状況>

チーム名	場所	期間
FC東京	国頭村くいなエコ・スポレク公園 (国頭郡国頭村)	2013年1月27日 ~2月3日
サガン鳥栖	読谷村陸上競技場 (読谷村)	2013年1月31日 ~2月12日
ジェフユナイテッド 市原・千葉	サッカーパークあかんま(石垣市) 玉城陸上競技場(南城市)	2013年1月23日 ~2月7日
横浜FC	宮古島市多目的前福運動場 (宮古島市)	2013年1月24日 ~1月31日
FC琉球	東風平運動公園サッカー場 (島尻郡八重瀬町)	日程調整中
済州ユナイテッド	ごさまる運動公園陸上競技場 (中城村)	2013年1月31日 ~2月14日
慶應義塾体育会ソッ カー一部女子	南城市玉城陸上競技場 (南城市)	2013年3月12日 ~3月17日
INAC神戸レオネッサ	南城市玉城陸上競技場 (南城市)	2013年2月13日 ~2月17日
シアトルレインFC	中城村吉の浦公園ごさまる陸上競技 場(中城村)	2013年3月13日(水) ~20日(水・祝)

出典：美ら島サッカーキャンプ web サイトを参考に作成

(参考) 宮古島における野球合宿が沖縄県に及ぼす経済効果

本市は年間を通じて様々なスポーツイベントが開催され、観光客等の来訪は地域活性化の一翼を担っています。特にプロ野球オリックス・バファローズキャンプは、多くの野球チームが合宿を実施するという波及効果もみられ、平成 24 年度(2012)の沖縄県に及ぼす経済効果は約 6 億 4,200 万円となっています。

【要旨】

- 宮古島では、「オリックス・バファローズ」の春季キャンプをきっかけに、社会人、学生等の多くの野球チームが合宿を実施するようになり、2012 年度はプロ野球、社会人、学生など 12 チームの野球合宿があった。
- 2012 年度の野球合宿における参加者は約 680 人となっており、オリックスのキャンプにおける観客数は島内外を合わせ、約 12,000 人であった。
- これらの参加者や観客等による経済効果を沖縄県産業連関表により試算すると、約 6 億 4,200 万円と多くの経済効果をもたらしている。
- 経済効果である 6 億 4,200 万円を産業別にみると、宿泊業が 9,600 万円と最も多く、次いで運輸業 8,300 万円、飲食店 8,100 万円などであった。
- 宮古島における野球合宿は、関係者の誘致活動等により多くの野球チームが合宿を実施するようになった。また、宮古島では、多くのスポーツ合宿やイベントが実施されており、これらのスポーツコンベンションを通じた地域振興が今後も期待されている。

■2012年度における宮古島での野球合宿の実施状況

	チーム数等	参加人数(人)
プロ野球	オリックス・バファローズ(1軍、2軍)	150
社会人、大学	日本通運、青森大学等7チーム	370
高等学校、少年野球等	山本学園高校等4チーム	160
合計	12チーム	680

(出所)宮古島観光協会の資料を基に作成 ※プロ野球の自主キャンプ等は含まない。

■宮古島における野球合宿の産業別経済効果(2012年度)

【単位:百万円】

産業区分	経済効果 (生産誘発額)	粗付加価値 誘発額	
		雇用者所得 誘発額	雇用者所得 誘発額
宿泊業	96	46	24
運輸業	83	38	24
飲食店	81	36	22
製造業	73	25	10
商業	56	37	23
その他の対個人サービス	48	33	13
不動産	34	28	1
金融・保険	27	17	7
その他の産業	144	81	41
合計	642	341	165

出典：りゅうぎん総合研究所『宮古島における野球合宿の経済効果』

(3)スポーツに関する意向

本計画を策定するにあたっての基礎資料として、市民意向、施設利用者の意向、スポーツ関係団体の意向を確認するため、各種アンケート調査を実施しました。それらの主な結果概要を以下に整理します。

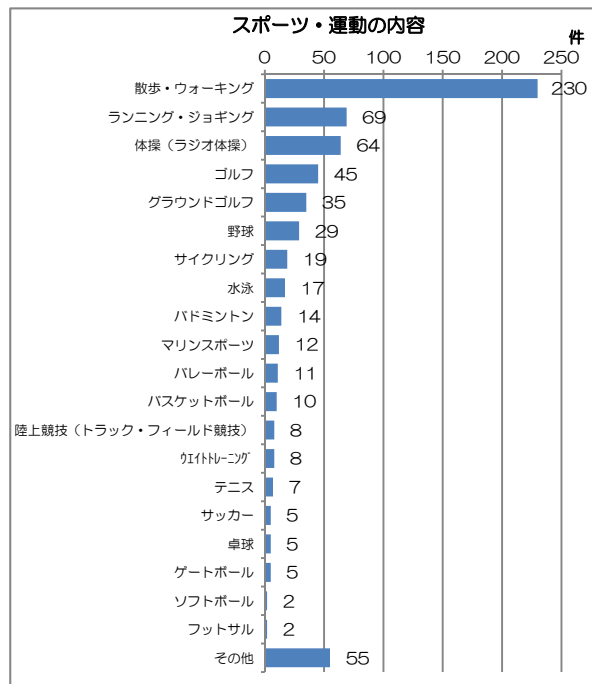
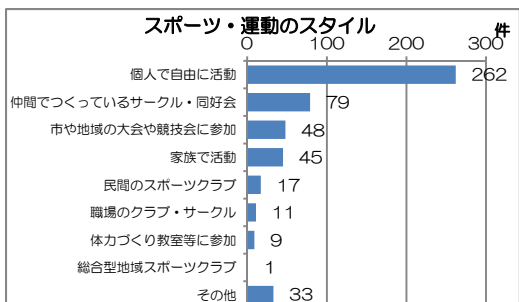
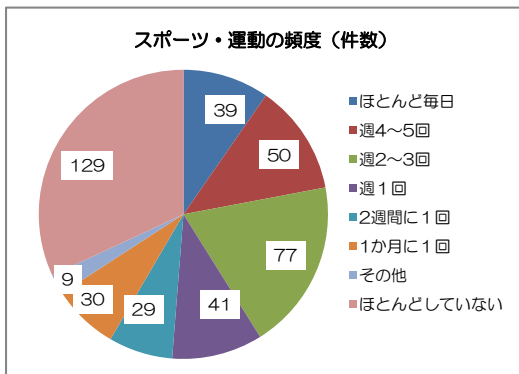
1) 市民意識アンケート調査

<調査概要>

- 目的 : 宮古島市のスポーツ政策の基盤となる「施設」、「人材」、「コスト」、「情報」を総合的かつ計画的にマネジメントし、スポーツアイランドの実現を図るために、「スポーツマネジメントプラン」を策定する基礎資料とするため、宮古島市民を対象に、スポーツに対してどのように認識や期待を持っているか等を把握することを目的として実施しました。
- 調査日時 : 平成 25 年 (2013) 11 月 6 日 (水) ~ 11 月 15 日 (金)
- 調査対象 : 20 歳以上の市民 2,000 名 (無作為抽出。ただし、行政区・年齢・性別毎の人口比率から抽出件数を割り出しました)
- 調査方法 : 郵送での配布・回収による無記名アンケート形式
- 配布数 : 2,000 件
- 回収状況 : 407 件、回収率 : 20.4%

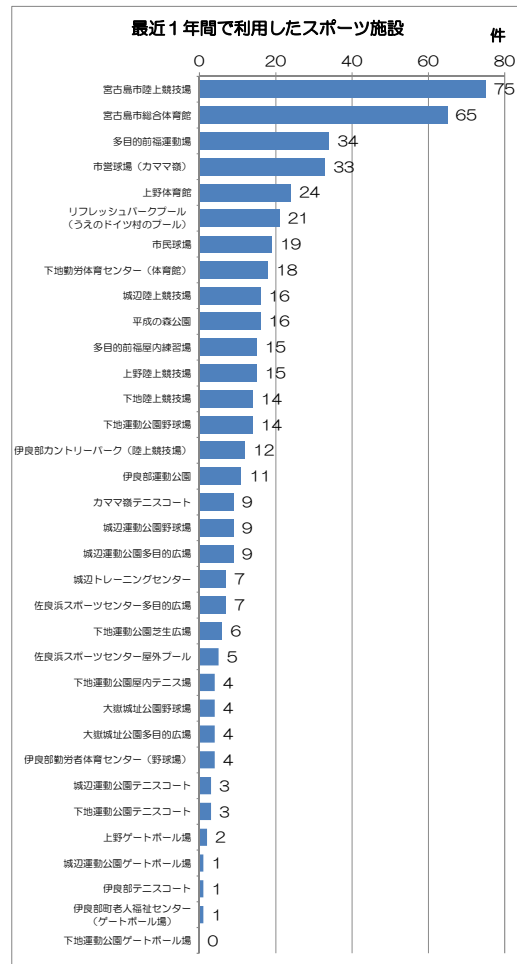
<主な結果概要>

- 運動頻度は、1 週間に 1 回以上運動している人が 5 割以上となっています。
- スポーツ・運動の内容は、「散歩・ウォーキング」が最も多く、施設でのスポーツ・運動としては、「ゴルフ」、「グラウンドゴルフ」、「野球」が多くなっています。
- スポーツ・運動のスタイルは、「個人で自由に活動」をしている人が最も多くなっています。



- 最近1年間で利用したスポーツ施設では「宮古島市陸上競技場」が最も多く、次いで「宮古島市総合体育館」、「多目的前福運動場」、「市営球場（カママ嶺）」となっています。
- 地区別では、平良地区の施設を利用したとの回答が多く、また、施設分類別の1施設平均回答数では、体育館が最も利用されている施設となっています。

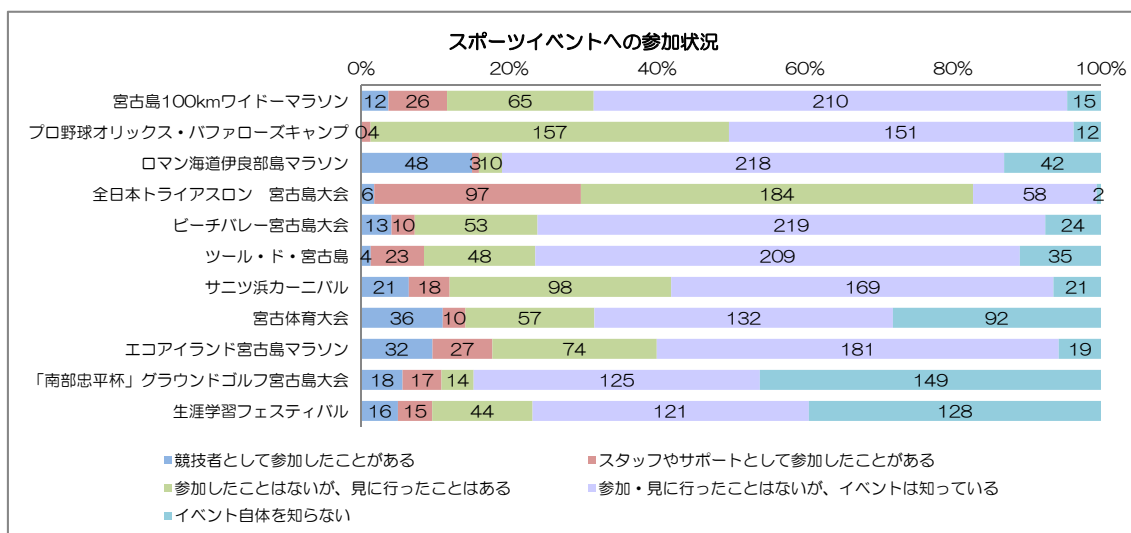
	回答数	構成比
宮古島市陸上競技場	75	10.5%
宮古島市総合体育館	65	9.1%
多目的前福運動場	34	4.8%
市営球場（カママ嶺）	33	4.6%
上野体育館	24	3.4%
リフレッシュパークプール （うえのドイツ村のプール）	21	3.0%
市民球場	19	2.7%
下地勤労体育センター（体育館）	18	2.5%
城辺陸上競技場	16	2.3%
平成の森公園	16	2.3%
多目的前福屋内練習場	15	2.1%
上野陸上競技場	15	2.1%
下地陸上競技場	14	2.0%
下地運動公園野球場	14	2.0%
伊良部カントリーパーク（陸上競技場）	12	1.7%
伊良部運動公園	11	1.5%
カママ嶺テニスコート	9	1.3%
城辺運動公園野球場	9	1.3%
城辺運動公園多目的広場	9	1.3%
城辺トレーニングセンター	7	1.0%
佐良浜スポーツセンター多目的広場	7	1.0%
下地運動公園芝生広場	6	0.8%
佐良浜スポーツセンター屋外プール	5	0.7%
下地運動公園屋内テニスコート	4	0.6%
大嶽城址公園野球場	4	0.6%
大嶽城址公園多目的広場	4	0.6%
伊良部勤労者体育センター（野球場）	4	0.6%
城辺運動公園テニスコート	3	0.4%
下地運動公園テニスコート	3	0.4%
上野ゲートボール場	2	0.3%
城辺運動公園ゲートボール場	1	0.1%
伊良部テニスコート	1	0.1%
伊良部町老人福祉センター （ゲートボール場）	1	0.1%
下地運動公園ゲートボール場	0	0.0%
無回答	230	32.3%
計	711	100.0%



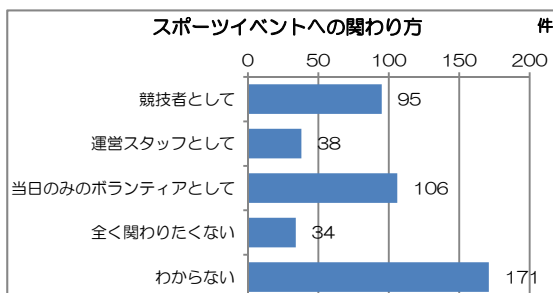
<施設分類別の施設利用状況>

施設分類別	回答数	1施設平均回答数
陸上競技場(5施設)	132	26
体育館(4施設)	114	29
野球場(6施設)	83	14
多目的広場・運動場(7施設)	87	12
屋内運動場(2施設)	19	10
テニスコート(4施設)	16	4
ゲートボール場(4施設)	4	1
プール(2施設)	26	13

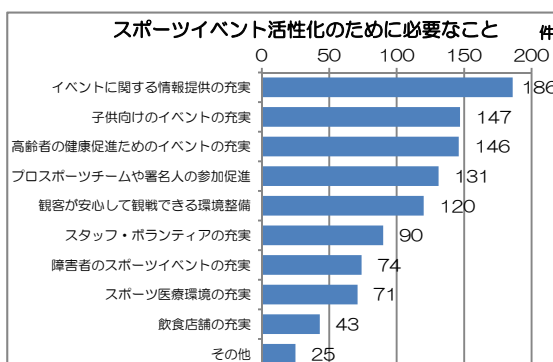
- スポーツイベントへの参加状況として、全日本トライアスロンは「参加したことはないが見に行ったことはある」が最も多く、「スタッフやサポートとして参加したことがある」も他のイベントと比べて多くなっています。



- スポーツイベントへの関わり方としては、「当日のみのボランティアとして」が最も多く、次いで「競技者として」となっています。



- スポーツイベント活性化のために必要なこととしては、「イベントに関する情報提供の充実」が最も多くなっています。



<考察>

全日本トライアスロンは、スタッフや見学等で参加した割合が他のスポーツイベントと比べて高くなっており、市民も支える側として参加する宮古島市を代表するスポーツイベントとなっています。また、スポーツイベントの運営スタッフや当日ボランティアとして参加したい市民が多く、スポーツイベントに対する意識が高いことがわかります。

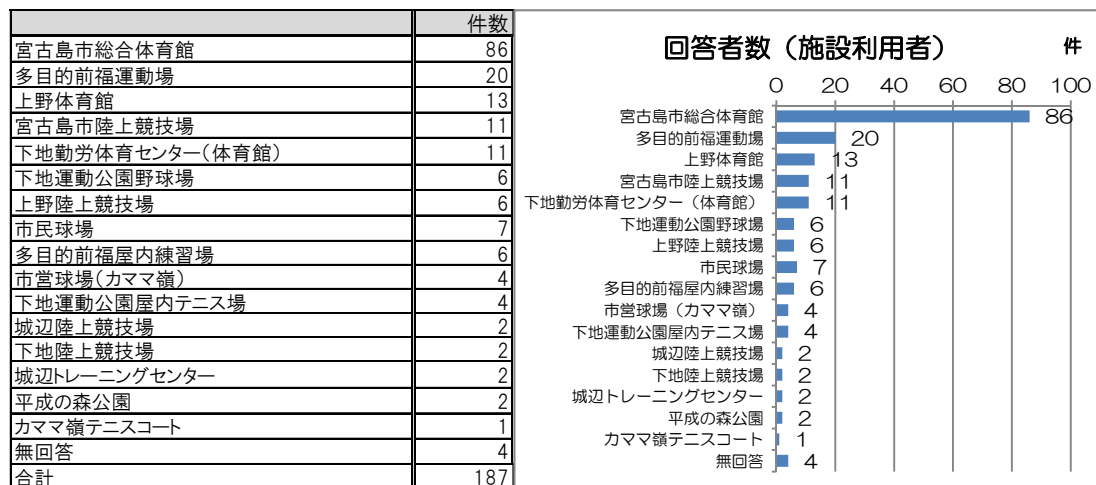
2) 施設利用者アンケート調査

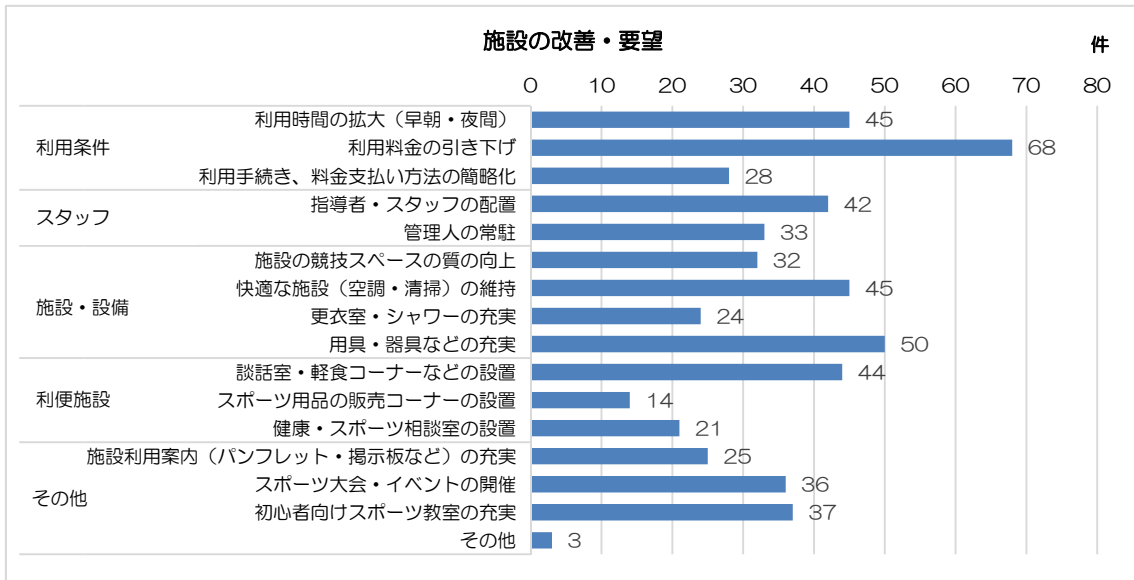
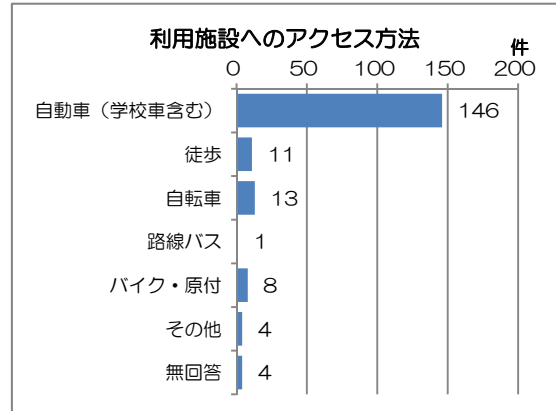
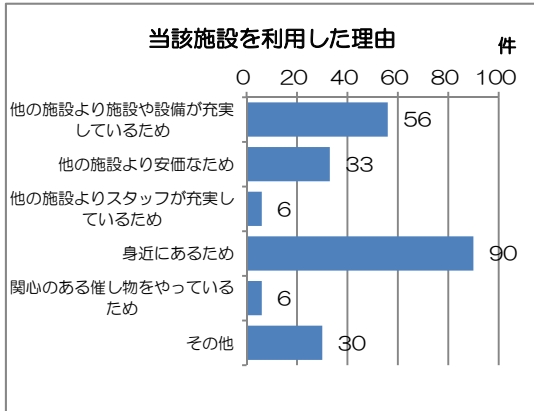
<調査概要>

- 目的 : 宮古島市のスポーツ政策の基盤となる「施設」、「人材」、「コスト」、「情報」を総合的かつ計画的にマネジメントし、スポーツアイランドの実現に図るために、「スポーツマネジメントプラン」を策定する基礎資料とするため、宮古島市内の公共スポーツ施設の利用者を対象に、利用したスポーツ施設の満足度やスポーツ施設に対する期待等を把握することを目的として実施しました。
- 調査日時 : 平成 25 年 (2013) 11 月 6 日 (水) ~12 月 7 日 (金)
- 調査対象 : ①宮古島市内の公共スポーツ施設の利用者
②平成 24 年 3 月~平成 25 年 10 月の施設利用申請の提出者
- 調査方法 : ①スポーツ施設を利用申請の際に、窓口にて配布・回収による無記名アンケート形式、
②郵送による配布・回収による無記名アンケート形式
- 回収状況 : ①101 件、②86 件 合計 187 件

<主な結果概要>

- 施設を利用した理由は、「身近にあるため」が最も多く、次いで「他の施設より施設や設備が充実しているため」、「他の施設より安価なため」の順となっています。
- 施設へのアクセス方法はほとんど「自動車」となっています。
- 施設への改善要望としては、「利用料金の引き下げ」が最も多く、次いで、「用具・器具の充実」となっています。





< 考察 >

市民は身近にある施設を利用する傾向にあります。利用者の多くは自動車でのアクセスが多く、施設や設備の充実を理由に施設を選択している人も多くいることから、施設が遠くても設備等が充実した施設を利用したい人がいると想定されます。

また、施設の改善・要望では利用料金の引き下げを求める回答が多くあげられていますが、安価なことを理由に現状で施設を利用している方は多くない状況であり、施設の利用料金を引き下げが、施設の利用を促進するとは限らないと考えられます。

3) スポーツ関連団体へのアンケート調査

<調査概要>

○目的	：宮古島のスポーツ政策の基盤となる「施設」、「人材」、「コスト」、「情報」を総合的かつ計画的にマネジメントし、スポーツアイランドの実現に図るために、「スポーツマネジメントプラン」を策定する基礎資料とするため、宮古島市内のスポーツ関連団体を対象に、競技人口を把握することを目的として実施しました。		
○調査日時	：平成26年（2014）1月9日（木）～1月16日（木）		
○調査対象	：宮古島の各競技団体（22団体）	○調査方法	：アンケート形式
○回収状況	：22件		

<主な結果概要>

- 競技別にみると、小学校及び中学校・高校ではバスケットボールの競技人口が多く、社会人では野球の競技人口が多い状況です。
- 年代別にみると、団体数は中学校・高校が最も多く、登録者数は社会人が多い状況です。

<スポーツ関連団体の登録団体・登録者数>

	小学校		中学校・高校		社会人	
	団体数	登録者数	団体数	登録者数	団体数	登録者数
宮古野球連盟	12団体	370人	16団体	229人	80団体	1,200人
宮古バスケットボール協会	—	—	32団体	480人	17団体	250人
宮古サッカー協会	7団体	403人	8団体	169人	20団体	260人
宮古バレーボール協会	—	—	18団体	180人	20団体	400人
宮古島市陸上競技協会	—	—	—	—	—	547人
宮古バドミントン協会	5団体	24人	14団体	200人	10団体	300人
宮古ミニバスケットボール連盟	27団体	460人	—	—	—	—
宮古水泳協会	10団体	120人	2団体	11人	6団体	119人
宮古ソフトテニス連盟	2団体	20人	3団体	35人	1団体	150人
宮古テニス協会	—	—	4団体	90人	5団体	50人
宮古島市ハンドボール協会	—	—	3団体	47人	8団体	91人
沖縄県角力協会宮古支部	—	50人	—	20人	—	50人
宮古島市ラージボール	—	—	—	—	—	約100人
宮古卓球連盟	—	20人	—	40人	—	30人
沖縄県柔道連盟宮古支部	—	32人	—	37人	—	18人
宮古ボウリングクラブ	—	—	—	3人	—	60人
宮古郡剣道連盟	—	—	—	—	—	56人
宮古ゴルフ連盟	—	約3人	—	約3人	—	約50人
宮古ラグビーフットボール協会	1団体	10人	1団体	13人	1団体	22人
宮古地区小学校体育連盟	21団体	約700人	—	—	—	—
宮古中学校体育連盟	—	—	85団体	1322人	—	—
宮古地区高等学校体育連盟	—	—	10団体	約500人	—	—
合計	85団体	2,212人	196団体	3,379人	168団体	3,753人

<考察>

競技別の登録者数では社会人の野球が最も多くなっており、プロ野球キャンプや社会人の野球合宿等による影響もあると思われます。小中高校では、バスケットボールやサッカーの競技登録者数が多く、今後も増加していくことが考えられます。

4) 市民（宮古島圏域）のスポーツに関する意識の関連調査結果

（県民の体力・スポーツに関する意識調査報告書（平成 24 年 12 月、沖縄県））

<調査概要>

○目的	：県民の健康・体力及びスポーツ活動について実態や意識等を調査し、今後の施策の参考とする。
○調査時期	：平成 24 年（2012）10 月 12 日～11 月 7 日
○調査対象	：沖縄県内に在住する満 20 歳以上の男女
○調査方法	：郵送回収によるアンケート形式
○回収状況	：1,411 人

<主な結果概要>

- 宮古島圏域の運動の実施状況は、「自ら運動する意識」が県平均より上回る結果となっているのに対し、スポーツ施設は、「指導者の配置」が県平均を下回る結果となっています。また、宮古島市のボランティア活動に関する「活動支援への意欲」が県平均を大きく上回る結果となっています。
- 公共スポーツ施設に望むこととして、「スポーツ教室・行事の充実」や「指導者の配置」は県平均を下回る結果となっています。

<宮古圏域の特徴抜粋>

	調査項目	宮古圏域	県平均
運動の実施状況	健康や体力の維持増進のために心掛けていること		
	食生活に気を付けている	75.2%	67.2%
	運動やスポーツをする	53.3%	40.8%
	1 日当たり 30 分以上の運動やスポーツの実施状況		
	運動やスポーツをした	63.6%	57.9%
	主に一緒に運動やスポーツを行った相手		
	自分一人で	62.4%	53.1%
	職場の人や学校の仲間と	8.6%	13.5%
	サークルやクラブの人と	22.6%	18.4%
スポーツ施設について	公共スポーツ施設に望むこと		
		①施設数の増加 (35.3%)	(30.8%)
		②スポーツ教室・行事の充実 (24.7%)	(27.8%)
	③指導者の配置 (18.7%)	(22.9%)	
ボランティア活動について	スポーツ行事への参加状況		
	競技者として参加	22.5%	12.9%
	ボランティアとして参加	9.3%	2.5%
	スポーツボランティア活動の実施の有無		
	行った	25.2%	9.9%
	行いたいボランティア活動の内容		
	スポーツの審判	27.9%	18.0%
	地域スポーツ大会の運営や世話	86.0%	62.5%

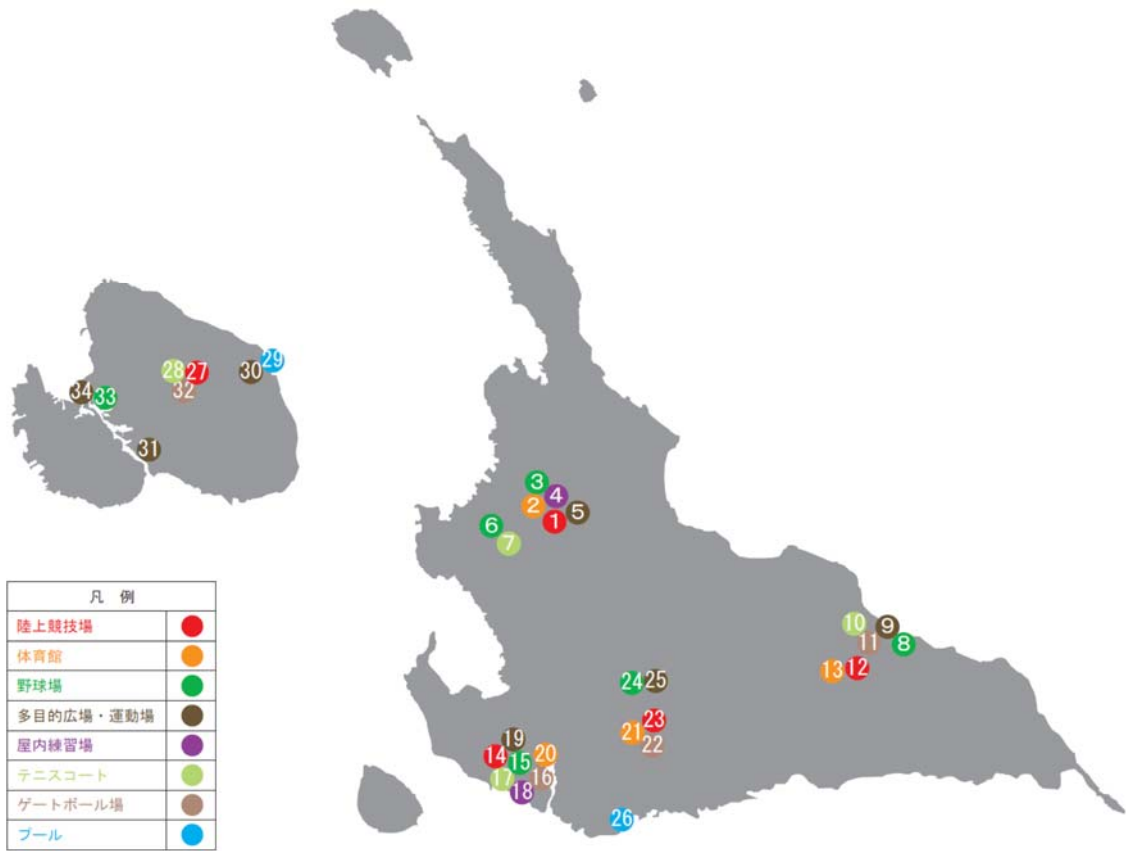
※宮古圏域は宮古島市と多良間村を含む圏域

(4)スポーツ施設に関する現状について

本市が保有するスポーツ施設の配置状況や利用状況、管理運営状況等を整理します。

1) 公共スポーツ施設の配置

本市が保有するスポーツ施設（ビーチ、キャンプ場を除く）は34施設あり、旧市町村がそれぞれ陸上競技場や野球場、体育館等を整備してきたことから、合併により同種施設を複数保有しています。それらの配置状況をみると、旧市町村によって、スポーツ施設が集積している地区もあれば分散している地区もあります。



1. 宮古島市陸上競技場	14. 下地陸上競技場	26. リフレッシュパークプール (うえのドイツ村のプール)
2. 宮古島市総合体育館	15. 下地運動公園野球場	28. 伊良部テニスコート
3. 市民球場	16. 下地運動公園ゲートボール場	27. 伊良部カントリーパーク (陸上競技場)
4. 多目的前福屋内運動場	17. 下地運動公園テニスコート	29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール
5. 多目的前福運動場	18. 下地運動公園屋内テニスコート	30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場
6. 市営球場(カママ嶺)	19. 下地運動公園芝生広場	31. 伊良部運動公園
7. カママ嶺テニスコート	20. 下地勤労者体育センター(体育館)	32. 伊良部老人福祉センター (ゲートボール場)
8. 城辺運動公園野球場	21. 上野体育館	33. 伊良部勤労者体育センター(野球場)
9. 城辺運動公園多目的広場	22. 上野ゲートボール場	34. 平成の森公園
10. 城辺運動公園テニスコート	23. 上野陸上競技場	
11. 城辺運動公園ゲートボール場	24. 大嶽城址公園野球場	
12. 城辺陸上競技場	25. 大嶽城址公園多目的広場	
13. 城辺トレーニングセンター		

※伊良部町B & G海洋センターは廃止。

2) 施設の利用状況

施設の年間利用者数をみると、陸上競技場では宮古島市陸上競技場が最も多く、下地陸上競技場の利用者数と大きな差が生じています。また、体育館では宮古島市総合体育館の利用者が最も多く、下地勤労者体育センター（体育館）の利用者数と大きな差が生じています。このように、同種施設でも利用者数に大きな差がみられます。

施設の利用者数(平成 24 年度(2012))

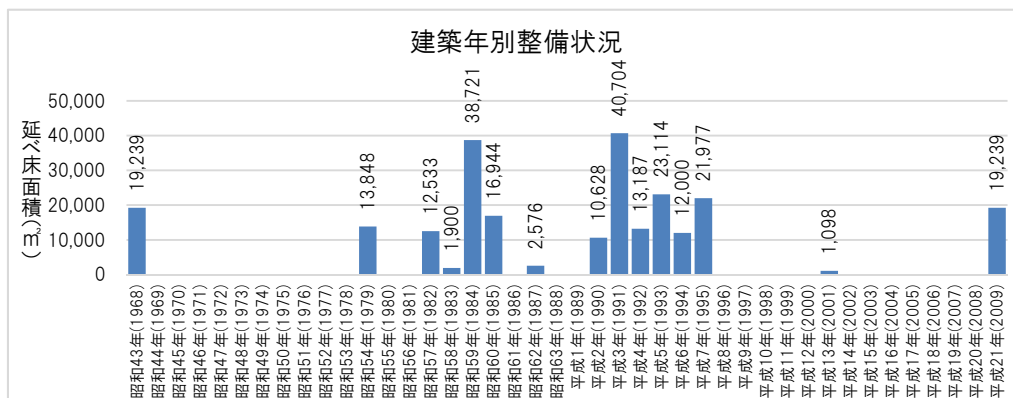
施設名	利用者数
宮古島市陸上競技場	46,809 人
宮古島市総合体育館	27,268 人
上野体育館	15,063 人
市営球場	8,310 人
リフレッシュパークプール(うへのドイツ村)	6,489 人
多目的前福運動場	5,933 人
下地勤労者体育センター(体育館)	5,892 人
佐良浜スポーツセンター多目的広場	5,000 人
多目的前福屋内運動場	3,395 人
市民球場	3,371 人
城辺陸上競技場	3,060 人
カママ嶺テニスコート	2,931 人
城辺トレーニングセンター	2,329 人
上野陸上競技場	2,276 人
城辺運動公園ゲートボール場	2,260 人
城辺運動公園多目的広場	2,017 人
下地運動公園野球場	1,751 人
下地運動公園屋内テニスコート	1,608 人
佐良浜スポーツセンター屋外プール	507 人
下地陸上競技場	474 人
城辺運動公園野球場	271 人
下地運動公園テニスコート	111 人
伊良部テニスコート	60 人

施設概要を参考に作成。ただし、利用者数が不明な施設は除く。

3) スポーツ施設の整備状況

① 建築年別の施設整備状況

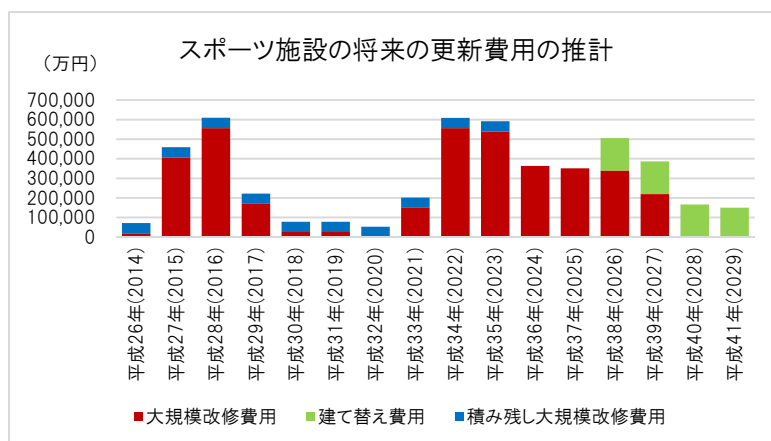
本市においては、1980 年代前半と 1990 年代前半にスポーツ施設を集中的に整備してきました。今後、同時期に整備された施設の老朽化への対応が予想されます。



施設概要を参考に作成。ただし、建築年が不明な施設は除く。

②将来のスポーツ施設の更新費用

全てのスポーツ施設を維持するための更新費用を試算すると、今後 16 年間で約 489 億円、一年当たり約 30 億円となります。更新費用は、年間 5～60 億円と大きく差があります。



<試算条件>

- ・ 建築から 30 年経過後に大規模改修、47 年経過後に建て替えを行います。(耐用年数は、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」を参考に、47 年としました)
- ・ 大規模改修の修繕期間は 2 年、建て替え期間は 3 年として費用を振り分けます。
- ・ 平成 26 年度 (2014) 時点で既に大規模改修および建て替えの時期を迎えているものについては、平成 26 年度 (2014) から平成 35 年度 (2023) の 10 年間に割り当てます。
- ・ 現在の面積に施設の大分類に応じた更新単価を乗じて算出します。

単価表 (スポーツ・レクリエーション系施設抜粋)

大規模改修	20 万円/㎡	バリアフリー対応等社会的改修含む
建て替え	36 万円/㎡	解体費含む

資料：総務省「公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の試算」より

4) スポーツ施設の管理・運営等の状況

スポーツ施設の管理・運営の状況は、ほとんどの施設が宮古島の直営方式で運営されています。その中で管理者が常駐する施設は一部に限られている状況であり、管理者がいない施設は維持管理等への影響も懸念されます。

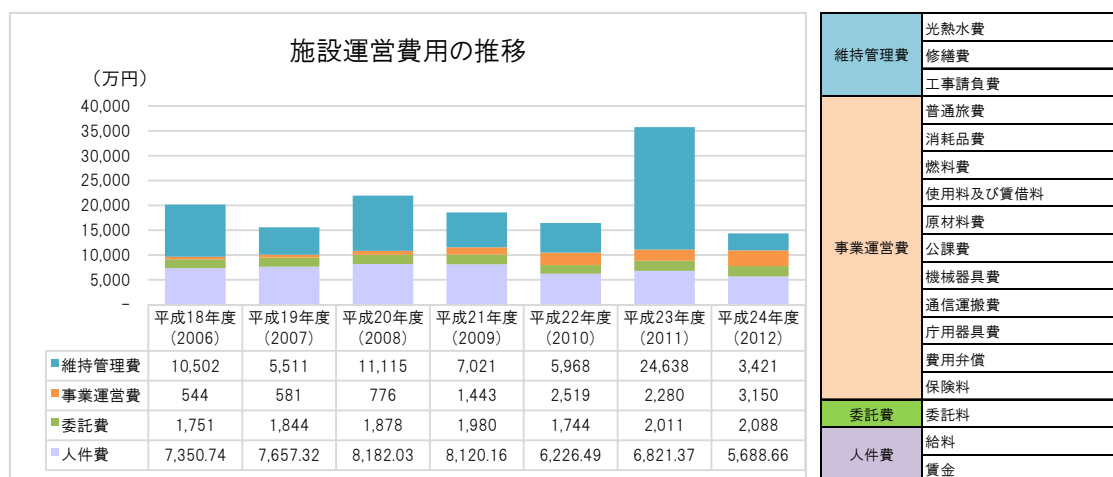
施設別の管理・運営等の状況

	施設名	管理・運営の状況	常駐管理者の有無
陸上競技場	1. 宮古島市陸上競技場	直営	有
	12. 城辺陸上競技場	直営	-
	14. 下地陸上競技場	直営	-
	23. 上野陸上競技場	直営	-
	27. 伊良部カントリーパーク	直営	-
体育館	2. 宮古島市総合体育館	直営	有
	13. 城辺トレーニングセンター	直営	有
	20. 下地勤労者体育センター	直営	有
	21. 上野体育館	直営	有
野球場	3. 市民球場	直営	-
	6. 市営球場（カママ嶺）	直営	-
	8. 城辺運動公園野球場	直営	-
	15. 下地運動公園野球場	直営	-
	24. 大嶽城址公園野球場	直営	-
	33. 伊良部勤労者体育センター	直営	-
多目的広場、運動場	5. 多目的前福運動場	直営	-
	9. 城辺運動公園多目的広場	直営	-
	19. 下地運動公園芝生広場	直営	-
	25. 大嶽城址公園多目的広場	直営	-
	30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場	直営	-
	31. 伊良部運動公園	直営	-
	34. 平成の森公園	直営	-
屋内練習場	4. 多目的前福屋内運動場	直営	-
	18. 下地運動公園 屋内テニスコート	直営	-
テニスコート	7. カママ嶺テニスコート	直営	-
	10. 城辺運動公園 テニスコート	直営	-
	17. 下地運動公園 テニスコート	直営	-
	28. 伊良部テニスコート	直営	-
ゲートボール場	11. 城辺運動公園ゲートボール場	直営	-
	16. 下地運動公園ゲートボール場	直営	-
	22. 上野ゲートボール場	-	-
	32. 伊良部老人福祉センター	直営	-
プール	26. リフレッシュパークプール	指定管理	有（夏期のみ）
	29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール	直営	有（夏期のみ）

5) スポーツ施設の管理運営費の状況

①支出

スポーツ施設の平成18年度(2006)からの収支額の推移をみると、スポーツ施設全体に要する管理運営費用は、約1.5~3.5億円であり、1施設当たり換算すると約400~1,000万円です。施設の修繕費や工事請負費を含む維持管理費は、年度により変動が大きく、それ以外は変動が少なくほぼ固定費用と言えます。平成23年度(2011)維持管理が高額になっているのは、陸上競技場の改修費用が要因です。



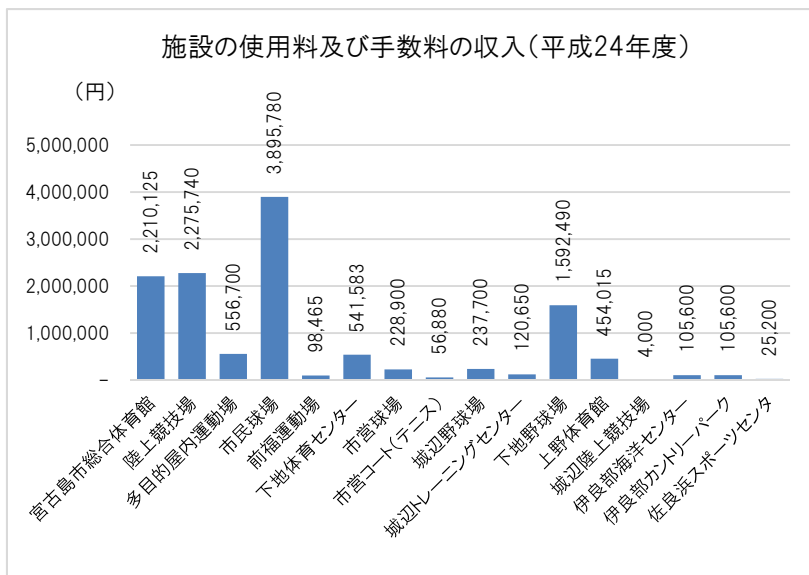
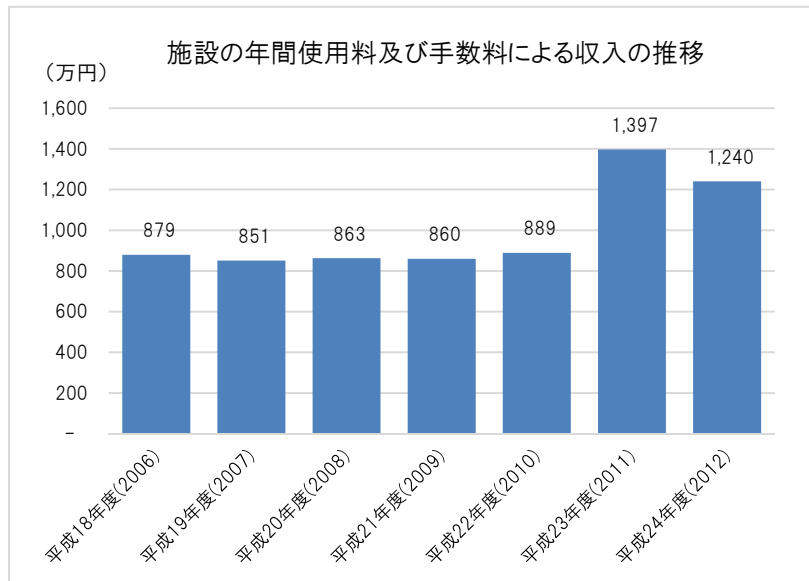
市民スポーツ課、都市計画課資料より作成

【主な改修・修繕に係る費用】

年度	改修・修繕内容	工事請負費
平成18年度(2006)	多目的前福屋内運動場(屋内運動場人工芝整備工事)	¥62,849,850
平成21年度(2009)	市民球場(ラバーフェンス修繕)	¥8,855,700
平成22年度(2010)	宮古島市陸上競技場(トレーニングルーム物品購入)	¥14,280,000
	市民球場(改修工事)	¥20,000,000
平成23年度(2011)	宮古島市陸上競技場(陸上競技用器具購入)	¥11,707,500
	宮古島市陸上競技場(改修工事)	¥188,456,607
平成24年度(2012)	宮古島市陸上競技場(陸上競技用器具購入)	¥13,933,500

②収入

施設収入状況をみると、年間約800～1,400万円の収入があります。平成24年度(2012)の施設利用料収入が最も多い施設は市民球場であり、次いで宮古島市総合体育館、宮古島市陸上競技場となっています。同種施設でも、施設によって使用料等の収入に大きな差が見られます。



市民スポーツ課、都市計画課資料より作成

6) 情報発信に関する状況

各スポーツ施設の施設概要、開館及び閉館、休館日、各施設料金表、問い合わせ先は、市のホームページで確認できます。また、施設使用許可書も、市のホームページよりダウンロードが可能です。また、各スポーツ施設スケジュールについては、宮古島市教育委員会の広報誌やスポーツ関連団体のホームページから情報発信をしています。

このように、市外の利用者に向けた情報発信よりも、市内の施設の情報を把握している市民向けの情報発信となっています。



資料：市ホームページ



資料：宮古島市教育委員会の広報誌

7) スポーツ施設と住環境の関係

スポーツ施設が立地する地域毎の居住人口や1人当たりの施設面積等をみると、平良地域は1人当たり競技面積が2.46㎡/人と少ない状況ですが、その他の地域の1人当たり競技面積は市平均を大幅に上回っています。

なお、平成17年(2005)に2市2町が合併したうるま市の敷地面積と比較した場合、本市では、1人当たりの競技施設は非常に大きくなっています。

スポーツ施設と地域毎の居住人口や1人当たりの施設面積等

施設名	地域	競技面積計	地域別人口	1人当たり 競技面積	施設数
1. 宮古島市陸上競技場	平良	85,371 m ²	34,746 人	2.46 m ² /人	7 施設
2. 宮古島市総合体育館					
3. 市民球場					
4. 多目的前福屋内運動場					
5. 多目的前福運動場					
6. 市営球場（カママ嶺）					
7. カママ嶺テニスコート					
8. 城辺運動公園野球場	城辺	49,614 m ²	6,094 人	8.14 m ² /人	6 施設
9. 城辺運動公園多目的広場					
10. 城辺運動公園 テニスコート					
11. 城辺運動公園ゲートボール場					
12. 城辺陸上競技場					
13. 城辺トレーニングセンター					
14. 下地陸上競技場	下地	17,333 m ²	2,963 人	5.85 m ² /人	7 施設
15. 下地運動公園野球場					
16. 下地運動公園ゲートボール場					
17. 下地運動公園 テニスコート					
18. 下地運動公園 屋内テニスコート					
19. 下地運動公園芝生広場					
20. 下地勤労者体育センター（体育館）					
21. 上野体育館	上野	35,827 m ²	3,031 人	11.82 m ² /人	6 施設
22. 上野ゲートボール場					
23. 上野陸上競技場					
24. 大嶽城址公園野球場					
25. 大嶽城址公園多目的広場					
26. リフレッシュパークプール					
27. 伊良部カントリーパーク	伊良部	64,694 m ²	5,205 人	12.43 m ² /人	8 施設
28. 伊良部テニスコート					
29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール					
30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場					
31. 伊良部運動公園					
32. 伊良部老人福祉センター					
33. 伊良部勤労者体育センター					
34. 平成の森公園					
合計		252,839 m ²	52,039 人	4.86 m ² /人	34 施設

※施設面積の合計は、競技面積が不明な施設は含めていない。

(他都市との比較)うるま市のスポーツ施設と住環境の関係(平成 23 年度(2011))

施設名	地域	敷地面積計	地域別人口	1人当たり敷地面積	施設数
具志川総合体育館	具志川	318,135 m ²	68,341 人	4.66 m ² /人	7 施設
具志川総合グラウンド					
具志川庭球場					
具志川野球場					
喜屋武マープ公園庭球場					
具志川ドーム					
具志川多種目球技場					
石川体育館	石川	30,114 m ²	22,920 人	1.31 m ² /人	6 施設
石川プール					
石川屋内運動場					
石川庭球場					
石川野球場					
石川赤崎ゲートボール場					
勝連総合グラウンド	勝連	38,867 m ²	12,088 人	3.22 m ² /人	3 施設
勝連B & G海洋センター (アリーナ、武道場、管理室)					
勝連B & G海洋センター (プール)					
与那城総合公園陸上競技場	与那城	48,907 m ²	13,630 人	3.59 m ² /人	4 施設
与那城総合公園多目的広場					
与那城総合公園庭球場					
与那城総合公園多種目球技場					
合計		436,023 m ²	116,979 人	3.73 m ² /人	20 施設

出典：うるま市公共施設等白書、うるま市住民基本台帳

※うるま市のスポーツ施設は敷地面積を記載している。

8) 施設分類によるスポーツ施設の概況

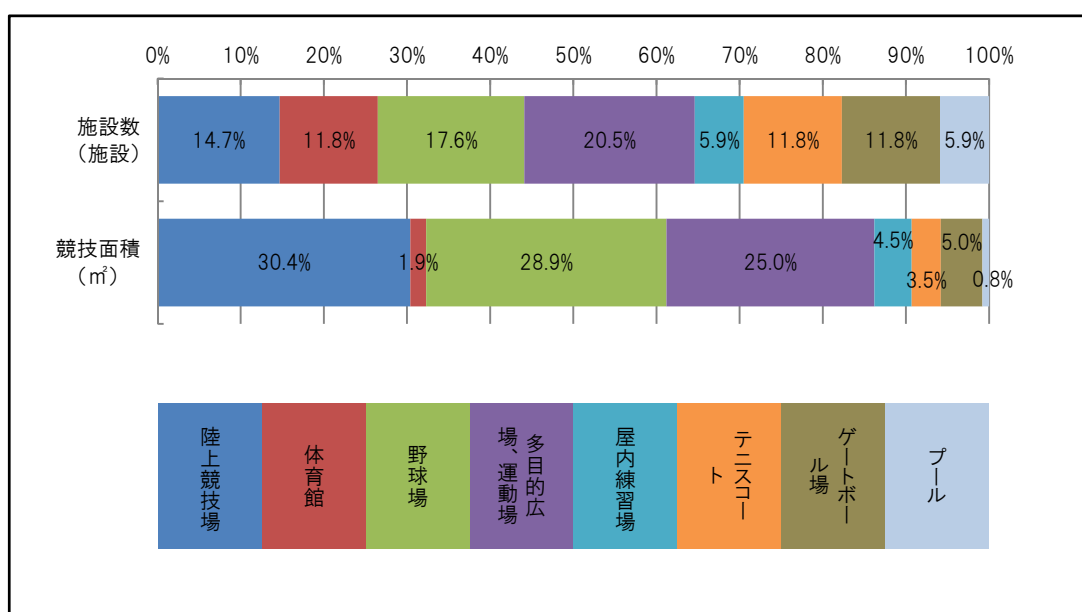
本市の施設分類によるスポーツ施設の概況は、施設数では「多目的広場、運動場」が7施設で最も多く、次いで「野球場」が6施設、「陸上競技場」が5施設の順となっています。競技面積で見ると、「陸上競技場」が76,816㎡で最も多く、次いで「野球場」が73,194㎡、「多目的広場、運動場」が63,477㎡、の順となっています。

また、県内の合併市である、うるま市と比較すると、本市は施設数も多く、特に「多目的広場、運動場」や「野球場」の施設数・面積ともに多い状況です。ただし、屋内練習場の面積に関してはうるま市が本市を大幅に上回っています。

宮古島市のスポーツ施設の施設分類別の施設数・競技面積と割合

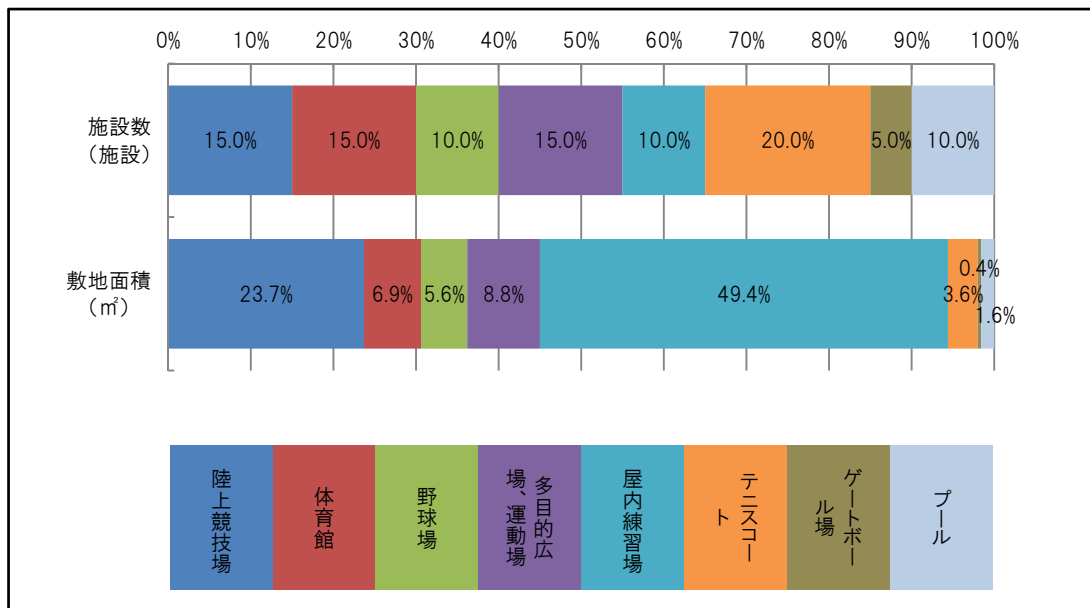
施設分類	施設数 (施設)	割合	競技面積 (㎡)	割合	備考
陸上競技場	5	14.7%	76,816㎡	30.4%	
体育館	4	11.8%	4,700㎡	1.9%	
野球場	6	17.6%	73,194㎡	28.9%	
多目的広場、運動場	7	20.5%	63,477㎡	25.0%	
屋内練習場	2	5.9%	11,300㎡	4.5%	
テニスコート	4	11.8%	8,865㎡	3.5%	
ゲートボール場	4	11.8%	12,519㎡	5.0%	
プール	2	5.9%	1,968㎡	0.8%	
合計	34	100.0%	252,839㎡	100.0%	

※競技面積が不明の施設の面積は含めていない。



(参考)うるま市のスポーツ施設の施設分類別の施設数・敷地面積と割合(平成 23 年度(2011))

施設分類	施設数 (施設)	割合	敷地面積 (㎡)	割合	備考
陸上競技場	3	15.0%	103,417 ㎡	23.7%	
体育館	3	15.0%	30,206 ㎡	6.9%	
野球場	2	10.0%	24,328 ㎡	5.6%	
多目的広場、運動場	3	15.0%	38,353 ㎡	8.8%	
屋内練習場	2	10.0%	214,970 ㎡	49.4%	
テニスコート	4	20.0%	15,913 ㎡	3.6%	
ゲートボール場	1	5.0%	1,851 ㎡	0.4%	
プール	2	10.0%	6,985 ㎡	1.6%	
合計	20	100.0%	436,023 ㎡	100.0%	



出典：うるま市公共施設等白書

9) 学校体育施設と民間スポーツの活用状況

市内には、公共スポーツ施設以外に、学校体育施設や民間のスポーツ施設もあります。また、これらの施設は、宮古体育大会の会場として利用されており、本市のスポーツ推進の上で重要な位置づけとなっています。

第40回宮古体育大会 競技会場

No.	競技名	会場
1	ゴルフ	オーシャンリンクス宮古島
2	水泳	スポーツアカデミー宮古島
3	サッカー	宮古島市多目的前福運動場・宮古島市陸上競技場・城辺運動公園多目的広場
4	剣道	東小学校体育館
5	バドミントン	宮古島市総合体育館
6	ソフトテニス	宮古島市パニパニコート4面
7	テニス	カママ嶺公園テニスコート4面
8	バレーボール	上野体育館
9	バスケットボール	宮古島市総合体育館
10	ハンドボール	宮古島市総合体育館
11	ボウリング	宮古ボウリングセンター
12	柔道	平良中学校武道場
13	軟式野球	宮古島市民球場・宮古島市営球場
14	卓球	宮古島市総合体育館
15	宮古角力	サニツ浜公園角力会場
16	陸上競技	宮古島市陸上競技場

資料：宮古島市体育協会

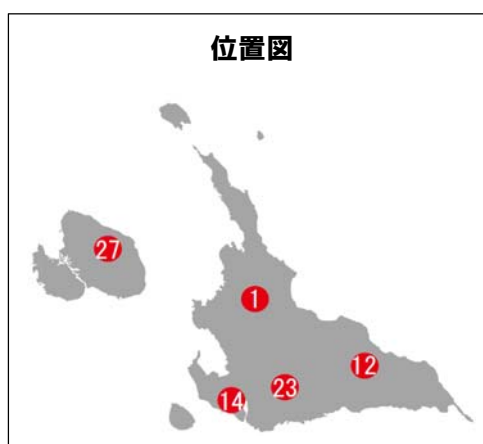
10) 施設分類別の状況

I 陸上競技場

陸上競技場は5施設あり、各地区に設置されています。

■陸上競技場の一覧と位置図

施設名	施設構成
1. 宮古島市陸上競技場	400mトラック(H13年9月全天候型)、第3種公式マラソンコース、室内トレーニングルーム、フィールド芝、シャワー室、会議室、屋内練習場 50m
12. 城辺陸上競技場	400mトラック、夜間照明 ※城辺中学校のグラウンドとして併用
14. 下地陸上競技場	400mトラック8コース、直線 100m8コース、芝張り、跳躍場、投てき場、夜間照明
23. 上野陸上競技場	400mトラック、夜間照明(安全灯)
27. 伊良部カントリーパーク(陸上競技場)	400mトラック



■陸上競技場の現状写真

1. 宮古島市陸上競技場



12. 城辺陸上競技場



14. 下地陸上競技場



23. 上野陸上競技場



27. 伊良部カントリーパーク(陸上競技場)



■個別の施設状況

1. 宮古島市陸上競技場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	第3種公認陸上競技場。平成23年(2011)にメインスタンドが改修され、トレーニングマシン、屋内練習場(50m)、会議室などの設備が充実している	◎
利用状況	利用者が最も多く、また多くの陸上競技大会等で利用されている。陸上競技以外にも、サッカーの大会等でも利用されている。また、市外利用者が合宿等で利用している	◎
維持管理状況	常駐管理者が配置されており、きれいに維持管理されている。	◎
(参考) アンケート調査結果	音響設備に関して不満があるが、概ね施設利用者の満足度は高い	

12. 城辺陸上競技場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	400mトラックが整備されている。	○
利用状況	大会等での利用は少なく、ほとんどは中学校のグラウンド利用である。また、中学校のグラウンドと併用されており、利用しにくい状況である	△
維持管理状況	常駐管理者が配置されておらず、芝生の状態が悪く、照明が壊れたままになっている	△
(参考) アンケート調査結果	施設利用者の満足度は高い	

14. 下地陸上競技場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	400mトラック、跳躍場、投てき場などが整備されている	○
利用状況	大会等利用は、地域の大会のみの利用である。(参考)市民アンケートの回答者の2.0%が利用している	△
維持管理状況	常駐管理者が配置されておらず、芝生の状態が悪い	△
(参考) アンケート調査結果	市民アンケートの回答者の2.0%が利用している 施設内の用具の種類や数、質、トレーニング室の清潔さなどに不満がある	

23. 上野陸上競技場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	400mトラック、夜間照明(安全灯)が整備されている。上野体育館と近接している	○
利用状況	利用者数は、総合陸上競技場に次いで多く、主に地域の大会等に利用されている	○
維持管理状況	常駐管理者が配置されておらず、芝生の状態が悪く、トラックに雑草が生えている状態である	△
(参考) アンケート調査結果	施設利用者の満足度は非常に高い	

27. 伊良部カントリーパーク(陸上競技場)

施設名	現状	評価
施設機能・設備	400mトラックが整備されている。テニスコートや集会場が隣接している	○
利用状況	大会等利用は、ほとんどない。(参考)市民アンケートの回答者の1.7%が利用している	△
維持管理状況	常駐管理者が配置されておらず、管理者が他の施設と異なっている。施設の管理状態が悪く、施設が老朽化している	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケートの回答なし	

■評価

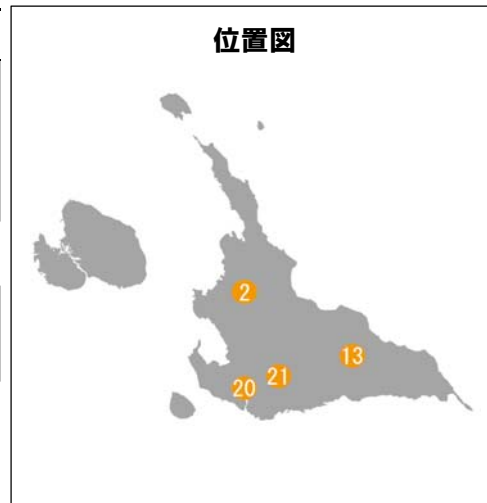
- ・施設機能・設備：◎施設機能・設備が充実している、○競技が行える施設機能・設備がある、△他の施設と比べ施設機能が整備されていない、×競技が困難な施設機能・設備である
- ・利用状況：◎利用者数、利用大会数ともに非常に多い、○利用者数もしくは利用大会数が多い、△利用者、大会利用が少ない、×競技利用がほとんどない
- ・維持管理状況：◎常駐管理者を配置し、施設状態が良好、○常駐管理者を配置し、施設状態はあまり良好でない、△常駐管理者を配置しておらず、施設状態はあまり良好でない、×常駐管理者を配置しておらず、施設状態が悪い

II 体育館

体育館は4施設あり、伊良部地区を除き、各地区に設置されています。

■体育館の一覧

施設名	施設構成
2. 宮古島市総合体育館	アリーナ(バレーボール(3面)、バスケットボール(2面)、バドミントン(8面)、公式テニス(2面)、ハンドボール(2面)、小体育室、小トレーニング室、会議室)
13. 城辺トレーニングセンター	バレーボール(3面)、バスケットボール(2面)、バドミントン(8面)
20. 下地勤労者体育センター(体育館)	バレーボール(2面)、バスケットボール(2面)、バドミントン(4面)、ハンドボール(2面)、卓球(2面)
21. 上野体育館	バレーボール(2面)、バスケットボール(2面)、ハンドボール(2面)、バドミントン(4面)、トレーニング場、テニス(2面)



■体育館の現状写真

2. 宮古島市総合体育館



13. 城辺トレーニングセンター



20. 下地勤労者体育センター(体育館)



21. 上野体育館



■個別の施設状況

2. 宮古島市総合体育館

施設名	現状	評価
施設機能・設備	競技面積が最も大きく、アリーナ以外に小体育室や会議室、トレーニング室などが整備されている	◎
利用状況	施設利用者数が最も多く、イベントや大会などでも多く利用されている	◎
維持管理状況	施設管理の所管課の窓口が設置されており、最も人材を配置している。築30年近く経過しているため、施設の老朽化が進んでおり、アリーナ以外の施設が利用しにくい	○
(参考) アンケート調査結果	施設利用者の満足度は高い。特に清潔さや施設の開館日・利用時間に関する満足度が高いが、駐車場に関しては不満がある	

13. 城辺トレーニングセンター

施設名	現状	評価
施設機能・設備	バレーボール(3面)、バスケットボール(2面)、バドミントン(8面)が整備されている	○
利用状況	大会等はほとんど開催されていない	×
維持管理状況	常駐管理者を配置していない。築30年近く経過しているため、施設の老朽化が進んでおり、アリーナ以外の施設が利用しにくい	△
(参考) アンケート調査結果	施設の清潔さやトレーニング室の設備、バリアフリー等に関する不満がある	

20. 下地勤労者体育センター(体育館)

施設名	現状	評価
施設機能・設備	バレーボール(2面)、バスケットボール(2面)、バドミントン(4面)、ハンドボール(2面)、卓球(2面)が整備されている	○
利用状況	利用者は少なく、一部の大会のみ行っている	△
維持管理状況	常駐管理者を配置し、施設管理を行っている。築20年以上経過しているため、施設の老朽化が進んでおり、アリーナ以外の施設が利用しにくい	○
(参考) アンケート調査結果	施設の清潔さやトレーニング室の設備等に関する不満が多いが、他の項目についての施設利用の満足度は高い	

21. 上野体育館

施設名	現状	評価
施設機能・設備	総合体育館に次いで、競技面積が大きく、上野陸上競技場に近接している	○
利用状況	総合体育館に次いで、利用者が多く、大会等の利用も多い	○
維持管理状況	常駐管理者を配置し、施設管理を行っている。築30年近く経過しているため、施設の老朽化が進んでおり、アリーナ以外の施設が利用しにくい	○
(参考) アンケート調査結果	施設利用者の満足度は高い	

■評価

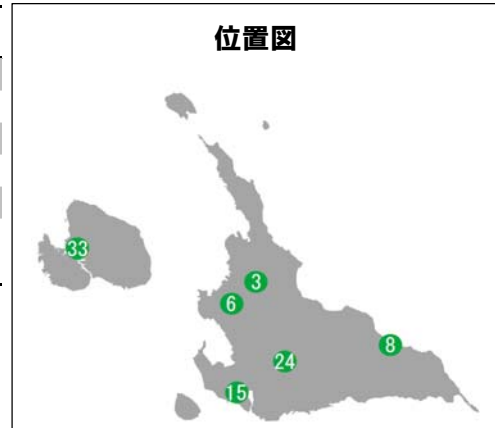
- ・施設機能・設備：◎施設機能・設備が充実している、○競技が行える施設機能・設備がある、△他の施設と比べ施設機能が整備されていない、×競技が困難な施設機能・設備である
- ・利用状況：◎利用者数、利用大会数ともに非常に多い、○利用者数もしくは利用大会数が多い、△利用者、大会利用が少ない、×競技利用がほとんどない
- ・維持管理状況：◎常駐管理者を配置し、施設状態が良好、○常駐管理者を配置し、施設状態はあまり良好でない、△常駐管理者を配置しておらず、施設状態はあまり良好でない、×常駐管理者を配置しておらず、施設状態が悪い

Ⅲ 野球場

野球場は6施設あり、各地区に設置されています。平良地区には2施設あります。

■野球場の一覧■体育館の一覧

施設名	施設構成
3. 市民球場	両翼 97.6m、中堅 122m
6. 市営球場(カママ嶺)	野球場
8. 城辺運動公園野球場	両翼 100m
15. 下地運動公園野球場	管理棟
24. 大嶽城址公園野球場	野球場
33. 伊良部勤労者体育センター (野球場)	野球場、駐車場(80台)、 両翼 91m、中堅 120m



■野球場の現状写真

3. 市民球場



6. 市営球場(カママ嶺)



8. 城辺運動公園野球場



15. 下地運動公園野球場



24. 大嶽城址公園野球場



33. 伊良部勤労者体育センター(野球場)



■個別の施設状況

3. 市民球場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	両翼 97.6m、中堅 122mの野球場。室内練習場、サブグラウンド、ブルペンが近接	◎
利用状況	多くの利用者、大会等で利用されている。また、プロ野球のキャンプ地としても利用している。硬式利用のチームが利用している	◎
維持管理状況	常駐管理者を配置していない。定期的な維持管理は行っておらず、施設状態はあまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	施設利用者の満足度は非常に高い	

6. 市営球場（カママ嶺）

施設名	現状	評価
施設機能・設備	カママ嶺公園内にある野球場	○
利用状況	利用者は最も多く、軟式野球の大会で多く利用されている	○
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。非常に老朽化が進んでおり、施設状態はあまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	トイレの清潔さ、トレーニング室に関する満足度は低い、概ね利用者の満足度は高い	

8. 城辺運動公園野球場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	両翼 100mの野球場	○
利用状況	硬式球利用する大学や社会人のキャンプ等で利用されている	○
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行っておらず、施設状態はあまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

15. 下地運動公園野球場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	周辺に室内練習場、サブグラウンド、ブルペンが近接している野球場	◎
利用状況	軟式野球の大会等で利用されている。また、プロ野球のキャンプに利用されている	○
維持管理状況	常駐管理者を配置していない。定期的な維持管理は行っておらず、施設状態はあまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	トイレの清潔さに関する満足度は低い、概ね施設利用者の満足度は高い	

24. 大嶽城址公園野球場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	大嶽城址公園の中の野球場	○
利用状況	大会等での利用はされていない	△
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。非常に老朽化が進んでおり、施設状態はあまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

33. 伊良部勤労者体育センター（野球場）

施設名	現状	評価
施設機能・設備	野球場(両翼 91m、中堅 120m)	○
利用状況	大会等での利用はされていない	△
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行っておらず、施設状態は悪い	×
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

■評価

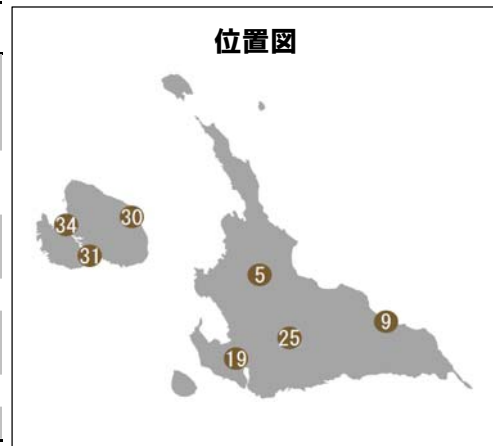
- ・施設機能・設備：◎施設機能・設備が充実している、○競技が行える施設機能・設備がある、△他の施設と比べ施設機能が整備されていない、×競技が困難な施設機能・設備である
- ・利用状況：◎利用者数、利用大会数ともに非常に多い、○利用者数もしくは利用大会数が多い、△利用者、大会利用が少ない、×競技利用がほとんどない
- ・維持管理状況：◎常駐管理者を配置し、施設状態が良好、○常駐管理者を配置し、施設状態はあまり良好でない、△常駐管理者を配置しておらず、施設状態はあまり良好でない、×常駐管理者を配置しておらず、施設状態が悪い

IV 多目的広場・運動場

多目的広場・運動場は7施設あり、各地区に設置されています。伊良部地区には3施設あります。

■多目的広場・運動場の一覧

施設名	施設構成
5. 多目的前福運動場	サブグラウンド、サッカー場、投球練習場(5面)、芝広場(大)、芝広場(小)
9. 城辺運動公園多目的広場	ゲートボール(15面)、グラウンドゴルフ(3コース)
19. 下地運動公園芝生広場	グラウンドゴルフ(2コース)、各種レクリエーション
25. 大嶽城址公園多目的広場	多目的広場
30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場	グラウンドゴルフ、多目的広場
31. 伊良部運動公園	多目的広場
34. 平成の森公園	多目的広場



■多目的広場・運動場の現状写真

5. 多目的前福運動場



9. 城辺運動公園多目的広場



19. 下地運動公園芝生広場



25. 大嶽城址公園多目的広場



30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場



31. 伊良部運動公園



34. 平成の森公園



■個別の施設状況

5. 多目的前福運動場

施設名		評価
施設機能・設備	サブグラウンドやサッカー場が配置されている	◎
利用状況	多くの方に利用されており、また、サッカーやラグビーの大会等で利用されている	◎
維持管理状況	常駐管理者はいない。定期的な維持管理が行えておらず、芝の状態があまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	トイレの清潔さやトレーニング室など一部に不満がある。利用手続き、利用支払いも時間がかかり大変という意見がある	

9. 城辺運動公園多目的広場

施設名		評価
施設機能・設備	グラウンドゴルフが競技可能(3コース)な芝生広場	○
利用状況	大会等で利用されている。(参考) 市民アンケート回答者の1.3%が施設を利用している	△
維持管理状況	常駐管理者はいない。定期的な維持管理が行えておらず、芝の状態があまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

19. 下地運動公園芝生広場

施設名		評価
施設機能・設備	グラウンドゴルフが競技可能(2コース)な芝生広場	○
利用状況	大会等で利用されていない。(参考) 市民アンケート回答者の0.8%が施設を利用している	△
維持管理状況	常駐管理者はいない。定期的な維持管理が行えておらず、芝の状態があまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

25. 大嶽城址公園多目的広場

施設名		評価
施設機能・設備	段差がある多目的広場	△
利用状況	大会等で利用されていない。(参考) 市民アンケート回答者の0.6%が施設を利用している	△
維持管理状況	常駐管理者はいない。定期的な維持管理が行えておらず、芝の状態があまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場

施設名		評価
施設機能・設備	屋外プールと近接しており、グラウンドゴルフが競技可能な芝生広場	○
利用状況	大会等で利用されていない。(参考) 市民アンケート回答者の1.0%が施設を利用している	△
維持管理状況	常駐管理者はいない。定期的な維持管理が行えていないため、芝の状態が悪い	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

31. 伊良部運動公園

施設名		評価
施設機能・設備	芝生の多目的広場	△
利用状況	競技利用ではなく、地域イベントに利用されている	×
維持管理状況	常駐管理者はいない。定期的な維持管理が行えておらず、芝の状態があまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

34. 平成の森公園

施設名		評価
施設機能・設備	芝生の多目的広場。以前はトラックがあった	△
利用状況	競技利用ではなく、地域イベントに利用されている	×
維持管理状況	常駐管理者はいない。定期的な維持管理が行えておらず、芝の状態があまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	概ね施設利用者の満足度は高い	

■評価

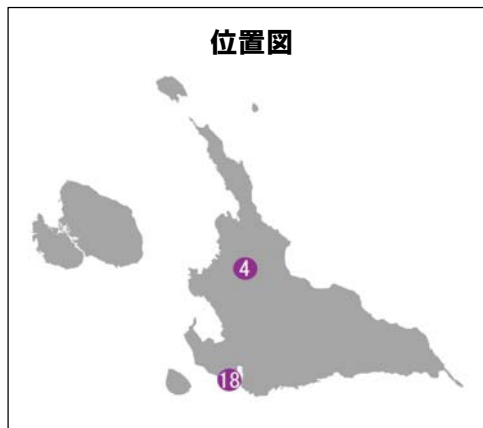
- ・施設機能・設備：◎施設機能・設備が充実している、○競技が行える施設機能・設備がある、△他の施設と比べ施設機能が整備されていない、×競技が困難な施設機能・設備である
- ・利用状況：◎利用者数、利用大会数ともに非常に多い、○利用者数もしくは利用大会数が多い、△利用者、大会利用が少ない、×競技利用がほとんどない
- ・維持管理状況：◎常駐管理者を配置し、施設状態が良好、○常駐管理者を配置し、施設状態はあまり良好でない、△常駐管理者を配置しておらず、施設状態はあまり良好でない、×常駐管理者を配置しておらず、施設状態が悪い

V 屋内運動場

屋内運動場は2施設あり、平良地区と下地地区に設置されています。

■屋内運動場の一覧

施設名	施設構成
4. 多目的前福屋内運動場	アリーナ 50m×50m、投球練習場(4面)、小運動場、運動広場
18. 下地運動公園屋内テニスコート	テニスコート(1面)



■屋内運動場の現状写真

4. 多目的前福屋内運動場



18. 下地運動公園屋内テニスコート



■個別の施設状況

4. 多目的前福屋内運動場

施設名		評価
施設機能・設備	フットサル競技が可能なアリーナの他に小運動場などが整備されている	◎
利用状況	フットサル大会等で大会利用されており、一般利用としてテニス、フットサル、部活動(野球)などで多く利用されている。また、オリックス・バファローズキャンプにも利用されている	◎
維持管理状況	常駐管理者を配置していない。施設が老朽化しており、施設状態があまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	施設の使用料金や、運動スペースやトイレの清潔さへの不満がある	

18. 下地運動公園屋内テニスコート

施設名		評価
施設機能・設備	テニスコート1面分の室内運動スペースが整備されている	○
利用状況	大会等には利用されていないが、一般利用として、テニス、部活動(野球)などで多く利用されている	○
維持管理状況	常駐管理者を配置していない。施設が老朽化しており、施設状態があまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	運動スペースの質や公共交通アクセスへの不満がある	

■評価

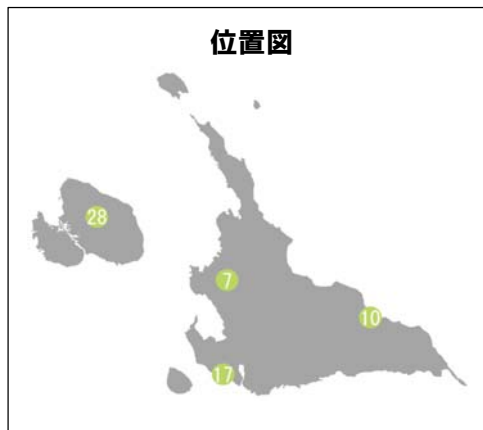
- ・施設機能・設備：◎施設機能・設備が充実している、○競技が行える施設機能・設備がある、△他の施設と比べ施設機能が整備されていない、×競技が困難な施設機能・設備である
- ・利用状況：◎利用者数、利用大会数ともに非常に多い、○利用者数もしくは利用大会数が多い、△利用者、大会利用が少ない、×競技利用がほとんどない
- ・維持管理状況：◎常駐管理者を配置し、施設状態が良好、○常駐管理者を配置し、施設状態はあまり良好でない、△常駐管理者を配置しておらず、施設状態はあまり良好でない、×常駐管理者を配置しておらず、施設状態が悪い

VI テニスコート

テニスコートは4施設あり、上野地区を除き、各地区に設置されています。

■テニスコートの一覧

施設名	施設構成
7. カママ嶺テニスコート	砂入り人工芝
10. 城辺運動公園テニスコート	人工芝(2面)
17. 下地運動公園テニスコート	テニスコート(4面)
28. 伊良部テニスコート	テニスコート(2面)



■テニスコートの現状写真

7. カママ嶺テニスコート



10. 城辺運動公園テニスコート



17. 下地運動公園テニスコート



28. 伊良部テニスコート



■個別の施設状況

7. カママ嶺テニスコート

施設名	評価
施設機能・設備	テニスコート3面整備されている ○
利用状況	ほとんどの大会やイベントで利用されている ◎
維持管理状況	常駐管理者を配置していない。定期的な維持管理は行われておらず、施設状態はあまり良くない。ナイター設備が壊れたままになっている △
(参考) アンケート調査結果	運動スペースやトイレの清潔さ、申請手続きなどに不満がある

10. 城辺運動公園テニスコート

施設名	評価
施設機能・設備	テニスコート4面整備されている ◎
利用状況	大会等での利用はほとんどない。一般利用のリピーターに利用されている △
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行われておらず、施設状態は良くない。ネットが壊れている △
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし

17. 下地運動公園テニスコート

施設名	評価
施設機能・設備	テニスコート4面整備されている。屋内テニスコートが近接している ◎
利用状況	大会等での利用はほとんどない。一般利用のリピーターに利用されている ○
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行われておらず、施設状態はあまり良くない △
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし

28. 伊良部テニスコート

施設名	評価
施設機能・設備	テニスコート2面整備されている ○
利用状況	一般利用のリピーターに利用されている。(参考) 市民アンケート回答者の0.1%が施設を利用している △
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行われておらず、施設状態はあまり良くない △
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし

■評価

- ・施設機能・設備：◎施設機能・設備が充実している、○競技が行える施設機能・設備がある、△他の施設と比べ施設機能が整備されていない、×競技が困難な施設機能・設備である
- ・利用状況：◎利用者数、利用大会数ともに非常に多い、○利用者数もしくは利用大会数が多い、△利用者、大会利用が少ない、×競技利用がほとんどない
- ・維持管理状況：◎常駐管理者を配置し、施設状態が良好、○常駐管理者を配置し、施設状態はあまり良好でない、△常駐管理者を配置しておらず、施設状態はあまり良好でない、×常駐管理者を配置しておらず、施設状態が悪い

Ⅶ ゲートボール場

ゲートボール場は4施設あり、平良地区を除き、各地区に設置されています。

■ゲートボール場の一覧

施設名	施設構成
11. 城辺運動公園 ゲートボール場	人工芝(6面)
16. 下地運動公園 ゲートボール場	ゲートボール場(4面)
22. 上野ゲートボール場	ゲートボール(4面)
32. 伊良部老人福祉センター (ゲートボール場)	ゲートボール場(3面)



■ゲートボールの現状写真

11. 城辺運動公園ゲートボール場



16. 下地運動公園ゲートボール場



22. 上野ゲートボール場



32. 伊良部老人福祉センター(ゲートボール場)



■個別の施設状況

11. 城辺運動公園ゲートボール場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	最多の6面のゲートボール場が整備されている	◎
利用状況	地域の大会等が開催されている	○
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行われておらず、施設状態はあまり良くない。人工芝が剥離して、土が見えている状況である	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

16. 下地運動公園ゲートボール場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	ゲートボール場が4面整備されている	○
利用状況	大会等では利用されていない	△
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行われておらず、施設状態はあまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

22. 上野ゲートボール場

施設名	現状	評価
施設機能・設備	ゲートボール場が4面整備されている	○
利用状況	大会等では利用されていない	△
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行われておらず、施設状態はあまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

32. 伊良部老人福祉センター（ゲートボール場）

施設名	現状	評価
施設機能・設備	ゲートボール場が3面整備されている	○
利用状況	大会等では利用されていない	△
維持管理状況	常駐管理者は配置していない。定期的な維持管理は行われておらず、施設状態はあまり良くない	△
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

■評価

- ・施設機能・設備：◎施設機能・設備が充実している、○競技が行える施設機能・設備がある、△他の施設と比べ施設機能が整備されていない、×競技が困難な施設機能・設備である
- ・利用状況：◎利用者数、利用大会数ともに非常に多い、○利用者数もしくは利用大会数が多い、△利用者、大会利用が少ない、×競技利用がほとんどない
- ・維持管理状況：◎常駐管理者を配置し、施設状態が良好、○常駐管理者を配置し、施設状態はあまり良好でない、△常駐管理者を配置しておらず、施設状態はあまり良好でない、×常駐管理者を配置しておらず、施設状態が悪い

VIII プール

プールは2施設あり、上野地区と伊良部地区に設置されています。

■プールの一覧

施設名	施設構成
26. リフレッシュパークプール (うへのドイツ村のプール)	温水プール
29. 佐良浜スポーツセンター 屋外プール	屋外プール(25m×6コー ス)、幼児用プール



■プールの現状写真

26. リフレッシュパークプール(うへのドイツ村のプール)



29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール



■個別の施設状況

26. リフレッシュパークプール(うへのドイツ村のプール)

施設名		評価
施設機能・設備	うへのドイツ村に近接している屋内プールであり、競技用の機能はない。宮古島市唯一のウォータースライダーがある	×
利用状況	夏期のみ利用可能で年間を通して利用できない。競技大会等は行われていない	×
維持管理状況	利用期間中は常駐管理者を配置し、利用者の安全に配慮している	○
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール

施設名		評価
施設機能・設備	佐良浜スポーツセンター多目的広場に近接している屋外プール。児童用プール、25m×6コースが整備されている	△
利用状況	夏期のみ利用可能で年間を通して利用できない。競技大会等は行われていない	×
維持管理状況	利用期間中は常駐管理者を配置し、利用者の安全に配慮している	○
(参考) アンケート調査結果	利用者アンケート回答なし	

■評価

- ・施設機能・設備：◎施設機能・設備が充実している、○競技が行える施設機能・設備がある、△他の施設と比べ施設機能が整備されていない、×競技が困難な施設機能・設備である
- ・利用状況：◎利用者数、利用大会数ともに非常に多い、○利用者数もしくは利用大会数が多い、△利用者、大会利用が少ない、×競技利用がほとんどない
- ・維持管理状況：◎常駐管理者を配置し、施設状態が良好、○常駐管理者を配置し、施設状態はあまり良好でない、△常駐管理者を配置しておらず、施設状態はあまり良好でない、×常駐管理者を配置しておらず、施設状態が悪い

11) スポーツ施設種別の施設状況

施設機能や現況を点数化すると、施設種別のそれぞれの評価が高い施設は、宮古島市陸上競技場（9点）、宮古島市総合体育館（8点）で、利用者数も圧倒的に多い状況となっています。伊良部運動公園、平成の森公園やリフレッシュパークプールは評価が2点となっています。

なお、施設評価の点数は、施設種別ごとに相対的に評価を行った結果です。

	施設名	競技面積	建築年	利用者数 (H24)	施設 機能	利用 状況	維持 管理	施設 評価
陸上競技場	1. 宮古島市陸上競技場	19,239㎡	S43.9	46,809人	◎	◎	◎	9点
	12. 城辺陸上競技場	16,944㎡	S60.3	3,060人	○	△	△	4点
	14. 下地陸上競技場	—	H4.4	474人	○	△	△	4点
	23. 上野陸上競技場	19,420㎡	S59.3	2,276人	○	○	△	5点
	27. 伊良部カントリーパーク	21,213㎡	H7.6	1,900人	○	△	△	4点
体育館	2. 宮古島市総合体育館	1,900㎡	S59.12	27,268人	◎	◎	○	8点
	13. 城辺トレーニングセンター	1,300㎡	S57.3	2,329人	○	×	△	3点
	20. 下地勤労者体育センター	1,425㎡	H4.4	474人	○	△	○	5点
	21. 上野体育館	1,500㎡	S58.3	15,063人	○	○	○	6点
野球場	3. 市民球場	13,353㎡	H3.12	3,371人	◎	◎	△	7点
	6. 市営球場（カママ嶺）	13,848㎡	S54.6	8,310人	○	○	△	5点
	8. 城辺運動公園野球場	13,120㎡	H3.7	271人	○	○	△	5点
	15. 下地運動公園野球場	13,040㎡	H4.4	1,751人	◎	○	△	6点
	24. 大嶽城址公園野球場	7,233㎡	S57.3	—	○	△	△	4点
	33. 伊良部勤労者体育センター	12,600㎡	S59.10	—	○	△	×	3点
多目的広場、運動場	5. 多目的前福運動場	23,114㎡	H5	5,933人	◎	◎	△	7点
	9. 城辺運動公園多目的広場	12,250㎡	H3.7	2,107人	○	△	△	4点
	19. 下地運動公園芝生広場	3,616㎡	H4.4	—	○	△	△	4点
	25. 大嶽城址公園多目的広場	4,000㎡	S57.3	—	△	△	△	3点
	30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場	9,758㎡	H2.7	5,000人	○	△	△	4点
	31. 伊良部運動公園	14,355㎡	—	—	△	×	△	2点
	34. 平成の森公園	62,570㎡	H8	—	△	×	△	2点
屋内練習場	4. 多目的前福屋内運動場	11,300㎡	H4.11	3,395人	◎	◎	△	7点
	18. 下地運動公園 屋内テニスコート	—	H4.4	1,608人	○	○	△	5点
テニスコート	7. カママ嶺テニスコート	2,617㎡	S57.7	2,931人	○	◎	△	6点
	10. 城辺運動公園 テニスコート	3,000㎡	H6.7	—	◎	△	△	5点
	17. 下地運動公園 テニスコート	2,484㎡	H4.4	111人	◎	○	△	6点
	28. 伊良部テニスコート	764㎡	H7.6	60人	○	△	△	4点
ゲートボール場	11. 城辺運動公園ゲートボール場	3,000㎡	H3	2,660人	◎	○	△	6点
	16. 下地運動公園ゲートボール場	1,809㎡	H4.4	—	○	△	△	4点
	22. 上野ゲートボール場	2,576㎡	S62.3	—	○	△	△	4点
	32. 伊良部老人福祉センター	5,134㎡	S61.4	—	○	△	△	4点
プール	26. リフレッシュパークプール	1,098㎡	H13（改築）	6,489人	×	×	○	2点
	29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール	870㎡	H2.7	507人	△	×	○	3点

施設評価：◎を3点、○を2点、△を1点、×及びーを0点として、その合計点を評価点とした

12) 地区別の施設状況

地区別に施設評価を点数化すると、地区別の評価が高い施設は平良地区に集積しており、平良地区の平均施設評価点は7.0点と、他の地区より高い評価となっています。平良地区に次いで平均施設評価点が高い下地地区は、比較的新しい施設が7施設存在し、プロ野球キャンプ（2軍）で利用されています。

	施設名	競技面積	建築年	利用者数 (H24)	施設 機能	利用 状況	維持 管理	施設 評価	平均点
平良地区	1. 宮古島市陸上競技場	19,239㎡	S43.9	46,809人	◎	◎	◎	9点	7.0点
	2. 宮古島市総合体育館	1,900㎡	S59.12	27,268人	◎	◎	○	8点	
	3. 市民球場	13,353㎡	H3.12	3,371人	◎	◎	△	7点	
	4. 多目的前福屋内運動場	11,300㎡	H4.11	3,395人	◎	◎	△	7点	
	5. 多目的前福運動場	23,114㎡	H5	5,933人	◎	◎	△	7点	
	6. 市営球場（カママ嶺）	13,848㎡	S54.6	8,310人	○	○	△	5点	
	7. カママ嶺テニスコート	2,617㎡	S57.7	2,931人	○	◎	△	6点	
城辺地区	8. 城辺運動公園野球場	13,120㎡	H3.7	271人	○	○	△	5点	4.5点
	9. 城辺運動公園多目的広場	12,250㎡	H3.7	2,107人	○	△	△	4点	
	10. 城辺運動公園テニスコート	3,000㎡	H6.7		◎	△	△	5点	
	11. 城辺運動公園ゲートボール場	3,000㎡	H3	2,660人	◎	○	△	6点	
	12. 城辺陸上競技場	16,944㎡	S60.3	3,060人	○	△	△	4点	
	13. 城辺トレーニングセンター	1,300㎡	S57.3	2,329人	○	×	△	3点	
下地地区	14. 下地陸上競技場	㎡	H4.4	474人	○	△	△	4点	4.9点
	15. 下地運動公園野球場	13,040㎡	H4.4	1,751人	◎	○	△	6点	
	16. 下地運動公園ゲートボール場	1,809㎡	H4.4		○	△	△	4点	
	17. 下地運動公園テニスコート	2,484㎡	H4.4	111人	◎	○	△	6点	
	18. 下地運動公園屋内テニスコート		H4.4	1,608人	○	○	△	5点	
	19. 下地運動公園芝生広場	3,616㎡	H4.4		○	△	△	4点	
	20. 下地勤労者体育センター（体育館）	1,425㎡	H4.4	5,892人	○	△	○	5点	
上野地区	21. 上野体育館	1,500㎡	S58.3	15,063人	○	○	○	6点	4.0点
	22. 上野ゲートボール場	2,576㎡	S62.3	—	○	△	△	4点	
	23. 上野陸上競技場	19,420㎡	S59.3	2,276人	○	○	△	5点	
	24. 大嶽城址公園野球場	7,233㎡	S57.3		○	△	△	4点	
	25. 大嶽城址公園多目的広場	4,000㎡	S57.3		△	△	△	3点	
	26. リフレッシュパークプール	1,098㎡	H13（改築）	6,489人	×	×	○	2点	
伊良部地区	27. 伊良部カントリーパーク（陸上競技場）	21,213㎡	H7.6	1,900人	○	△	△	4点	3.3点
	28. 伊良部テニスコート	764㎡	H7.6	60人	○	△	△	4点	
	29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール	870㎡	H2.7	507人	△	×	○	3点	
	30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場	9,758㎡	H2.7	5,000人	○	△	△	4点	
	31. 伊良部運動公園	14,355㎡			△	×	△	2点	
	32. 伊良部老人福祉センター （ゲートボール場）	5,134㎡	S61.4		○	△	△	4点	
	33. 伊良部勤労者体育センター（野球場）	12,600㎡	S59.10		○	△	×	3点	
	34. 平成の森公園	62,570㎡	H8		△	×	△	2点	

施設評価：◎を3点、○を2点、△を1点、×及びーを0点として、その合計点を評価点とした

3章 公共スポーツ施設における現状整理と課題

前章で整理した宮古島市のスポーツに関する現況を基に、スポーツマネジメントにおける課題を抽出します。

(1)現状の整理

前章で整理した宮古島市のスポーツに関する現況についてまとめます。

項目	現状
宮古島市の概況	<ul style="list-style-type: none"> ○アジアに近く、沖縄本島、東京からの交通アクセスが整備されている。 ○美しい海に囲まれた、高低差が少ない平坦な地形等の環境。 ○亜熱帯気候で年間を通して温暖な気候であることから、スポーツやトレーニングを行える環境がある。 ○人口は減少傾向であり、今後も減少していく見通しのため、スポーツの競技人口やスポーツを支えるボランティアも減っていくことが想定される。特に、若年層の人口減少が顕著である。 ○全日本トライアスロン大会など全国レベルの大会が開催されており、市内外から多くの競技者が参加しています。 ○プロスポーツチーム（野球、サッカー等）のキャンプを誘致しており、観光誘客の拡大につながっている。 ○観光客は増加傾向にあり、特に夏期に観光客が多く、マリンスポーツを楽しむことを目的に訪れている可能性が高い。 ○スポーツイベント窓口と施設管理窓口が異なる。
スポーツに関する意向	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の意向では、今後、競技者またはイベントスタッフとしてイベントに関わりたいとの意向が多く見られる。 ○市民の意向では、スポーツイベントの活性化のためには“情報提供の充実が必要”という意見が多く挙げられている。 ○日常的にスポーツイベントが開催されているため、全国的に見てもスポーツに対する意識が高い。 ○ボランティアなどの活動支援の意欲が高。本市の特徴であるホスピタリティのある人材により、市内のスポーツイベントは支えられている。 ○利用者の意向では、利用条件「利用時間の拡大、利用料金の引き下げ」や施設・設備「用具・器具などの充実」への改善要望がある。 ○施設を利用した理由で最も多かったのは、「身近にあるため」、次いで「他の施設より施設や設備が充実している」であった。 ○競技人口は小学校から高校までは、バスケットボールが多く、社会人では野球が多い。 ○スポーツ施設に望むことで回答が多かったのは、「施設数の増加」、スポーツ教室・行事の充実、「指導者の配置」である

項目	現状
スポーツ施設に関する現状について	<ul style="list-style-type: none"> ○旧市町村ごとにスポーツ施設が整備されてきたことから、各地区でスポーツ活動ができる環境が整っている。 ○施設によって利用者数に大きな差が見られる ○施設の更新費用は今後 16 年間で約 489 億円であり、一年当たり約 30 億円が必要となる。 ○管理者が常駐している施設が少なく、施設の維持管理体制が不十分。 ○指導者など専門のスタッフが常駐している施設が少ない。 ○競技面積は 252,839 m²、市民一人当たり競技面積 4.86 m²/人と多くの施設を保有している。 ○旧市町村ごとにスポーツ施設が整備されており、同種施設を複数所有している。 ○施設使用申請の受付場所が一元化されておらず、利用者にとっては利用しづらく、管理者にとっては管理しにくい状況にある。 ○築 20 年以上の老朽化した施設が多く、頻繁に修繕を行っており、維持管理費用には多くの予算が割かれている。 ○使用料収入は維持管理費用と比較すると僅かとなっている。 ○施設概要や施設構成、使用許可申請等の情報は市ホームページから把握できるが、主に市内利用者向けの情報提供となっている。 ○施設情報は、施設の管理担当課ごとで発信されて、情報が一元化されていない。 ○スポーツイベントや大会等の一部を民間のスポーツ施設を活用して開催されている。 ○芝生の状態が悪く、グラウンドがでこぼこしている状態である。 ○施設によって利用者数に大きな差が見られ、設備が充実している平良地区の施設が多く利用されている。

(2)課題

現状の整理を踏まえ、スポーツマネジメントにおける課題を「施設」、「人材」、「コスト」、「情報」の視点で以下の5つの項目で整理します。

1) 地区特性を考慮した特色ある施設整備の必要性

各地区に設置されているスポーツ施設の更なる有効活用のためには、各地区均一の施設整備ではなく、地区特性を十分に考慮した特色ある施設整備が必要となります。

また、高齢者、障がい者、子ども等のすべての人々が、安全・安心・快適にスポーツを楽しめる整備が必要です。社会情勢の変化やニーズに対応するため、必要に応じて施設の新設について検討が必要となります。

2) 維持管理の統一化と適切な管理体制の構築の必要性

利用者が利用しやすく、かつ管理者が管理しやすい施設とするためにも、施設使用申請の方法や維持管理の基準等の統一化、また、民間活力の導入などの適切な管理体制の構築が必要となります。

3) スポーツ活動を支援する環境づくりの必要性

スポーツによる地域活性化のためには、スポーツ活動を支援する人材の好循環をつくる必要があります。スポーツ活動や新しいサービスの提供、スポーツ施設の運営等を行えるNPO法人やボランティアなどの担い手づくりやその担い手の方々が集まれる場づくりが必要です。

また、全国レベルの大会など、スポーツイベントが開催されており、市民・競技者（市内外）、観光客等のスポーツ活動を促進するための環境づくりが必要となります。

4) 将来の維持管理コスト増加への対応の必要性

施設の多くは築 20 年以上を経過しており、老朽化に伴う施設の改修や修繕費等の維持管理コストの増加や、施設の更新が集中する時期への対応が必要となります。また、施設利用者の拡大による、施設使用収入の増加を図る必要があります。

5) 市外からの利用者の拡大の必要性

プロスポーツ選手やトップアスリートと市民のスポーツを通じた交流や地域活性のために、恵まれたスポーツ環境や温暖な気候を生かした各種スポーツイベントの開催やプロスポーツチームのキャンプ誘致による市外からの利用者を拡大することが必要です。また、宮古島の資源を最大限活用するために、施設情報など国内外へのPRが必要となります。

4章 スポーツマネジメントの基本方針

公共スポーツ施設の現状整理と課題を踏まえ、スポーツマネジメントの基本的な考え方を示します。

(1) スポーツマネジメントの目指すべき姿

本市は、年間を通して温暖な気候にあり、豊富なスポーツ施設を保有しているなど、スポーツ活動にとって恵まれた環境にあり、各種スポーツイベントの開催やプロスポーツチームのキャンプが行われています。

ホスピタリティあふれる市民をはじめ、豊かな自然、食、伝統、文化、産業などの本市のあらゆる資源を最大限有効活用することにより、スポーツ活動をするうえでの魅力を向上させ、競技者から高齢者、障がい者、子ども等のすべての人々が、安全・安心・快適にスポーツを楽しめる環境、ならびに親しみやすいスポーツ活動や新しいサービスの提供、またスポーツ施設の運営等を行えるNPO法人をはじめとする組織を育て、ボランティアなどの人材の活用と育成、そしてそれらの人材が集まれる場を整備します。

また、その魅力を発信することで、市民だけでなく、市外からのトップアスリート・競技者・観光客等のスポーツ活動を促進させ、観光誘客の拡大と地域活性化を実現するためのスポーツマネジメントの目指すべき姿を以下のように掲げます。

宮古島における既存の資源を活かし、新たな魅力をつくり、

島内外からのスポーツ活動を促進し、地域活性化を図る

～スポーツ活動・支援を実現する施設活用と人材育成～

目指すべき姿を実現するにあたっては、既存施設の有効活用または必要に応じた施設の新設を検討することにより、スポーツ活動の場をつくるとともに、スポーツ活動を支える人や体制を整えていくことが必要となることから、「施設活用」と「人材育成」の2つを重点的な視点とします。

(2)基本方針

スポーツマネジメントの目指すべき姿の実現に向けて、「施設活用に関わる方針」と「人材育成に関わる方針」を掲げます。

1. 選択と集中による施設の整備と活用 <質の向上>

利用目的とレベルやカテゴリーに応じた施設整備とサービスを充実させ、施設の質の向上を図ります。施設を整備する際には、高齢者、障がい者、子ども等のすべての人々が、安全・安心・快適にスポーツを楽しめる環境とするためにバリアフリー化を進めます。また、社会情勢の変化やニーズに対応するため、既存施設の整備や活用のみでなく、必要に応じて施設の新設や民間施設の活用について検討を行います。

2. 効率的な施設の維持管理 <コスト改善>

施設利用者の安全性の確保の観点から、施設の老朽度合を的確に判断するとともに、計画的かつ効率的な維持管理を行います。

指定管理者制度やPFI等のPPP手法の導入による民間事業者の資金やノウハウを活用することにより、維持管理に要するコストの改善を目指します。

3. 生涯スポーツ及び競技スポーツを総合的に支援する人材の活用と育成 <健康増進・競技力向上>

子どもから高齢者までスポーツに参加する機会の創出に努め、市民のスポーツを支えている人材を育成することより、市民の健康増進を目指します。また、競技力向上を目指し、優れた指導者だけでなく、精神的なサポートや栄養面などのスポーツ医・科学を活用し、競技者を総合的に支援する人材の活用と育成を図ります。

スポーツ人材の育成や地域人材の雇用の場を創出するなど、継続的に質の高い支援が行える人材を地域で育成する仕組みをつくることにより、「スポーツアイランド宮古島」の確立を目指します。

4. スポーツイベント等を活性化する体制の強化 <地域活性化>

スポーツイベント等をさらに活性化する体制を強化させ、イベント等による波及効果を高めることにより、地域の活性化を目指します。市民にとって貴重な体験となるトップアスリートとの交流の場をつくる体制を強化することにより、地域のスポーツ意識の向上を目指します。また、必要な情報を国内外に効果的に発信する体制を強化することにより、イベントの魅力を発信します。

5. 施設の維持管理やサービスを高める組織・体制づくり<サービス向上>

施設により管理運営の所管が異なり、維持管理状況やサービスに違いがあることから、それぞれの所管と連携した組織・体制づくりを目指します。

組織・体制づくりにより、施設のサービス向上を図るとともに、パソコンや携帯端末などのITを活用することにより、施設の利便性の向上を目指します。

(3)基本方針別の取り組み内容

(2)で示した基本方針別の取り組みを示します。

1. 選択と集中による施設の整備と活用<質の向上>

●利用対象及び大会等を想定した施設の整備・充実

本市では、プロ野球キャンプをはじめ、社会人・大学生等のスポーツ合宿地として利用されています。

今後、さらにプロチームやトップアスリートへの利用を促すために、施設特性(施設規模や活用実績を有する施設)を考慮し、大規模なスポーツイベントや大会等の誘致を想定した施設整備を行います。また、施設整備を計画するうえでは、施設利用者やスポーツ関連団体に要望を伺います。



プロバスケットボール会場
(有明コロシアム)

トップアスリートから子どもまで安心・安全なスポーツ環境を提供するために、芝生の改修を行います。特に芝生の傷みが激しく、整備の重要性が高い施設については、芝生の全面改修(張り替え)を行います。

キャンプ地が具備すべき8つの条件

○トレーニング環境	<ul style="list-style-type: none"> 占有して使える(利用時間に制約のない)グラウンドや施設 大会会場と同様の土・芝生等グラウンドコンディション 雨天・荒天等の天候に左右されない練習場の確保 トレーニングの場としての地形、サーフェス(利用可能な坂や階段、起伏がある道路、ウッドチップ・芝生・砂浜などの柔らかい地面等) トレーニングジム、プール、高濃度酸素カプセル、低酸素室(持久性強化)等
○気候・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 温暖で安定した気候(ウォーミングアップ時間の短縮、傷害発生の抑制、及び練習スケジュールの実行確実性の確保、等)
○マッチメイク環境	<ul style="list-style-type: none"> 練習試合の組み易さ(周辺に対戦可能な練習試合相手の存在)
○休息・宿泊サービス	<ul style="list-style-type: none"> リラックス、リフレッシュできる設備(温浴施設：タラソセラピー等) トレーニング施設への近接性(個人の居残り練習等の利便性確保) セキュリティの質確保
○栄養補給・食事サービス	<ul style="list-style-type: none"> チームやアスリートからの特別リクエストに対応できる食事の提供
○安全・医療サービス	<ul style="list-style-type: none"> 近接エリアに適切な医療機関(MRI検査等)の存在 施設内にAEDの設置と操作できる人材の配置 周辺の安全かつ快適な環境(周辺環境が安全で、心地よく散歩やランニングができる環境の存在)
○地域の受入支援体制や地元住民のボランティア参加	<ul style="list-style-type: none"> 地元の地方公共団体や観光関連業界等のキャンプ受入支援体制 適切かつ迅速な広報活動(ファンやサポーターの誘引) 地元住民のホスピタリティやボランティア参加
○キャンプコスト	<ul style="list-style-type: none"> リーズナブルなキャンプ費用(移動、施設利用及び滞在等の費用)

出典：沖縄県スポーツ推進計画

●バリアフリー化の推進

障がいの有無にかかわらず、だれもが安全・安心・快適にスポーツを楽しむために、施設の整備の際には「バリアフリー化」を進めます。高齢者、障がい者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）により、既存建築物に対しても、バリアフリー化を進めます。今後、公共施設等の改修・修繕の際には「建築物移動等円滑化基準」への適合とともに、スポーツ施設としてのバリアフリーの在り方について先導的な取り組み方を検討します。

建築物移動等円滑化基準、建築物移動等円滑化誘導基準の例

出入口			廊下等			傾斜路		
○主な基準			○主な基準			○主な基準		
	義務基準	誘導基準		義務基準	誘導基準		義務基準	誘導基準
出入口の幅	80cm以上※1	90cm以上※2	廊下の幅	120cm以上※1	180cm以上※2	手すり	片側設置※1	両側設置※1
※1 高齢者、障害者等が利用する居室等に至る1以上の経路に係る基準 ※2 直接地上に通じる出入口は120cm以上			※1 高齢者、障害者等が利用する居室等に至る1以上の経路に係る基準 ※2 廊下の状況により緩和・適用除外あり			※1 低位部分は適用除外 ※2 傾斜路の状況により緩和・適用除外あり		
エレベーター及びその乗降ロビー			便所			※その他以下の施設に係る基準がある。 ・階段 ・ホテル又は旅館の客室 ・敷地内の通路 ・駐車場 ・標識 ・案内設備 ・浴室等 等		
○主な基準			○主な基準					
	義務基準	誘導基準		義務基準	誘導基準			
出入口の幅	80cm以上※1	90cm以上※3	車いす使用者用便所の数	建物に1以上	各階に原則2%以上			
かごの幅	140cm以上※1-2	160cm以上※3	オストメイト対応水洗器具を設計し便所の数	建物に1以上	各階に1以上			
乗降ロビーの広さ	150cm角以上※1-2	180cm角以上※3						
※1 高齢者、障害者等が利用する居室等に至る1以上の経路に係る基準(適用除外あり) ※2 2000㎡以上の建築物における不特定多数の者が利用するものに限り ※3 不特定多数の者が利用するもので必要階に停止する1以上のものに限り								

	主な基準	整備例
劇場等の客席・観覧席	<ul style="list-style-type: none"> 間口 車いす1台につき90cm以上 奥行き 120cm以上 車いす使用者が利用しやすい空間の確保 同伴者（介護者、付添人等）用座席 など 	<p>外野席の車いす使用者用客席</p>
浴室・更衣室・シャワー	<ul style="list-style-type: none"> 出入口幅 85cm以上 床は滑りにくい仕上げ 車いす使用者が利用しやすい空間の確保 浴槽、シャワー、手すり等の適切な設置 戸は車いす使用者が通過しやすい構造 など 	<p>障がい者用更衣室（プール）</p>

出典：国土交通省『高齢者、障がい者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準』、『建築物のバリアフリー化に係る制度の概要』

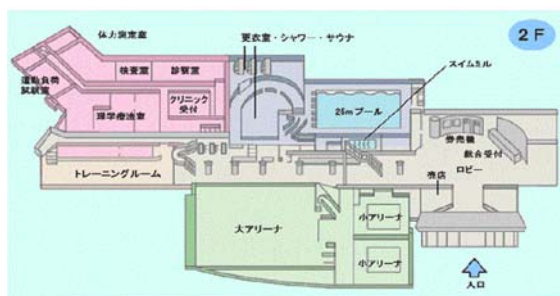
●スポーツ医・科学活用のための施設整備

スポーツ医・科学に基づいたトレーニング、コーチング方法等の開発や実践のために必要な施設の整備を行います。施設の整備に当たり、医療機関や教育機関と協力・連携し、計画的に整備を進めます。

事例：横浜市スポーツ医科学センター

横浜市スポーツ医科学センターは、横浜市が市民の健康をサポートすることを目的として、平成10年4月に港北区にある横浜国際総合競技場（現日産スタジアム）の中に開設した施設です。

横浜市スポーツ医科学センターは、診察や医学的検査、リハビリテーション、体力測定などを行い、市民の健康づくりや競技力の向上をサポートしています。センターには、内科・整形外科・リハビリテーション科の「スポーツクリニック」があり、日常的に外来診療を行っています。また、「医学的運動療法教室」や0歳児から中高齢者まで参加できる「スポーツ教室」などの各種事業も開催しています。



施設内にあるアリーナ等で体育教室を開催する
横浜市スポーツ医療科学センター



理学療法室

出典：横浜市スポーツ医科学研究所ホームページ

●定期的な団体利用の推進

公共スポーツ施設の有効活用と地域スポーツ団体の育成を図るため、登録制による定期的な団体利用をより一層推進します。市が年間スケジュールを作成し、関連団体と調整し、施設稼働率の向上を目指します。

●学校体育施設・民間施設の活用

充実したスポーツ環境をつくるために、学校体育施設及び民間施設と連携を図ります。

また、学校体育施設では、競技者や市民が利用しやすいルールづくりを検討します。民間施設では、市民や競技者、大会利用等に開放するための働きかけを行います。

事例：学校施設を活動拠点とした総合型地域スポーツクラブ

「こくら文化・スポーツクラブ」(沖縄県那覇市)

こくら文化・スポーツクラブは、平成 22 年 3 月に設立され、古蔵中学校を活動拠点とし、地域住民の健康増進と子ども達の文化・スポーツ活動を支援し、体力の向上や健康維持を図り、郷土文化の継承発展と学校・地域・企業とのネットワーク作りを目指して取り組んでいます。また、平成 23 年 4 月より、古蔵中学校体育館・武道館の委託管理を受け、更なるクラブの資質向上と事業の充実化を図っています。

会員数は 207 名で、古蔵中学校の児童生徒、地域住民が自分の「マイスポーツ・マイ文化」を見つけて楽しめる場を提供して日々取り組んでいます。また、自治会を中心に様々なスポーツイベントを開催し、スポーツを通して地域と学校・PTA・企業とのネットワーク作りの実現を目指し、明るく元気な地域づくりを目指しています。

出典：沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課『スポーツおきなわ(平成 25 年 3 月)』

2. 効率的な施設の維持管理 <コスト改善>

● 計画的な施設の改修・修繕

本市は、34 のスポーツ施設を有しており、それぞれに老朽化が進んでおり、近く更新時期を迎えます。今後は、厳しい市の財政状況を踏まえ、維持管理費の縮減と年間事業費の平準化を図るために、スポーツ施設の改修・修繕に向けた検討を行います。

また、検討の結果、「改修・修繕」の必要がある施設のうち、建築年の古い建物については、「耐力度調査」を進めます。

● 施設の維持管理コスト縮減の検討

施設の維持管理コスト縮減の検討のために、施設の維持管理コストの現状把握に努めます。また、地域の住民参加による施設の管理についても検討します。

今後の維持更新費の平準化を目指すために、管理対象施設の損傷の現状把握し、管理に役立つ情報を収集・整理し、補修・更新すべき施設に優先順位を付けます。

● 芝生の維持管理体制の整備

1年間を通して利用可能な芝生環境を整えるために、芝生の維持管理体制と設備を整えます。

芝生の維持管理に関する専門家や、事業者との連携を図り、芝生の維持管理体制を整備します。また、指定管理者制度などの民間活力の導入や施設の利用レベルに合わせた芝生の管理体制を構築することにより、市民利用からトップアスリート利用まで対応可能な維持管理体制を整備します。

芝刈り機などの芝生の維持管理に必要な設備・機材を購入し、複数の施設の維持管理に利用できるように、設備や機材はまとめて室内（器材庫等）に保管します。

●指定管理者制度の検討

スポーツ施設の良質な維持管理と柔軟で総合的なスポーツ支援を利用者に提供するために、運営体制に民間活力の導入を検討します。各施設の特性に応じた指定管理者制度の計画的な導入を検討します。



那覇市奥武山公園
沖縄セルラースタジアム

指定管理者制度とは

指定管理者制度とは、公共団体が施設等を建設し、第三セクターを含む民間事業者がその施設の管理運営を行う公共・民間の共同事業方式の一つです。指定管理者制度の対象とできる施設等は「公の施設（住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供する施設）」に限られています。

特徴

民間のノウハウを幅広く活かすことができ、質の良い公共サービスが提供されます。これまで行政が行ってきた業務へ民間が幅広く参加することになるため、民間にとっては新たな事業機会が創出され、経済活性化に貢献できます。

施設の所有に伴う償却費、税、金利等の資本費負担を回避できるため、行政の財政負担が軽減されます。

行政は管理者の選出及び管理運営状況の監視、指導に注意を払う必要があります。

事業手法導入に適した状況

事業主体が施設の所有に係る維持管理等、財政的に厳しい場合の公共支援の方式として、また、公共サービスの充実とそれによる事業収入の効率的・安定的な確保を目指す場合に適しています。導入施設としては次のような例があげられます。

- コンベンションホール、アリーナ
- 野球場、サッカー場、陸上競技場、体育館等のスポーツ施設
- 公園
- 廃棄物処理施設
- 高校や大学等の教育施設
- 病院、保育園等の医療・福祉施設
- 図書館

●ネーミングライツの導入

ネーミングライツとは、公共施設等の名称に、スポンサー企業の社名や商品ブランド名を付与する権利のことであり、「命名権」あるいは「施設命名権」とも呼ばれ、施設の建設・運営資金調達のための手法として定着しています。

特にスポーツイベントで利用する施設やスポーツ合宿等で利用する施設等を優先的に検討します。

「官」にとってのメリット

- 施設の維持・運営費を賄うための新たな財源確保
- スポンサー企業との協働による地域活性化への寄与
- スポンサー企業による社会貢献事業実施の可能性
- スポンサー企業の社員の利用による施設稼働率アップの可能性

「民」にとってのメリット

- 施設来場者への告知、PR
- 企業・商品の認知度向上、ブランドイメージの向上
- 地域住民の好感度向上
- スポーツや文化振興等の自治体施策に協力しているというイメージの形成
- 地域に貢献するという企業姿勢の明示（CSR活動、メセナ活動）

※CSR活動…企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動

※メセナ活動…企業が行う文化活動あるいは文化支援活動

事例：ネーミングライツの導入（那覇市、沖縄市）

- ・県内では那覇市と沖縄市の体育施設においてネーミングライツが導入されています。
- ・那覇市では、那覇市営奥武山野球場、及び屋内運動場について、沖縄セルラー電話株式会社をネーミングライツスポンサーに決定し、愛称を「沖縄セルラースタジアム那覇」及び「沖縄セルラーパーク那覇」としています。
- ・沖縄市では、沖縄市野球場について、コザ信用金庫をネーミングライツスポンサーに決定し、新野球場の愛称を「コザしんきんスタジアム」としています。

所在地	対象施設	施設愛称	ネーミングライツ スポンサー	契約条件
那覇市	那覇市営 奥武山野球場	沖縄セルラースタジアム 那覇	沖縄セルラー電話 株式会社	5年契約 年間2,000万円
	那覇市営 屋内運動場	沖縄セルラーパーク那覇		
沖縄市	沖縄市野球場	コザしんきんスタジアム	コザ信用金庫	5年契約 年間650万円

出典：那覇市ホームページ、沖縄市ホームページ

●受益者負担の適正化

受益者負担とは、特定の利用者に限ってサービスの提供を受ける場合には、利用者と利用しない人との負担の公平の観点から、その利用者に費用負担を求めるという考え方です。

本市のスポーツ施設では、施設により利用料金が異なっており、受益者負担の視点を含めて、利用料金の再検討を行います。

受益者負担の適正化へ向けた取組事項の例

①コスト対象範囲と算定方法の明確化

- ・公共施設等の管理運営にかかるコストを改めて精査し、受益者負担の対象とすべき施設コストの範囲を明確にするとともに、その算定方法を明確にします。

②市費と受益者のコスト負担割合の明確化

- ・サービスが及び範囲や程度、行政関与の度合い（行政にしかできないものなのか、民間にも類似のサービスが存在するのか等）を考慮し、負担割合を設定します。

③減免取扱いの適正化

- ・減免取扱いについては、政策的・特例的な措置という観点から真にやむを得ないものに限定することとし、適正化を図ります。

④無料施設の有料化

- ・利用する人と利用しない人との負担の公平を図るという考え方に沿って、現行無料の施設であっても、有料化の是非を検討し、必要な施設にあっては有料化を行います。

⑤施設使用料・手数料改定等

- ・コスト算定方法に従い算出した受益者負担コストを基に、現行の使用料や手数料が適切かを検証し、類似施設や民間サービス及び他市等との比較を行い、受益者が本来負担すべき料金を算定します。

3. 生涯スポーツ及び競技スポーツを総合的に支援する人材の活用と育成<健康増進・競技力向上>

●地域スポーツ人材ネットワークの形成

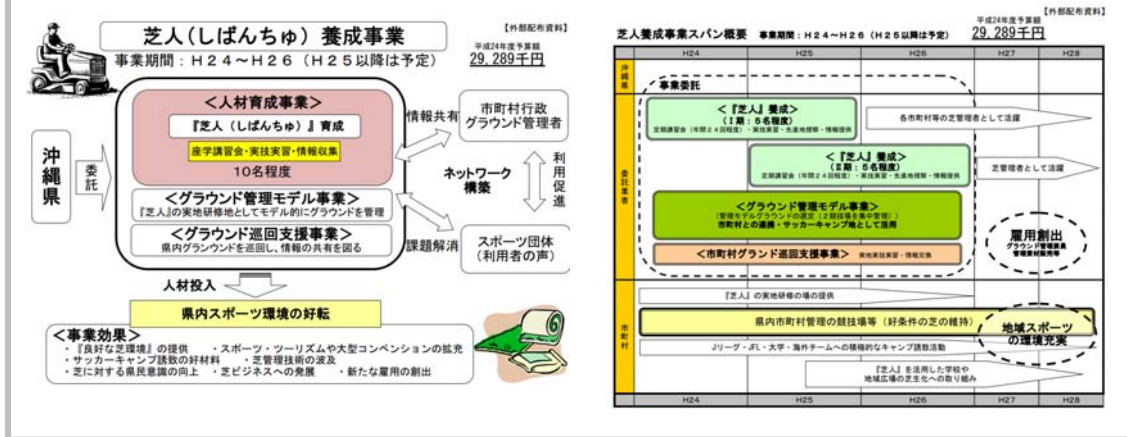
地域で活動するスポーツ支援人材及び地域で育成したスポーツ人材を有効活用するために、スポーツ人材の交流や派遣の仕組みを形成します。また、支援を必要とする人と支援できる人材をつなぐために、人材バンク及びネットワークの形成を図ります。

●芝生の維持管理に関する人材の活用と育成

1年間を通して利用可能な芝生環境を整えるために、芝生の維持管理に関する専門的な人材の活用と育成を行います。また、県との連携を図りながら、県と市の双方の事業の展開、人材育成を図ります。

事例：芝管理のプロ養成「芝人（しばんちゅ）養成事業」（沖縄県文化観光スポーツ部）

- ・沖縄県が行っている芝管理のプロを育成する事業。
- ・芝管理の専門技術を備えた人材育成や、県内各地のグラウンドを実施研修の場として提供してもらい、管理作業の対応などについても情報交換を行っていくなど、市町村と連携を行います。



●高度な技術指導を有する人材の活用と育成

市公認スポーツ指導者養成のための講習会などを通じて指導者の養成・確保に努めます。また、大学等との連携等により、高度かつ専門的な知識や技術を有している人材として元アスリートや外国人を活用していきます。

●スポーツ医・科学の専門的人材の活用と育成

競技力の向上を目指すために、選手のトレーニングやコーチングにスポーツ医・科学の知識を取り込んだ、より専門的な指導者の養成・確保に努めます。また、健康増進の促進のために、市民にスポーツ医・科学に触れる機会を提供し、普及を図ることで、専門的な人材の育成に努めます。

スポーツ医・科学の観点からのサポートを行える体制を整備するために、大学、体協等関連機関や医療機関と協力・連携により人材育成等を進めていきます。

●スポーツを促すための仕組み・体制づくり

健康増進や指導力向上につなげるために、スポーツを促すための仕組みや体制を検討します。健康増進では、健康ポイントなどで、楽しくかつ継続的に健康づくりに取り組むことができる仕組み等を検討します。

事例：ふじえだ健康マイレージ（静岡県と藤枝市の協働事業）

「健康マイレージ」とは、市民の健康づくりを応援する新しい仕組みであり、18歳以上で藤枝市に在住・在勤・在学している人を対象に、いつでも参加可能。参加方法は、Web版と紙版が選択する。

日々の運動や食事などの目標を達成できた場合や、健康診断の受診、禁煙、健康講座やスポーツ教室、ウォーキングイベント、地域行事などに参加した場合にポイント（マイル）を付与。4週間以上チャレンジして一定ポイントを達成した人に、協力店でサービスが受けられる「ふじのくに健康いきいきカード」（1年間有効）を配布する。

Web版の流れ

携帯電話、スマートフォン、パソコンで健康マイレージの記録から申請までのすべてが簡単にできます。市役所や保健センターに行くなどの手間は一切かかりません。

また、健康カレンダーで健診や休日当番医の閲覧・検索、歩いて健康“バーチャル東海道の旅”の体験、グラフで体重管理ができるなどお得な機能がたくさんあります。

①スタート

携帯電話、スマートフォン、パソコンで初期登録を行う

②貯める

4週間以上、毎日の健康行動のポイント指標は「運動」「食事」「教養」「歯」「体重測定」の5項目

③申請

4週間以上実践して100ポイント以上貯まったら申請。

申請後、数日以内に「ふじのくに健康いきいきカード」（1年間有効）が交付・送付されます。

④使う、継続

協力店で「ふじのくに健康いきいきカード」を提示すると協力店の特典が受けられる。

本システムは、カード申請後も日々の健康管理を継続することができる。

出典：藤枝市ホームページ、ふじえだ健康マイレージ web システム利用ガイド

4. スポーツイベント等を活性化する体制の強化〈地域活性化〉

●スポーツコンベンションの専門人材の育成

スポーツの振興を推進する際には、多くのボランティアが必要となるため、これらの発掘・育成・確保に努めます。また、企画・運営・宣伝等が担当できる人材やスポーツ振興によるまちづくりに関する専門知識を有したコーディネーターを育成します。イベント等の運営などを担う人材を育成するための各種講習会を定期的を開催します。

●アスリートと地域をつなぐ体制づくり

トップアスリートやスポーツチーム等に施設や競技団体等の紹介やマッチングを行う体制を整備します。また、トップアスリートと地域の交流の場づくりを行います。



トップアスリートによる競技指導
(宮古島市)

●国際的視点を持ったグローバルな人材の育成

多くの海外のプロチームやトップアスリートが、スポーツイベントに参加するため、本市を訪れており、これらの外国人アスリートに快適に過ごしてもらうために、コミュニケーション能力が高く国際的な視点を持った人材を育成します。

●ボランティアが活動しやすい環境づくり

市民のスポーツを支援する意識が高く、今後さらに多くの市民にスポーツイベントに関わってもらうために、ボランティアが活動しやすい環境を整備します。

●スポーツイベント等の情報提供

情報を提供したい対象やスポーツイベントの規模に合わせ、効率的かつ効果的な情報発信を行います。また、情報発信は、市内外の参加者のみでなく、ボランティア等に向けた情報発信も行います。

5. 施設の維持管理やサービスを高める組織・体制づくり<サービス向上>

●スポーツ合宿時の受け入れ体制構築

本市のスポーツ施設を利用したサークルやクラブ活動等の合宿で訪れる学生等をターゲットに、合宿プランの提供や、住民による学生等のもてなしについて体制を構築し、リピーターの増加を促進します。

事例：スポーツ合宿に関する支援（一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー）

- ・沖縄観光コンベンションビューローでは、スポーツ合宿に関する支援を行っています。

事業名	内容
MICE 旅行支援事業	企業報奨旅行又はスポーツ合宿の旅行手配を行う旅行会社等を対象に、宿泊に対する助成金を交付
MICE シャトルバス運行支援事業	MICE 又はスポーツ合宿において使用する貸切バス等の借上げに対して一部助成金を交付。

●施設に関する情報提供

本市のスポーツに関する情報の一元化を図り、集約した情報を市内外の方に提供していきます。

スポーツ関連情報を集約したポータルサイトを開設し、スポーツ施設の情報のほか、スポーツ関係団体の情報や活動予定、体育施設の利用状況、スポーツ指導者の情報など、スポーツに関する情報源となるよう内容を充実します。

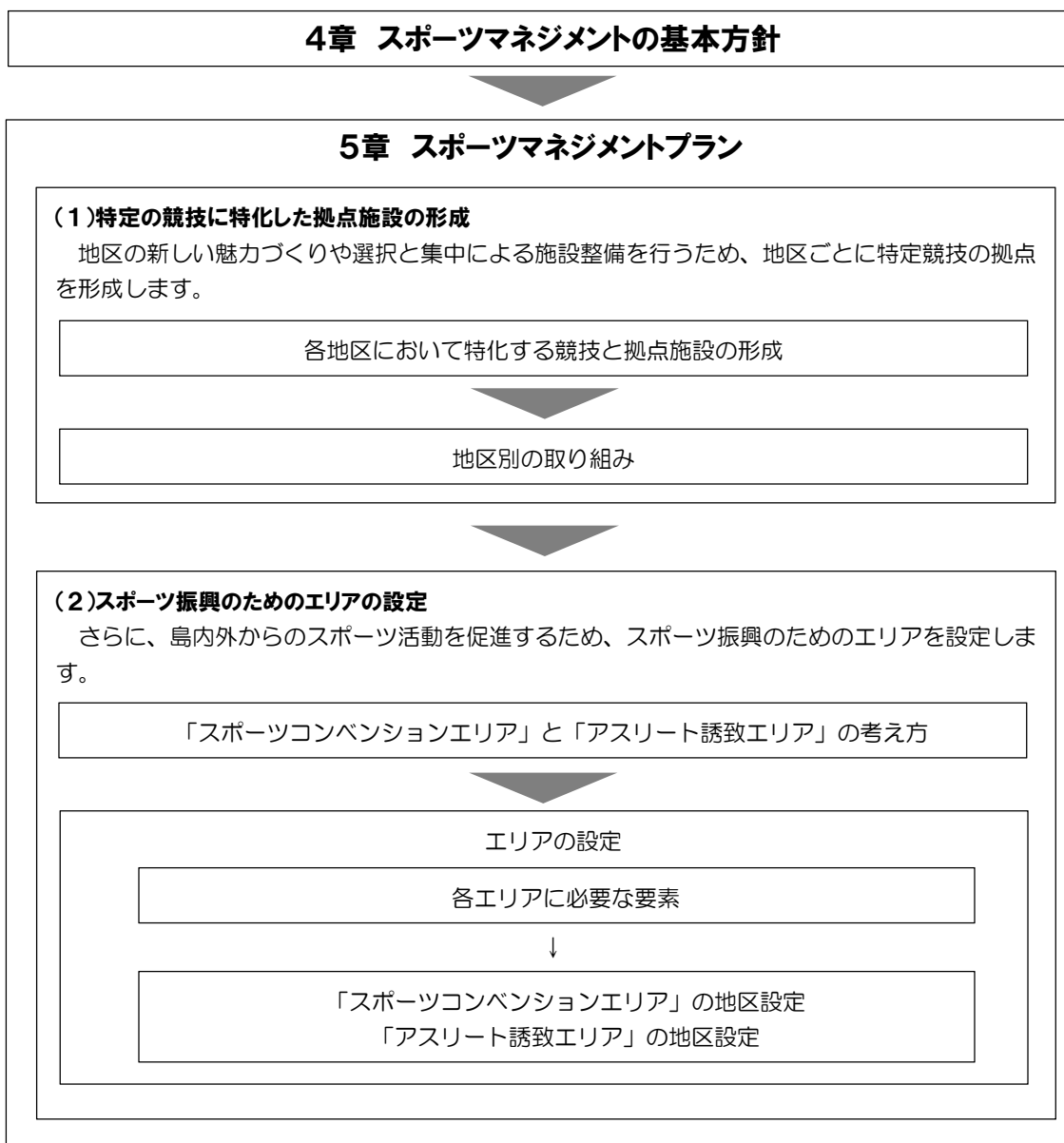
また、市外の利用者にも本市のスポーツ施設の利用を促すような、スポーツ施設の情報発信を図ります。



事例：八王子市施設予約システム

5章 スポーツマネジメントプラン

4章の基本方針別の取り組み内容を踏まえ、本章では、地域の特性を活かした取り組みを設定します。以下に設定の流れを示します。



(1)特定の競技に特化した拠点施設の形成

旧市町村ごとにスポーツ施設が整備されていますが、地域や施設ごとに利用状況に大きな差があります。また、現在、多くの施設が老朽化しており、全ての施設の更新を行えば、多額の費用負担が想定されます。

そこで、スポーツ環境としての質の向上や地域の新しい魅力づくり、効率的な施設環境の整備を行うことによるコスト改善を図るために、これまでの実績を主体に特定の競技種目を旧市町村単位に振り分け、特定の競技種目に特化した拠点施設の拠点を形成します。

ただし、拠点施設は、実績に基づいたスポーツ施設としての専門性と利便性を高める上での効率的な集中と分散方式による位置づけであり、特定の競技種目以外に利用しないということではありません。

1) 特定の競技種目に特化した拠点施設の形成

特定の競技種目に特化した拠点施設は、以下の①特定の競技種目の考え方及び②拠点施設の設定方法により設定します。

① 特定の競技種目の考え方

特定の競技種目は、以下 A)～C)の条件から設定します。特定の競技種目は以下の表に示します。

- A) 本市を代表するスポーツイベントであり、市内外での認知度も高い「トライアスロン」、「野球（プロ野球キャンプ）」を特定の競技種目とします。
- B) 全国大会出場実績のある「バレーボール」、「ウエイトリフティング」、「サッカー」、「陸上競技」を特定の競技種目とします。
- C) 市内にスポーツ関連団体があり、競技人口が200人以上いる競技を、特定の競技種目とします。

特定の競技種目名
トライアスロン（スイム・バイク・ラン）、野球、バレーボール（ビーチバレーボール含む）、ウエイトリフティング、サッカー（フットサル、ビーチサッカー含む）、陸上競技、テニス（ソフトテニス含む）、バスケットボール（ミニバスケット含む）、バドミントン

② 拠点施設の設定方法

上記①で設定した特定の競技種目に特化した拠点施設は、以下(ア)～(エ)の条件から設定します。ただし、設定の留意事項として、他地区とのバランスを考慮して、一つの地区に拠点施設を集積させず、各地区に1つ以上の拠点施設を設定します。

- (ア) プロチームによるキャンプ等の経済効果の高いスポーツイベントの開催実績がある施設は、一定の施設規模と機能を有していると想定されるため、拠点施設とします。地区内で複数のスポーツイベントが開催されている場合は、最も経済効果の高いイベントの開催実績がある施設を拠点施設にします。
- (イ) 全国大会等の大規模な大会実績がある施設は、一定の施設規模と機能を有していると想定されるため、拠点施設とします。
- (ウ) 特定の競技種目が実施可能な施設については、施設状況等から総合的に判断して拠点施設を設定します。
- (エ) 特定の競技種目が実施可能な公共スポーツ施設は立地していないが、その特定の競技種目と地区の関係が深い場合、学校体育施設や民間施設の利用を想定して、地区の特定の競技種目とします。

③ 各地区での特定の競技に特化する施設の選定内容

上記②の(ア)～(エ)のの設定方法により、地区ごとに拠点施設を選定します。

<平良地区>

- 本市で最も経済効果が高いイベント「プロ野球キャンプ」で利用している「市民球場」を拠点施設とします。
- 国民体育大会の会場として利用された実績がある「宮古島市総合体育館」は、大会実績があり、かつ競技人口の多いバスケットボールの拠点施設とします。また、平成23年(2011)に改修され、設備も充実している認定陸上競技場の「宮古島市陸上競技場」は、陸上競技の拠点施設とします。さらに、宮古島市陸上競技場は、サッカー等の他競技種目でのフィールド利用も想定した施設とします。
- 宮古高校ではウエイトリフティングの全国大会出場の実績があるため、ウエイトリフティングを地区の特定の競技種目とします。

<城辺地区>

- 多目的広場・運動場の中で、サッカーの大会利用の実績がある「城辺運動公園多目的広場」をサッカーの拠点施設とします。

<下地地区>

- 利用者数も多く、テニスコート(4面)と、室内テニスコート(1面)を有しているという特徴がある「下地運動公園テニスコート」をテニスの拠点施設とします。また、比較的新しい施設である、特定競技であるバドミントン(4面)が競技可能な「下地勤労者体育センター(体育館)」を、バドミントンの拠点施設とします。
- 「トライアスロン(スイム、バイク、ラン)」は市外の方々にも広く認知されている本市を代表するスポーツイベントの一つであり、スイムは与那覇前浜ビーチで行われているため、トライアスロンを地区の特定競技種目とします。

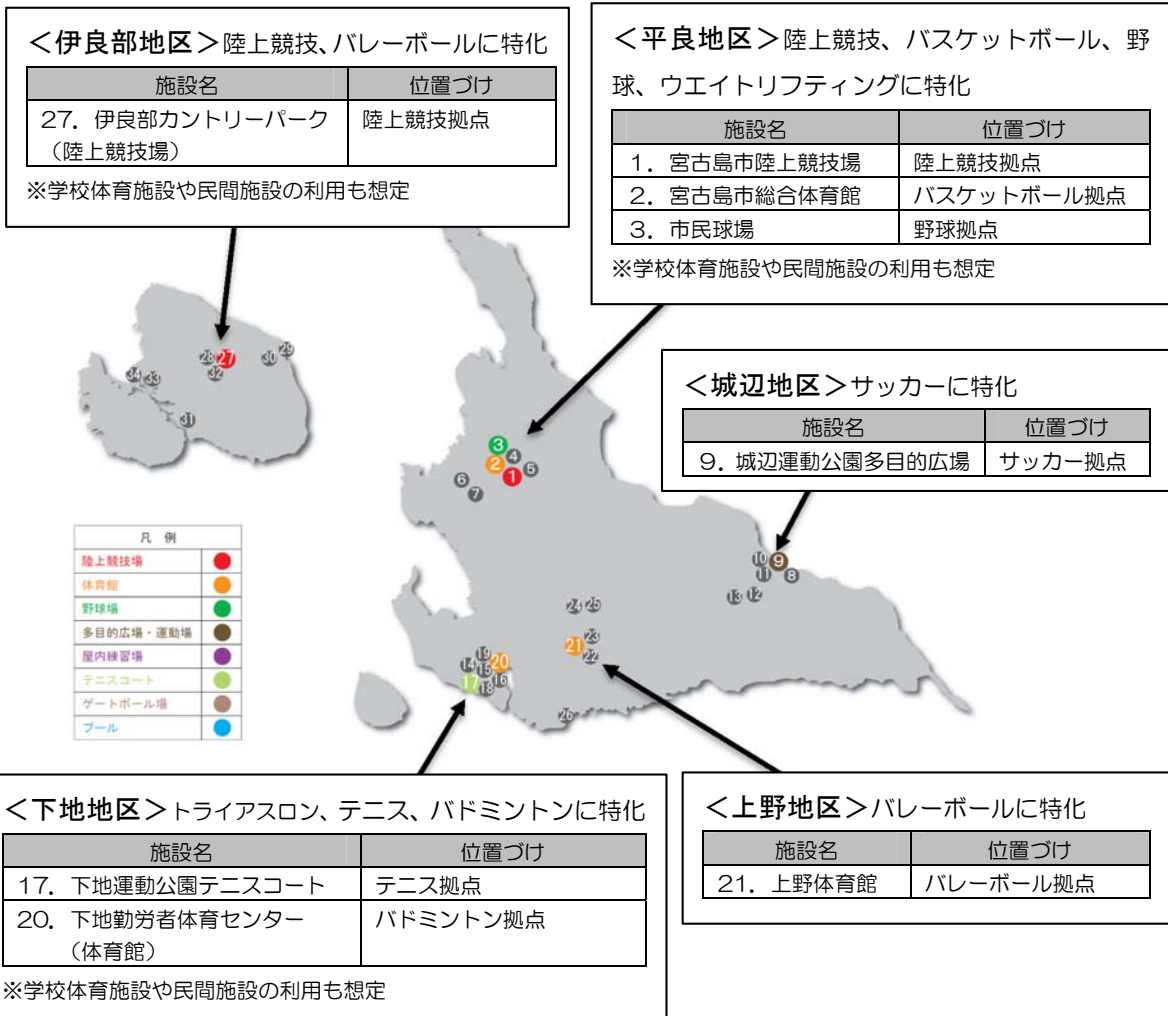
<上野地区>

- 国民体育大会のバレーボール競技会場として利用された実績がある「上野体育館」は、バレーボールの拠点施設とします。

<伊良部地区>

- 市内の陸上競技場の中で最も競技面積が大きく、陸上競技の中で建築年が新しい「伊良部カントリーパーク（陸上競技場）」は、陸上競技の拠点施設とします。
- 伊良部地区の中学校、高校は、バレーボールで全国大会に多く出場しているため、バレーボールを地区の特定競技種目とします。

2) 特定の競技に特化した拠点施設の位置図



3) 地区別の取り組み内容

地区別の取り組み内容については、「基本方針別の取り組み」のうち、各地区内において「該当する施設」の有無を判断し、当該地区に必要な取り組みを整理します。

①地区内における該当施設の判断基準の設定

「該当する施設」の有無を判断する基準は、「基本方針別の取り組み」ごとに取り組み内容を勘案し、以下のとおり設定します。

<判断基準>

取り組み	判断基準
1. 選択と集中による施設の整備と活用<質の向上>	
●利用対象及び大会等を想定した施設の整備・充実	大規模イベント・大会の有無
●バリアフリー化の推進	(市全体での取り組み)
●スポーツ医・科学の活用のための施設整備	施設における医務室の有無
●定期的な団体利用の推進	定期的な年間利用の有無
●学校体育施設・民間施設の活用の活用	(市全体での取り組み)
2. 効率的な施設の維持管理 <コスト改善>	
●計画的な施設の改善・修繕	築30年以上の施設の有無
●施設の維持管理コスト縮減の検討	競技利用がない施設の有無
●芝生の維持管理体制の整備	芝生の有無
●指定管理者制度の検討	定期的な団体利用の有無
●ネーミングライツの導入	大規模スポーツイベントの有無
●受益者負担の適正化	使用料の有無
3. 生涯スポーツ及び競技スポーツを総合的に支援する人材の活用と育成<健康増進・競技力向上>	
●地域スポーツ人材ネットワークの形成	(市全体での取り組み)
●芝生の維持管理に関する人材の活用と育成	芝生の有無
●高度な技術指導を有する人材の活用と育成	大規模イベント・大会の有無
●スポーツ医・科学の専門人材の活用と育成	施設における医務室の有無
●スポーツを促すための仕組み・体制づくり	(市全体での取り組み)
4. スポーツイベント等を活性化する体制の強化<地域活性化>	
●スポーツコンベンションの専門人材の育成	大規模イベント・大会の有無
●アスリートと地域をつなぐ体制づくり	大規模イベント・大会の有無
●国際的視点を持ったグローバルな人材の育成	(市全体での取り組み)
●ボランティアが活動しやすい環境づくり	(市全体での取り組み)
●スポーツイベント等の情報提供	(市全体での取り組み)
5. 施設の維持管理やサービスを高める組織・体制づくり<サービス向上>	
●スポーツ合宿時の受け入れ体制構築	市街地、リゾート地
●施設に関する情報提供	(市全体での取り組み)

②取り組み内容と地区との関係

設定した判断基準に基づき、「基本方針別の取り組み」に「該当する施設」のある地区との関係を整理します。

	平良地区	城辺地区	下地地区	上野地区	伊良部地区
1. 選択と集中による施設の整備と活用<質の向上>					
利用対象及び大会等を想定した施設の整備・充実	●		●	●	
バリアフリー化の推進	●	●	●	●	●
スポーツ医・科学の活用のための施設整備	●				
定期的な団体利用の推進	●	●	●	●	
学校体育施設・民間施設の活用の活用	●	●	●	●	●
2. 効率的な施設の維持管理 <コスト改善>					
計画的な施設の改善・修繕	●	●		●	
施設の維持管理コスト縮減の検討		●			●
芝生の維持管理体制の整備	●	●	●	●	●
指定管理者制度の検討	●		●		
ネーミングライツの導入	●		●		
受益者負担の適正化	●	●	●	●	●
3. 生涯スポーツ及び競技スポーツを総合的に支援する人材の活用と育成<健康増進・競技力向上>					
地域スポーツ人材ネットワークの形成	●	●	●	●	●
芝生の維持管理に関する人材の活用と育成	●	●	●	●	●
高度な技術指導を有する人材の活用と育成	●		●		
スポーツ医・科学の専門人材の活用と育成	●				
スポーツを促すための仕組み・体制づくり	●	●	●	●	●
4. スポーツイベント等を活性化する体制の強化<地域活性化>					
スポーツコンベンションの専門人材の育成	●		●	●	
アスリートと地域をつなぐ体制づくり	●		●	●	
国際的視点を持ったグローバルな人材の育成	●	●	●	●	●
ボランティアが活動しやすい環境づくり	●	●	●	●	●
スポーツイベント等の情報提供	●	●	●	●	●
5. 施設の維持管理やサービスを高める組織・体制づくり<サービス向上>					
スポーツ合宿時の受け入れ体制構築	●		●		
施設に関する情報提供	●	●	●	●	●

※●は判断基準により地区が限定された場合、●は全ての地区に係る場合

③地区別の取り組み

以上より、地区別において特に取り組む内容を示します。

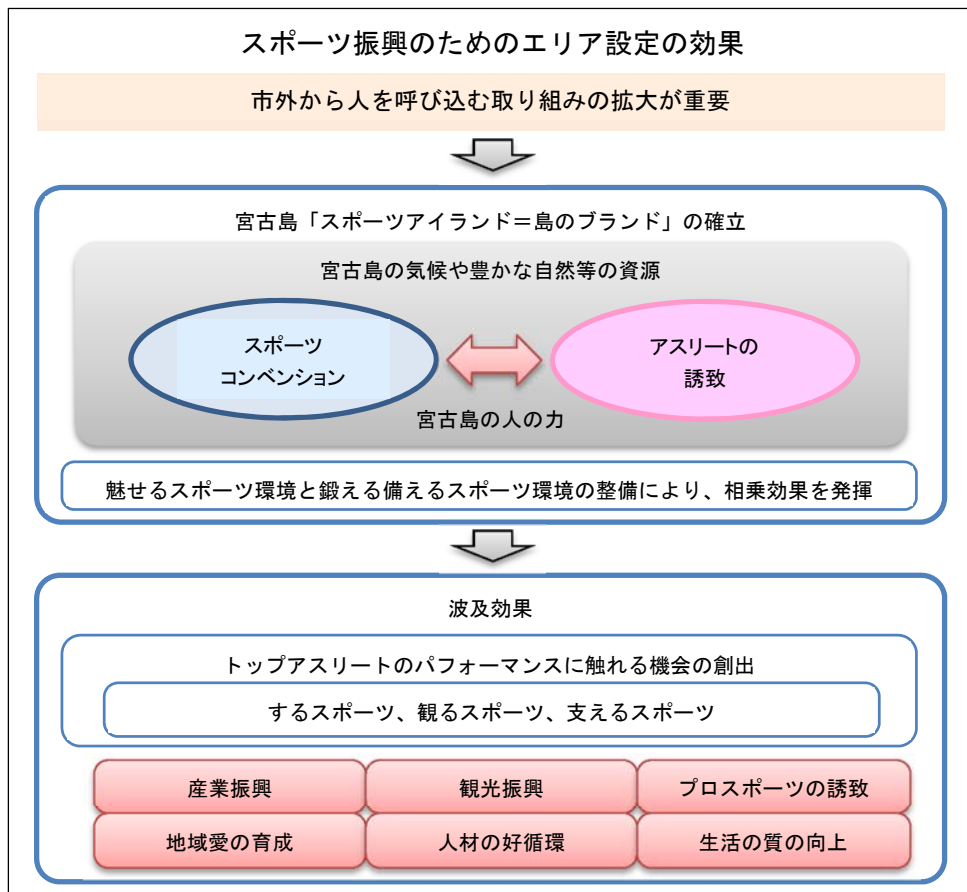
<p style="text-align: center;">平良地区</p>	<p>(陸上競技、バスケットボール、野球、ウエイトリフティングに特化)</p> <p>平良地区は、大規模なスポーツ施設が充実しており、大規模スポーツイベントや大会が最も開催されていることから、大規模スポーツイベントや大会等を想定した施設の整備を図るとともに、スポーツ医・科学の活用のための施設整備を図ります。</p> <p>施設の管理運営にあたっては、指定管理者制度の活用など民間活力の導入を検討します。施設の有効活用として、大規模なスポーツイベントとして利用される施設については、ネーミングライツの導入を検討します。</p> <p>人材に関する取り組みとして、高度な技術指導を有する人材やスポーツ医・科学の専門人材、スポーツコンベンションの専門人材を育成します。また、トップアスリートと地域をつなぐ体制や場づくりを行います。</p>
<p style="text-align: center;">城辺地区</p>	<p>(サッカーに特化)</p> <p>城辺地区は、サッカーに特化した施設整備を図り、適切な維持管理と地域の住民参加により施設の維持管理について検討します。</p>
<p style="text-align: center;">下地地区</p>	<p>(トライアスロン、テニス、バドミントンに特化)</p> <p>下地地区は、リゾート地に隣接し、多様なスポーツ施設が集積しており、プロ野球キャンプ等で利用されていることから、スポーツイベント等を想定した施設の整備を図ります。また、プロスポーツチームのキャンプ地として利用される施設については、ネーミングライツの導入を検討します。</p> <p>施設の管理運営にあたっては、指定管理者制度の活用など民間活力の導入を検討します。人材に関する取り組みとして、高度な技術指導を有する人材やスポーツ医・科学の専門人材、スポーツコンベンションの専門人材を育成します。</p>
<p style="text-align: center;">上野地区</p>	<p>(バレーボールに特化)</p> <p>上野地区は、国体のバレーボールに利用された施設があることから、大会等を想定した施設整備を図ります。また、利用人材に関する取り組みとして、高度な技術指導を有する人材等を育成します。</p>
<p style="text-align: center;">伊良部地区</p>	<p>(バレーボール、陸上競技に特化)</p> <p>伊良部地区は、バレーボールや陸上競技に特化した施設整備を図り、適切な維持管理と地域の住民参加により施設の維持管理について検討します。</p>

(2)スポーツ振興のためのエリア

スポーツマネジメントの目指すべき姿として、「宮古島の資源を活かし、新たな魅力をつくり、市内外からのスポーツ活動を促進し、地域活性化を図る」と掲げています。市内外からのスポーツ活動の促進のためには、市民自体のスポーツ振興に加えて、年間を通じて温暖な気候やスポーツイベントへの市民の積極的なボランティアの関わり等も宮古島の資源として捉え、市外の人を呼び込む取り組みの拡大が重要となります。

既の実績がある市外の人を呼び込むための取り組みとして、「大規模なスポーツイベントや大会の開催」や「スポーツキャンプ・合宿」があり、これらの取り組みをさらに拡大し、「スポーツアイランド=島のブランド」の確立を図るために、「スポーツ振興のためのエリア」を形成します。

「スポーツ振興のためのエリア」として、市内外からのスポーツ活動の促進に大きな役割を担う、大規模スポーツイベントや大会、プロスポーツチームのキャンプ、トップアスリート等のトレーニング地として、「スポーツコンベンションエリア」と「アスリート誘致エリア」を位置づけ、エリア同士の相乗効果でスポーツ振興を図るとともに、市内外からの多くの競技者や愛好者、また住民、観光客がスポーツを通して集まり、交流することで、経済活性化及び観光振興、生活の質の向上、地域愛の育成が期待されます。また、真夏のオリンピックとして開催が決まった東京オリンピック・パラリンピック対応としての活用が期待されます。



1) エリアの設定

スポーツコンベンションエリアやアスリート誘致エリアにそれぞれ必要な要素と地区の実態を踏まえ、スポーツ振興のためのエリアの位置を選定します。

①スポーツコンベンションエリア

スポーツコンベンションエリアは、大規模スポーツイベントや大会が開催できる環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指します。

そのため、スポーツコンベンションエリアに必要な要素として以下のことがあります。

- 宮古空港からのアクセス
- 大規模なスポーツ施設が集積している
- 様々な都市機能との連携

上記の要素から、大規模スポーツイベントの開催や、プロスポーツチームのキャンプ利用の実績を踏まえるとともに、市内で規模の大きな野球場や体育館、陸上競技場などのスポーツ施設が集積している「平良地区」を設定します。

②アスリート誘致エリア

アスリート誘致エリアは、トップアスリート等のトレーニングを総合的に支援する環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指します。

そのため、アスリート誘致エリアに必要な要素として以下のことがあります。

- 宮古空港からのアクセス
- 多様なスポーツ施設が集積している
- 市街地からあまり離れていない
- リゾート宿泊施設との連携

上記の要素から、リゾート宿泊施設の立地状況やトレーニングに必要な屋内施設を含み、スポーツ施設が最も高密度で集積している「下地地区」を設定します。

<エリアの位置図>

スポーツコンベンションエリア(平良地区)

大規模スポーツイベントや大会が開催できる環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指すエリア。

<スポーツコンベンションエリアが目指す姿>



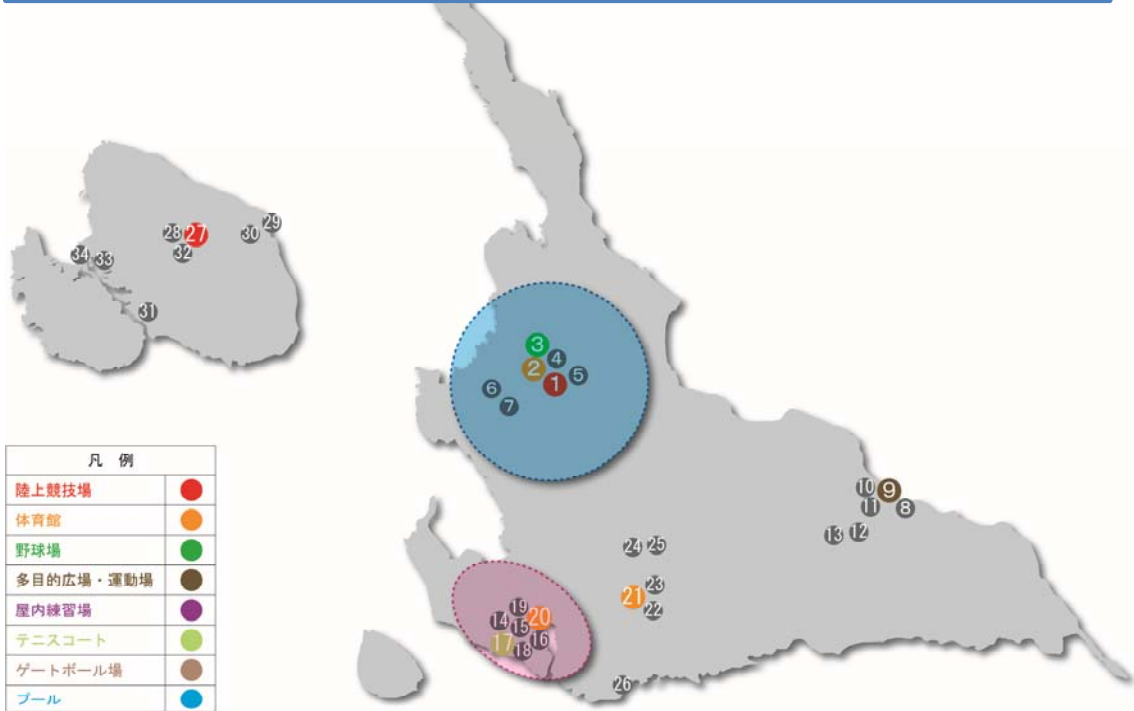
プロ野球オープン戦
(セルラースタジアム)



住民によるイベントサポート
(宮古島トライアスロン大会)



大会前の医療サポート講習
(宮古島市トライアスロン大会)



アスリート誘致エリア(下地地区)

トップアスリートのトレーニングを総合的に支援する環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指すエリア。

<アスリート誘致エリアが目指す姿>



トップアスリートが利用する
トレーニング施設
(写真: Fischer Sports)



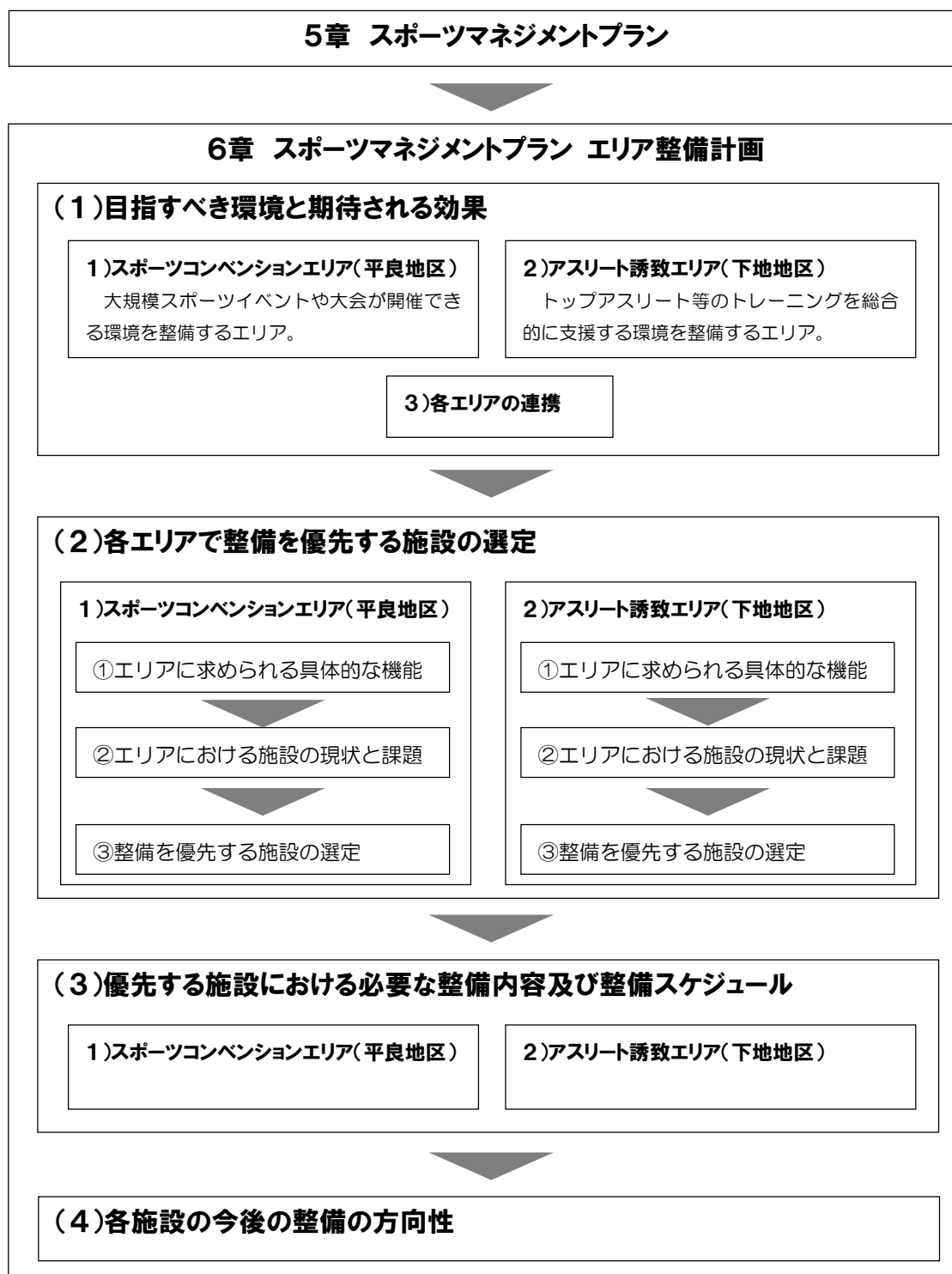
なでしこジャパンの自主トレ
(宮古島市)



マンツーマンによるトレーニング
(写真: コバメディカルジャパン)

6章 スポーツマネジメントプラン エリア整備計画

5章で設定した地区の特性とスポーツ振興のためのエリアを踏まえ、本章では、具体的な整備計画を示します。以下に整備計画の検討の流れを示します。



(1) 目指すべき環境と期待される効果

1) スポーツコンベンションエリア（平良地区）

大規模スポーツイベントや大会が開催できる環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指すことで、市内外から多くのトップアスリート、地域競技者、住民、観光客がスポーツを通して集まり、交流し、経済活性化及び観光振興、生活の質の向上、地域愛の育成が期待されます。

2) アスリート誘致エリア（下地地区）

トップアスリート等のトレーニングを総合的に支援する環境やプロスポーツチームのキャンプ地にふさわしい環境を目指すことで、トップアスリート、地域競技者、指導者、トレーナーなどのスポーツ人材が集まり、経済活性化及び観光振興、生活の質の向上、地域愛の育成が期待されます。

3) 各エリアの連携

アスリート誘致エリアで大会前にトレーニングし、スポーツコンベンションエリアで開催される大会に臨むなど各エリアが連携することで、更なる相乗効果も期待されます。

(2) 各エリアで整備を優先する施設の選定

各エリアで目指すべき環境の実現に向けて、優先的に整備を実施する必要がある施設を選定します。整備を優先する施設は、各エリアに求められる機能、施設の現状と課題から選定します。

1) スポーツコンベンションエリア（平良地区）

① エリアに求められる具体的な機能

大規模なスポーツイベントや大会の開催、プロスポーツチームのキャンプが可能となるためには、以下の機能が求められます。

<スポーツコンベンションエリアに求められる機能>

- スポーツイベントや大会に最適なグラウンド等の競技環境
- 観客に対して安全面に配慮した環境
- 雨天時でもスポーツイベントや大会の開催が可能な環境
- 夜間でもスポーツイベントや大会が可能な環境
- 主にスポーツイベントや大会の誘客のための環境
- スポーツイベントや大会が実施可能な快適な空調環境
- スポーツイベントや大会を実施する上で充実した設備環境

② エリアにおける施設の現状と課題

エリア内の施設は、全体的に老朽化しており、トップアスリートやプロスポーツが利用する状態に達していない状態です。グラウンドの状態をみると、特に芝生部分がでこぼこであり、雑草が生え、芝が枯れている状態となっています。また、防球ネットが不十分であることや雨漏り箇所、夜間照明の故障などが見られます。

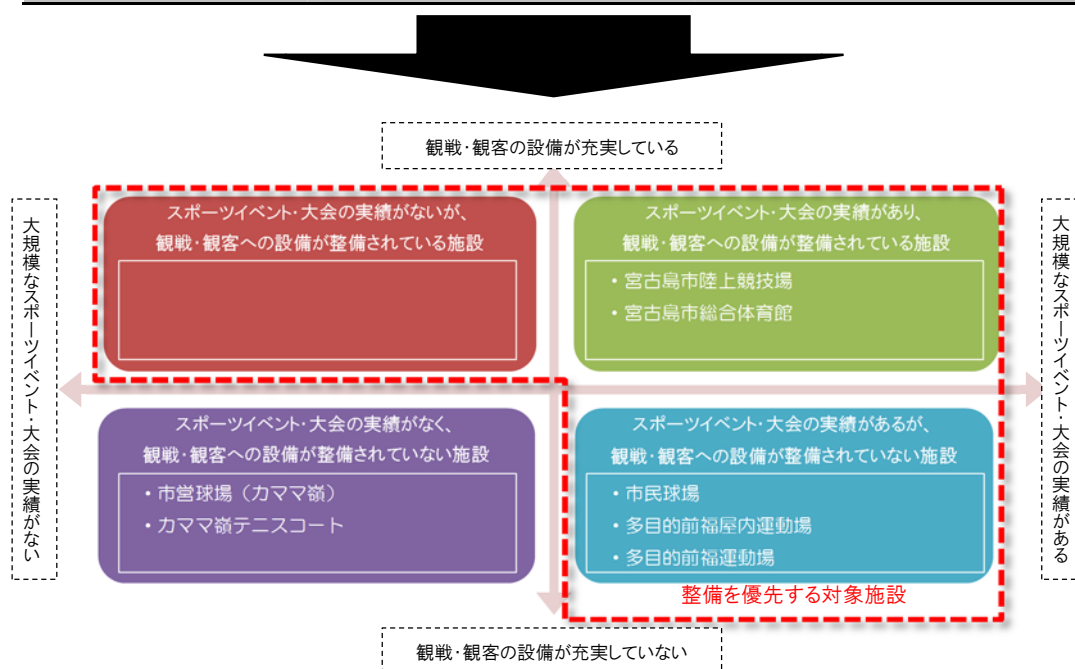
以上から、トップアスリート等が安心してプレーできるためのグラウンド等の競技環境の整備や、観客への安全面の確保、雨天時や夜間での快適なスポーツ環境、誘客のための環境、空調及び音響等の設備の整備が必要となります。

③ 整備を優先する施設

スポーツコンベンションエリアで求められる機能を踏まえると、スポーツイベントや大会を開催するための環境とスポーツ観客のための環境を整備する必要があります。そのため、スポーツコンベンションエリアの形成のために整備を優先する施設は、「市外からの参加者が多い大規模なスポーツイベント・大会の実績」と「スポーツ観戦客のための設備」の実態を踏まえて選定を行います。

＜スポーツコンベンションエリア形成のために整備を優先する施設の整理＞

	大規模なスポーツイベント・大会の実績	スポーツ観戦客のための設備
1. 宮古島市陸上競技場	トライアスロン大会等をはじめとする様々な大会・イベントで利用の実績あり	屋根のある観客席が整備されている
2. 宮古島市総合体育館	国体競技のバレーボールで利用の実績あり	2階に観客席が整備されている
3. 市民球場	プロ野球（1軍）キャンプ利用の実績あり	観客席は整備されているが、観覧者への安全面の配慮が不足している
4. 多目的前福屋内運動場	プロ野球（1軍）キャンプ利用の実績あり	観客席が整備されていない
5. 多目的前福運動場	プロ野球（1軍）、プロサッカーキャンプで利用の実績あり	観客席が整備されていない
6. 市営球場（カママ嶺）	大規模イベントでの利用の実績なし	観客席は老朽化により取り壊し予定
7. カママ嶺テニスコート	大規模イベントでの利用の実績なし	観客席が整備されていない



以上の整理から、整備を優先する対象施設としては、市民球場、多目的前福屋内運動場、多目的前福運動場、宮古島市陸上競技場、宮古島市総合体育館を選定します。

2) アスリート誘致エリア（下地地区）

① エリアに求められる具体的な機能

トップアスリートへのトレーニングの総合的な支援や、プロスポーツチームのキャンプが可能となるためには、以下の機能が求められます。

<アスリート誘致エリアに求められる機能>

- トレーニングに最適なグラウンド等の競技環境
- トレーニングする上での安全面に配慮した環境
- 雨天時でも快適なトレーニングが可能な環境
- 夜間でも快適なトレーニングが可能な環境
- トレーニングの見学者やファンを誘客するための環境
- トレーニングする上での快適な空調環境
- 充実したトレーニング環境

② エリアにおける施設の現状と課題

エリア内の施設は、全体的に老朽化しており、トップアスリートやプロスポーツがトレーニングとして利用する状態に達していない状態です。グラウンドの状態をみると、特に芝生部分がでこぼこであり、雑草が生え、芝が枯れている状態となっています。また、防球ネットが不十分であることや雨漏り箇所、夜間照明の故障などが見られます。

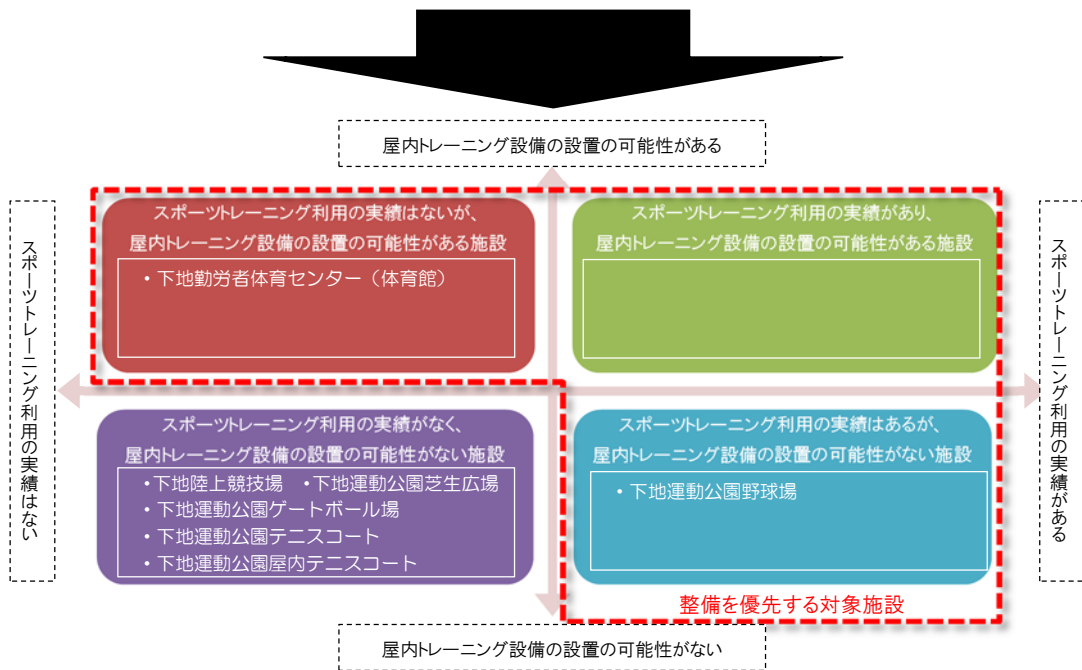
以上から、トップアスリートが十分にトレーニングできる環境の整備や、プロ選手が安心してプレーできるためのグラウンド環境の整備、観客への安全面の確保、雨天時や夜間での快適なスポーツ環境、誘客のための環境、空調の整備が必要となります。特に競技用プールは、市内スポーツ関連団体の意見も参考にして、整備を検討する必要があります。

③ 整備を優先する施設

アスリート誘致エリアで求められる機能を踏まえると、トップアスリートがトレーニングを実施できる環境を整備する必要があります。そのため、アスリート誘致エリアの形成のために整備を優先する施設は、「プロチームやトップアスリートのスポーツトレーニング利用の実績」と「屋内トレーニング設備の設置の可能性」を踏まえて選定を行います。

＜アスリート誘致エリア形成のために整備を優先する施設の整理＞

	プロチームやトップアスリートの スポーツトレーニング利用の実績	屋内トレーニング設備の設置の可能性
14. 下地陸上競技場	プロチーム等のトレーニング利用の実績なし	屋外施設のため屋内トレーニング設備の設置不可
15. 下地運動公園野球場	プロ野球（2軍）キャンプで利用の実績あり	屋外施設のため屋内トレーニング設備の設置不可
16. 下地運動公園ゲートボール場	プロチーム等のトレーニング利用の実績なし	屋外施設のため屋内トレーニング設備の設置不可
17. 下地運動公園テニスコート	プロチーム等のトレーニング利用の実績なし	屋外施設のため屋内トレーニング設備の設置不可
18. 下地運動公園屋内テニスコート	プロチーム等のトレーニング利用の実績なし	屋内施設であるが、競技面積が小さいため、トレーニング設備の設置不可
19. 下地運動公園芝生広場	プロチーム等のトレーニング利用の実績なし	屋外施設のため屋内トレーニング設備の設置不可
20. 下地勤労者体育センター（体育館）	プロチーム等のトレーニング利用の実績なし	広い屋内競技面積があるため屋内トレーニング設備の設置可能



以上の整理から、整備を優先する対象施設としては、下地運動公園野球場、下地勤労者体育センター（体育館）を選定します。

(3)優先する施設における必要な整備内容及び整備スケジュール

整備を優先する施設について、以下の内容で改善・整備、または必要に応じた施設の新設を検討します。個別施設の整備内容及び整備スケジュールについては以下のとおりです。整備は、3～5年以内での推進を目指します。

1) スポーツコンベンションエリア（平良地区）

施設	整備内容	整備スケジュール				
		H26	H27	H28	H29	H30
市民球場	・グラウンド環境の改善	→				
	・芝生の改善	→				
	・防球ネットの設置		→			
	・バックスクリーン、スコアボード、トイレ、放送設備等の刷新	→				
	・観客席の修繕（バリアフリー化等）			→	→	
	・フェンスの修繕			→	→	
	・日よけ（屋根など）の設置			→	→	
多目的前福屋内運動場	・雨漏りの修繕	→				
	・トレーニング室の改善			→	→	
	・人工芝の張り替え				→	→
多目的前福運動場	・芝生の改善		→			
	・ブルペンの修繕	→				
	・サブ球場の増設			→	→	
宮古島市陸上競技場	・芝生の改善（サッカー等で利用）		→			
宮古島市総合体育館	・空調設備の設置			→	→	
	・放送設備の充実			→	→	
	・電光掲示板の設置			→	→	
	・雨漏りの修繕	→				→

2) アスリート誘致エリア（下地地区）

施設	整備内容	整備スケジュール				
		H26	H27	H28	H29	H30
下地運動公園野球場	・グラウンド環境の改善		→	→		
	・芝生の改善		→	→		
	・防球ネットの設置			→	→	
	・ブルペンの拡張				→	→
	・日よけ（屋根など）の設置					→
	・観客席の修繕					→
下地勤労者センター（体育館）	・雨漏りの修繕	→				
	・床を張り替え、トレーニング機材を設置		→	→	→	
	・床を張り替え、人工芝の設置		→	→	→	
	・リハビリやスポーツ医療機材の設置		→	→	→	

参考資料：整備単価

①建て替え、大規模修繕の整備単価

スポーツ・レクリエーション系施設の建て替え、大規模修繕の整備単価

大規模改修	20万円/㎡	バリアフリー対応等社会的改修含む
建て替え	36万円/㎡	解体費含む

出典：総務省『公共施設及びインフラ資産の将来の更新費用の試算』

②エコ改修の整備単価

(VI地域)延床単位面積当たりの概算工事費(税込)

主な改修工事			エコ改修	左記のうち、老朽化対策
建築工事	外部	屋根工事	11,600円/㎡	9,000円/㎡
		外壁工事	2,000円/㎡	2,000円/㎡
	内部	サッシ・ドア	11,500円/㎡	0円/㎡
		床	12,900円/㎡	12,900円/㎡
		壁	1,300円/㎡	1,300円/㎡
		その他	400円/㎡	400円/㎡
	仮設・解体		9,100円/㎡	8,200円/㎡
電気工事	照明	1,200円/㎡	0円/㎡	
共通費			12,600円/㎡	8,800円/㎡
合計			62,600円/㎡	42,600円/㎡

出典：国立教育政策研究所 文教施設研究センター『学校施設の環境に関する基礎的調査研究報告書』

③芝生の整備単価

- ・芝生の整備には 1㎡ 当たり数千円～1 万円程度の費用がかかる。
- ・芝生の維持管理には 1㎡ 当たり数千円程度の費用がかかる。

出典：磐田市ホームページ 芝生化に関する費用について

(4)各施設の今後の整備の方向性

市内の全ての施設について、今後の整備の方向性を以下の表に提示しました。

	施設名	拠点施設	地区特性	エリア
平良地区	1. 宮古島市陸上競技場	○	陸上競技拠点 バスケットボール拠点 野球拠点 U17リフティング 拠点	スポーツコンベンションエリア
	2. 宮古島市総合体育館	○		
	3. 市民球場	○		
	4. 多目的前福屋内運動場			
	5. 多目的前福運動場			
	6. 市営球場（カママ嶺）			
	7. カママ嶺テニスコート			
城辺地区	8. 城辺運動公園野球場		サッカー拠点	
	9. 城辺運動公園多目的広場	○		
	10. 城辺運動公園テニスコート			
	11. 城辺運動公園ゲートボール場			
	12. 城辺陸上競技場			
	13. 城辺トレーニングセンター			
下地地区	14. 下地陸上競技場	○	トライアスロン拠点 テニス拠点 バドミントン拠点	アスリート誘致エリア
	15. 下地運動公園野球場			
	16. 下地運動公園ゲートボール場			
	17. 下地運動公園テニスコート	○		
	18. 下地運動公園屋内テニスコート			
	19. 下地運動公園芝生広場			
20. 下地勤労者体育センター（体育館）	○			
上野地区	21. 上野体育館	○	バレーボール拠点	
	22. 上野ゲートボール場			
	23. 上野陸上競技場			
	24. 大嶽城址公園野球場			
	25. 大嶽城址公園多目的広場			
	26. リフレッシュパークプール			
伊良部地区	27. 伊良部カントリーパーク（陸上競技場）	○	陸上競技拠点 バレーボール拠点	
	28. 伊良部テニスコート			
	29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール			
	30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場			
	31. 伊良部運動公園			
	32. 伊良部老人福祉センター（ゲートボール場）			
	33. 伊良部勤労者体育センター（野球場）			
	34. 平成の森公園			

優先整備 施設	今後の整備の方向性			備考
	機能を向上さ せるための改 修・整備	施設を維持す るための必要 な修繕	今後の活用 について検討す る	
○	●			スポーツイベント、大会等を誘致するための整備を行う
○	●			スポーツイベント、大会等を誘致するための整備を行う
○	●			スポーツイベント、大会等を誘致するための整備を行う
○	●			スポーツイベント、大会等を誘致するための整備を行う
○	●			スポーツイベント、大会等を誘致するための整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
	●			サッカー拠点施設として、芝生の改善等の整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●	●	中学校での利用がほとんどのため、今後の活用を検討する必要がある
		●	●	利用者や大会利用が少ないため、今後の活用を検討する必要がある
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
○	●			トップアスリート等を誘致するための整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
	●			テニス拠点施設として、コートの改善等の整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
○	●			トップアスリート等を誘致するための整備を行う
	●			バレーボール拠点施設として、空調設備等の整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
	●			施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●	●	ほとんど競技利用されておらず、今後の活用を検討が必要である
		●	●	ほとんど競技利用されておらず、今後の活用を検討が必要である
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●		施設を維持するために必要な整備を行う
		●	●	ほとんど競技利用されておらず、今後の活用について検討が必要である

7章 モデル事業～宮古島型地域スポーツ循環システム～

(1)事業の目的

宮古島のスポーツ施設の活用は、主に地域内での活用に留まっていますが、更なる活用の推進を行うため、トップアスリート、市民・競技者（市内外）、観光客等の誰もが、生涯を通じて、スポーツトレーニングに親しめる環境と観光振興・地域経済活性化に繋がる環境を作り出すため、地域スポーツ循環システムの整備を図ることを目的とします。

以下に、想定されるモデル事業による効果を示します。

【想定されるモデル事業による効果】

●スポーツアイランドとしての認知度の向上

先進的なスポーツ環境の提供により、市内外の競技者やトップアスリートが宮古島でトレーニング等を行うことで、さらにスポーツアイランドとしての認知度が向上することが期待されます。

●観光振興・地域経済活性化

スポーツ関連で市外からの来訪者が増加や、スポーツを活用した観光産業等との産学官連携により、地域経済の活性化が期待されます。

●雇用の創出

トップアスリート等へ総合的なスポーツ支援を行うために、高度な地域スポーツを支える人材を育成・活用や競技者から支える人材へのキャリアのステップアップによる人材の雇用の創出が期待されます。

●市民の競技力向上

高度なトレーニングプログラムとトップアスリートとの交流により、市民の競技力向上が期待されます。特にジュニア世代の競技力の向上が期待されます。

●施設整備の促進

スポーツ施設の新しい利用スタイルの構築や島内外からのスポーツ施設利用者の増加により、スポーツ施設の整備が期待されます。



施設・人・地域の好循環の創出

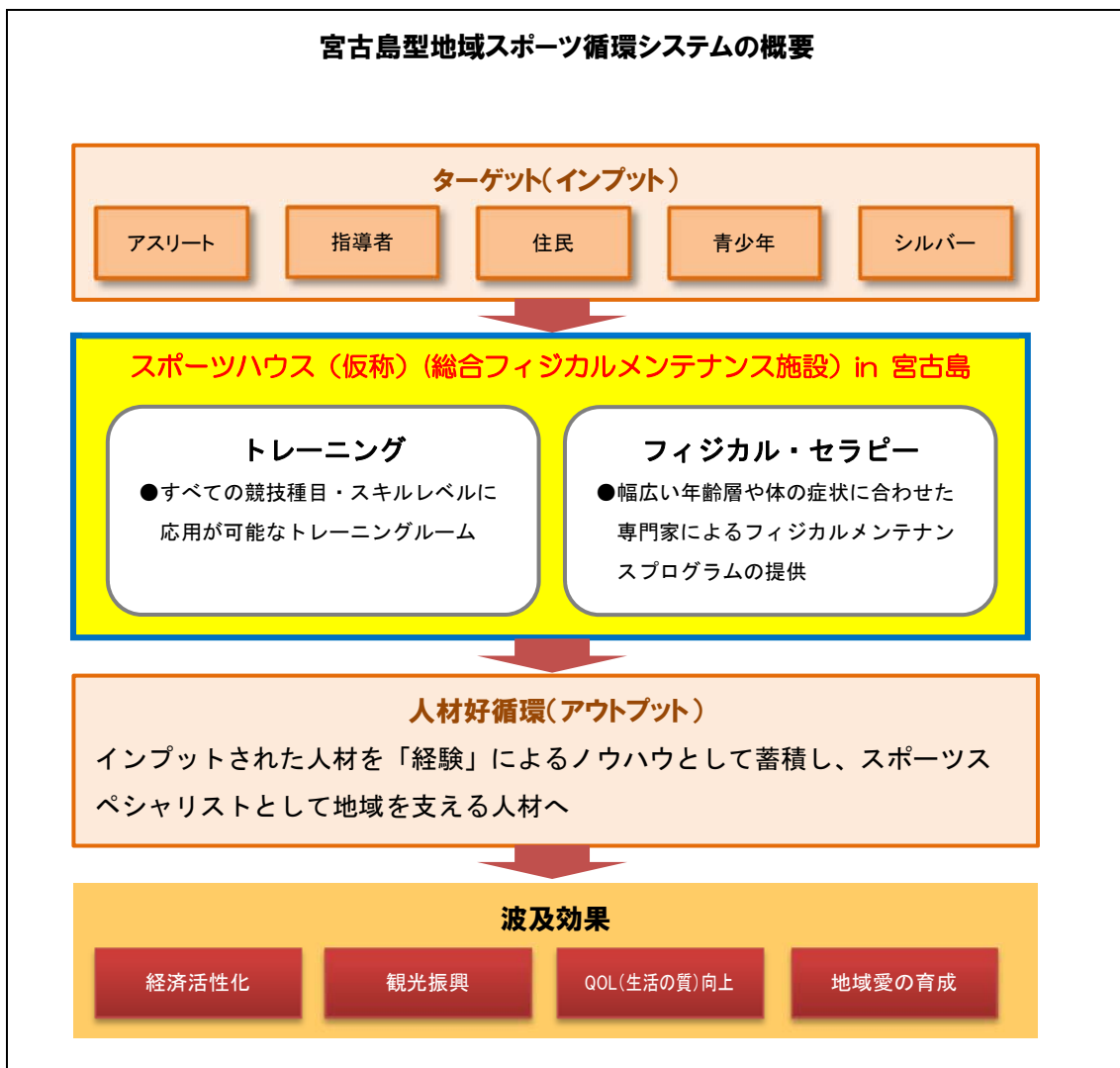
モデル事業概念図



(2)事業の概要

本計画に位置づける、アスリート誘致エリア及びスポーツコンベンションエリア等の既存スポーツ施設を有効活用（再整備）または施設を新設することにより、国内に無いサポート体制を整えたトレーニング施設（スポーツハウス（仮称））に再整備するとともに、トップアスリートや地域競技者・市外競技者が利用でき、さら地域競技者がアスリート・指導者・トレーナー・医療従事者にもキャリアをステップアップできる地域スポーツ循環システムの整備を図ります。

以下に、宮古島市型地域スポーツ循環システムの概要を示します。



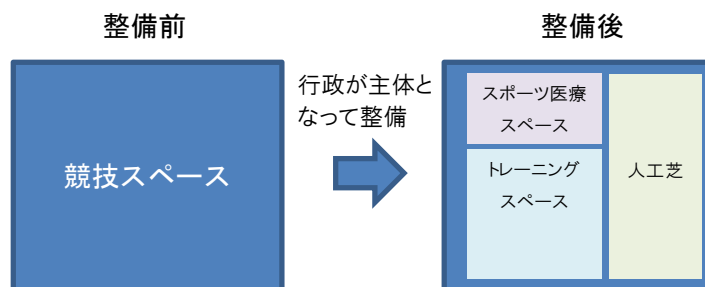
1) スポーツ施設の整備

年代・性別・障害、そして競技内容・競技レベルを問わず、広く人々が、関心、適正に応じて、スポーツに参画できる場所としての施設を整備します。整備する施設は、スポーツのために必要な「からだ」の維持・メンテナンスを日常的に行うことのできる『スポーツハウス（仮称）＝総合フィジカルメンテナンス施設』としての機能、及びスポーツ人材の拠点としての機能を有する施設とします。

スポーツ施設の整備は、行政が主体となり整備を行います。

整備イメージ

- 既存施設の一部を改修し、通常のトレーニングスペースの他に医療スペースや人工芝のスペースを設け、トップアスリート等のトレーニングを総合的に支援できる環境を整備します。



トップアスリートが利用するトレーニング施設のイメージ(事例:アリゾナ州:Fischer Sports)



2) 周辺スポーツ施設の整備

スポーツハウス（仮称）はトレーニング及び人材の育成の施設であり、競技を行うためには周辺の施設を利用することを想定し、周辺スポーツ施設の整備を行います。施設整備は、芝の改良等の整備も含め、計画的に推進します。

周辺スポーツ施設の整備は、行政が主体となり整備を行います。

3) アスリートの誘致

スポーツハウス（仮称）は、トップアスリートにも対応した施設機能及びサポート体制を整備します。施設の機能向上や人材育成、施設のPR等のために、スポーツハウス（仮称）をより多くの競技者の利用を促進するために、温暖な気候を活かして、年間を通じてトップアスリートの誘致を行います。

トップアスリートの誘致は、民間企業（スポーツマネジメント会社）等が行います。

4) 指導者・トレーナー・理学療法士・医師の誘致

トップアスリートや地域競技者、市民にトレーニング及びスポーツセラピーを提供するために、年間を通じて指導者、トレーナー、理学療法士、医師等のスポーツ専門の人材を誘致します。

これらの人材の誘致は、民間企業（スポーツマネジメント会社）等が誘致します。

5) 市民・競技者・スポーツ関連企業・観光客への情報発信

宮古島型地域スポーツ循環システムを市内外の方に多く利用してもらうために、市HP、広報、SNS、新聞・専門誌・情報誌等へ情報発信を行います。また、スポーツ関連企業や観光産業等の協力・連携を図ります。

6) 宮古島型地域スポーツ循環システムの運営・サポート

スポーツハウス（仮称）が実施する宮古島型地域スポーツ循環システムの運営・サポートには、高度な専門知識が必要であるため、スポーツ施設の管理・運営に必要な人材の誘致を行います。また、スポーツイベントの開催等のシステムの運営・サポートに必要な人材の誘致を行います。

これらの運営・サポートは、専門知識を有する民間企業が行います。

7) スポーツイベント等の開催

周辺のリゾート施設や事業者と連携して、整備施設や地域スポーツ人材を活用したスポーツイベントを開催します。

イベントの誘致活動及びイベントの開催は、運営事業者が行います。

8) 人材の育成

スタッフとしての事業運営を推進する中で、必要となる知識・技能を身に付けることにより、次世代を担う人材を育成します。

(3)事業期間

モデル事業の期間は、平成26年(2014)4月～平成31年(2019)3月の5年間とします。

(4)スケジュール

内容	年度	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
			モデル事業期間								
スポーツマネジメントプランの策定		→									
宮古島市スポーツ推進計画の策定			→								
スポーツ施設の再整備			→ 計画	→ 設計	→ 工事						
周辺スポーツ施設の再整備			→ 計画	→ 設計	→ 工事						
アスリートの誘致			→					→			
指導者・トレーナー・理学療法士・医師の誘致			→					→			
市民・競技者・スポーツ関連企業・観光客への情報発信			→					→			
スポーツイベント等の開催			→	→	→	→	→	→	→	→	
宮古島型地域スポーツ循環システムの運営・サポート			→					→			

スケジュール図の注釈:

- 26年度: 本格始動に向けた準備
- 29年度: 本格始動
- 32年度: 民間企業による自主始動

(5)実現に向けた今後の取り組み

今後具体的にモデル事業を進めるため、補助金活用の検討等、資金を含む事業の役割分担を明確にするとともに、施設の利用ルール等について、関係機関との調整を行う必要があります。

また、モデル事業期間後のスポーツ施設の管理・運営体制(指定管理等)の検討を行う必要があります。

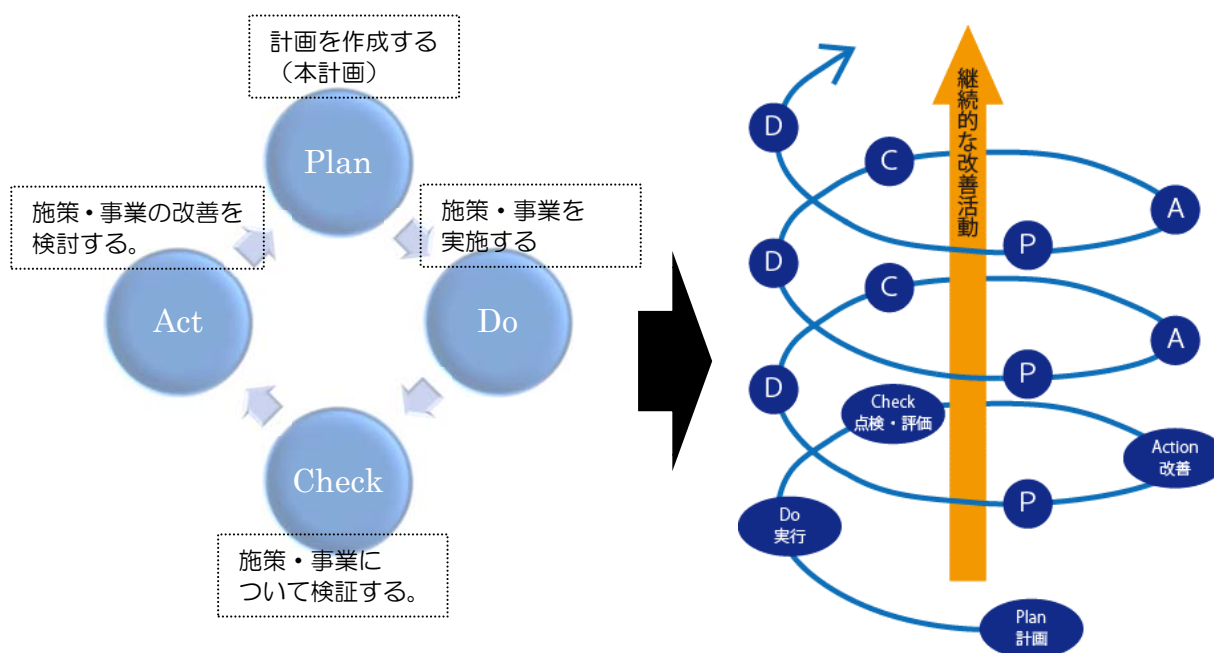
8章 実現に向けて

(1) 進行管理

スポーツマネジメントの事業を推進した結果として、成果について随時検証し、効果が高い場合は、対象を拡大するなどの対応を図ります。逆に効果が低い場合や、社会経済の環境変化などにより事業の必要性がみられなくなった場合などには、事業の縮小や廃止、他の事業への転換などを検討します。

「PDCAサイクル」と呼ばれる「計画(PLAN)」→「実施・実行(DO)」→「点検・評価(CHECK)」→「改善(ACTION)」の流れを定着させ、サイクルが回転することに水準がらせん状に高まっていく「スパイラルアップ」の実現を目指します。

<「PDCAサイクル」の概念>



(2) 今後のスポーツ振興に向けた提案

1) 宮古島スポーツとしてのメッカ形成

レガシーとして引き継がれているものを更に育て上げ、全国レベルでのメッカと評される所まで集中的に育成・強化・整備することが必要です。

特にトライアスロンは既に十分な実績を挙げており、更なる発展を目指す上で価値のある種目となっています。また、リオ五輪から正式種目となったパラトライアスロンは、今後我が国においても盛り上がりが見込まれている種目ではありますが、強化拠点や練習場所を確保することに困難をきたしている状況です。

2) 自転車特区によるサイクルスポーツの推進

パラトライアスロンの視覚障がい者は、バイクステージではタンDEM自転車に乗ることになります。しかしながら我が国では、一部を除いて公道をタンDEM自転車が走行することは認められていません。構造改革特区制度による制限解除とともに、道路上におけるサイクルスポーツの安全で効果的な環境整備に努めることにより、トライアスロン、サイクルスポーツからの一層の支持を得ることが必要であると考えられます。

3) 競泳用プール（屋外 50m）の新設

本市の気候特性に最も条件的に恵まれたスポーツが水泳であり、マリンスポーツです。国際的にも高度なレベルで活躍している競泳のトレーニングをはじめ、各種スポーツでのコンディショニングやリハビリテーションに効果的であり、また最近では健康増進のための水中運動が盛んに行われるようになりました。

競技用プールの設置は、市民や各種競技団体からも要望の高い施設であり、トップアスリート誘致の点でも重要度は高いと考えられます。

4) ジュニア世代の育成（教育特区）

地域の活力は、青少年を中心とする若者の活力によって支えられます。競技力向上のための一貫指導システムは、Jr.世代のタレント発掘から始まります。これらはドイツのゴールデンプランによる成功例を見本としているものであり、そのベースに地域スポーツクラブが存在します。このモデルを実現するためには、ヨーロッパ型の教育システムを導入する必要があり、構造改革特区制度によるスポーツ教育特区として取り組むことが効果的であると考えられます。

5) その他

県外からのイメージとして定着している観光スポーツとしてのマリンスポーツをはじめ、これもリオ五輪から正式種目となるゴルフは既に培われた財産となっており、特にスポーツツーリズムの観点からは貴重な資源と言えます。これらを体系的に育成支援し強化するシステムの構築も大いに検討に値すると思えます。

資料編

(1)施設分類別の状況

I 陸上競技場

A. 施設状況

地域ごとの競技会に陸上競技場が利用されています。陸上競技場のうち建築年が最も古いのは、昭和43年(1968)に設置した宮古島市陸上競技場であり、平成22年(2010)に改修されています。敷地規模が最も大きいのは、伊良部カントリーパーク(83,950㎡)であり、次いで上野陸上競技場となっています。

施設名	建築年	敷地規模	競技面積	備考
1. 宮古島市陸上競技場	昭和43年9月	32,820㎡	19,239㎡	改修済み
12. 城辺陸上競技場	昭和60年3月	22,000㎡	16,944㎡	
14. 下地陸上競技場	平成4年4月	21,607㎡		
23. 上野陸上競技場	昭和59年3月	38,559㎡	19,420㎡	
27. 伊良部カントリーパーク (陸上競技場)	平成7年6月	83,950㎡	21,213㎡	

B. 利用状況

宮古島市陸上競技場は利用者が最も多く、市外からの陸上合宿施設としても利用されています。各施設は、地区の陸上競技大会競技会や大会前の練習に利用されています。

施設名	年間利用者数 (平成24年度)	利用イベント・大会
1. 宮古島市陸上競技場	46,809人	トライアスロン実行委員会、高校夏季総体陸上、宮老連GG大会、県総体駅伝
12. 城辺陸上競技場	3,060人	※城辺中学校のグラウンドとして併用
14. 下地陸上競技場	474人	下地学区陸上競技大会、下地体協駅伝大会、下地体協新春ロードレース
23. 上野陸上競技場	2,276人	上野学区陸上競技大会、中学校駅伝
27. 伊良部カントリーパーク (陸上競技場)	1,900人	

施設名	申請方法	利用金額	
		専用利用	個人利用
1. 宮古島市陸上競技場	窓口申請	15,000円(9時～21時半)	300円(9時～21時半)トレーニング室:2h 200円
12. 城辺陸上競技場	窓口申請	10,000円(9時～19時)	無料(9時～日没)
14. 下地陸上競技場	窓口申請	10,500円(9時～19時)	無料(9時～21時半)
23. 上野陸上競技場	窓口申請	10,500円(9時～19時)	無料(9時～21時半)
27. 伊良部カントリーパーク (陸上競技場)	窓口申請	10,000円(9時～19時)	

C. 管理運営状況

伊良部カントリーパーク以外の施設は、担当課や利用時間、休館日が統一されています。また、常駐管理者を配置しているのは、宮古島市陸上競技場のみで、他の陸上競技場では常駐管理者を配置していません。

施設名	担当課	常駐管理者の有無	管理形態	利用時間	休館日
1. 宮古島市陸上競技場	生涯学習部 市民スポーツ課	有	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
12. 城辺陸上競技場	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
14. 下地陸上競技場	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
23. 上野陸上競技場	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
27. 伊良部カントリーパーク (陸上競技場)	伊良部支所 建設室	無	直営	9:00～19:00	土・日・祝・慰霊の 日・年末年始

D. 収入（施設利用料）

宮古島市陸上競技場が、最も施設利用料による収入が多く、他の陸上競技場と大きな差があります。また、宮古島市陸上競技場は、個人利用者から利用料を徴収したことより、平成23年度から収入が大きく増加しています。

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1. 宮古島市陸上競技場	163,750円	67,250円	55,750円	35,000円	2,165,460円	2,275,740円
12. 城辺陸上競技場	145,500円	157,000円	118,000円	111,600円	—	4,000円
14. 下地陸上競技場	—	—	19,950	10,550	4,200円	—
23. 上野陸上競技場	4,410円	—	10,500円	—	—	—
27. 伊良部カントリーパーク (陸上競技場)	1,000円	—	—	—	101,700円	105,600円

E. アンケート調査結果（陸上競技場に関する内容を抜粋）

施設利用者アンケート調査の施設利用の満足度では、宮古島市陸上競技場や城辺陸上競技場、伊良部カントリーパークは、概ね満足しているという結果になっています。下地陸上競技場は、「施設内の用具の種類や数、質」、「音響設備」、「喫煙所（場所、スペース）」に対して不満があるという結果になっています。

■施設利用者アンケート調査 「施設利用の満足度」

<満足度を2、やや満足を1、やや不満を-1、不満を-2として平均値を提示>

施設名	回答数	施設の開館日	施設の利用時間	申請の方法	利用の手続きや	施設の利用料金	や電話対応	職員の窓口対応	施設内において職員	運動スペースの質	運動スペースの清潔さ	種類や数、質	施設内の用具の	トイレの清潔さ
1. 宮古島市陸上競技場	11	0.45	0.73	0.36	0.00	0.82	0.45	0.64	0.82	0.00	0.91			
12. 城辺陸上競技場	2	1.50	1.50	1.50	1.50	0.50	0.50	1.50	1.50	0.00	0.00			
14. 下地陸上競技場	2	2.00	2.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	-1.00	1.00			
23. 上野陸上競技場	6	1.50	1.67	2.00	2.00	1.67	1.67	1.50	1.50	1.50	2.00			
27. 伊良部カントリーパーク (陸上競技場)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

施設名	トレーニングマシンの種類、数	トレーニング室のスペース	トレーニング室の清潔さ	照明の明るさ	空調設備	音響設備	バリアフリー	喫煙所(場所、スペース)	購買や自販機	駐車場・駐輪場の場所・広さ	公共交通によるアクセス性
1. 宮古島市陸上競技場	0.43	0.00	0.71	0.18	1.00	-0.10	0.90	0.86	1.40	0.73	0.75
12. 城辺陸上競技場	-	-	-	-	-	-	-	2.00	2.00	1.50	2.00
14. 下地陸上競技場	1.00	1.00	-1.50	1.00	1.00	-1.00	-0.50	-2.00	-1.00	2.00	1.50
23. 上野陸上競技場	1.00	1.00	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00	1.50	1.50	1.80	1.50
27. 伊良部カントリーパーク (陸上競技場)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

<施設利用者アンケート調査 陸上競技場に関する自由意見>

<宮古島市陸上競技場>

- 施設の維持、管理、質の向上に努めてほしい。
- 宮古島市において唯一の公認競技場でありながら祝祭日等の利用ができない。(翌日も含め)。
- 祝祭日にも開放してほしい。
- トレーニング室の器具を増やしてほしい。
- トレーニングジムを広くしてほしい。
- 外の照明をもう少し増やしてほしい。
- 夜間照明が暗く、日没後の利用が非常に危険である。
- 夜間の照明(無料)はメインスタンド側しか点灯せず、バックスタンド側は真っ暗。
- 夜間の照明がグラウンド全体に届かず、冬季には暗くなるのが早く、練習していても危険な場面が見られる。
- 陸上競技で使用する器具の使用料や器具の活用を使用しやすいようにしてほしい。

<城辺陸上競技場>

- グラウンドの整備、ナイターの補修、陸上競技の備品を充実させてほしい。
- 照明施設が使えない。メンテナンスをしっかりとしてほしい。

II 体育館

A. 施設状況

競技面積が最も大きいのは宮古島市総合体育館で、次いで上野体育館となっています。宮古島市総合体育館や城辺トレーニングセンター、上野体育館はほぼ同時期に整備された体育館です。

施設名	建築年	敷地規模	競技面積	備考
2. 宮古島市総合体育館	昭和 59 年 12 月	4,100 m ²	1,900 m ²	
13. 城辺トレーニングセンター	昭和 57 年 3 月	1,579 m ²	1,300 m ²	
20. 下地勤労者体育センター (体育館)	平成 4 年 4 月	1,629 m ²	1,425 m ²	
21. 上野体育館	昭和 58 年 3 月	3,333 m ²	1,500 m ²	

B. 利用状況

宮古島市総合体育館、上野体育館は、年間利用者数が多く、全市の大会が開催されています。下地勤労者センターや城辺トレーニングセンターは、年間利用者が少なく、地区の大会で利用されています。体育館の個人利用の利用料金は、同額となっています。

施設名	年間利用者数 (平成 24 年度)	利用イベント・大会
2. 宮古島市総合体育館	27,268 人	バレーボールフェスティバル、全宮古職域バレー大会、トライアスロン実行委員会、宮古体育大会ハンド競技、タートルマラソン大会、エコマラソン大会
13. 城辺トレーニングセンター	2,329 人	
20. 下地勤労者体育センター (体育館)	5,892 人	家庭婦人バレー、下地体協バレーボール大会、ツール・ド宮古
21. 上野体育館	15,063 人	中体連夏季大会(バスケ・バレー)、先島親善バレー大会、県中総体(バスケ)、春季ママさんバレー大会、県民体育大会ハンド競技、全宮古職域ハンドボール大会

施設名	申請方法	利用金額	
		専用利用	個人利用
2. 宮古島市総合体育館	窓口申請	15,000 円(9 時～21 時半)	一般 100 円(2h以内)
13. 城辺トレーニングセンター	窓口申請	7,000 円(9 時～21 時半)	一般 100 円(2h以内)
20. 下地勤労者体育センター (体育館)	窓口申請	9,450 円(全日)	一般 100 円(2h以内)
21. 上野体育館	窓口申請	13,650 円(全日)	一般 100 円(2h以内)

C. 管理運営状況

体育館の担当課や利用時間、休館日は統一されています。また、全ての体育館に常駐管理者が配置されています。

施設名	担当課	常駐管理者の有無	管理形態	利用時間	休館日
2. 宮古島市総合体育館	生涯学習部 市民スポーツ課	有	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
13. 城辺トレーニングセンター	生涯学習部 市民スポーツ課	有	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
20. 下地勤労者体育センター (体育館)	生涯学習部 市民スポーツ課	有	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
21. 上野体育館	生涯学習部 市民スポーツ課	有	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始

D. 収入（施設利用料）

施設利用料による収入は、宮古島市総合体育館が最も多く、次いで下地勤労者体育センターとなっています。また、施設や年度によって収入に大きな差があります。

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
2. 宮古島市総合体育館	3,104,051 円	2,301,258 円	3,031,030 円	1,772,825 円	3,519,055 円	2,210,125 円
13. 城辺トレーニングセンター	108,870 円	586,484 円	184,245 円	210,950 円	176,500 円	120,650 円
20. 下地勤労者体育センター (体育館)	1,088,970 円	647,725 円	533,795 円	360,910 円	671,695 円	541,583 円
21. 上野体育館	297,530 円	360,943 円	-	473,500 円	403,860 円	454,015 円

E. アンケート調査結果（体育館に関する内容を抜粋）

施設利用者アンケート調査の施設利用の満足度では、宮古島市総合体育館と上野体育館は、概ね満足しているという結果になっています。城辺トレーニングセンターでは、「トレーニング室・トレーニングマシン」や「バリアフリー」等に対して不満があるという結果になっています。下地勤労者体育センターでは、「トレーニング室の清潔さ」等に対して不満があるという結果になっています。

■施設利用者アンケート調査 「施設利用の満足度」

<満足度を2、やや満足を1、やや不満を-1、不満を-2として平均値を提示>

施設名	回答数	施設の開館日	施設の利用時間	申請の方法	利用の手続きや	施設の利用料金	や電話対応	職員の窓口対応	施設の対応	施設内において職	運動スペースの質	運動スペースの清潔さ	種類や数、質	施設内の用具の	トイレの清潔さ
2. 宮古島市総合体育館	86	1.21	1.22	1.04	0.95	0.95	0.93	1.06	1.20	0.90	0.86				
13. 城辺トレーニングセンター	2	2.00	2.00	1.50	1.50	0.50	1.50	0.50	-0.50	-0.50	-1.50				
20. 下地勤労者体育センター (体育館)	11	0.60	1.36	0.18	0.55	0.27	0.73	0.60	0.09	-0.50	-0.80				
21. 上野体育館	13	1.38	1.38	1.67	1.58	1.77	1.77	1.38	1.62	1.69	1.69				

施設名	トレーニングマシンの種類、数	トレーニング室のスペース	トレーニング室の清潔さ	照明の明るさ	空調設備	音響設備	バリアフリー	喫煙所(場所、スペース)	購買や自販機	駐車場・駐輪場の場所・広さ	公共交通によるアクセス性
2. 宮古島市総合体育館	0.88	1.06	1.15	0.67	0.52	0.93	1.00	1.11	0.73	-0.15	0.38
13. 城辺トレーニングセンター	-2.00	-2.00	-2.00	0.00	0.00	0.00	-2.00	-2.00	0.00	1.50	0.00
20. 下地勤労者体育センター (体育館)	0.00	0.00	-2.00	0.10	-0.70	0.00	0.50	0.33	0.45	1.27	-0.40
21. 上野体育館	0.83	0.83	1.50	1.69	1.54	1.75	1.50	1.50	1.69	1.27	1.11

<施設利用者アンケート調査 体育館に関する自由意見>

<宮古島市総合体育館>

- 体育館の休日をなくした方がいい。
- 駐車場をもっと増設してほしい。
- 総合体育館の中庭は駐車場に利用した方がよい。
- 放送設備の充実(各施設に必要)※陸上競技場の音響は良くない。
- 照明の設備(各グラウンド)
- 洋式のトイレを増やしてほしい。
- 休日祝日以外の日で利用の少ない施設等の管理運営について、効率的な人員配置を含め検討改善していくべき。
- きれいなフロアなのでまた利用したい。
- トライアスロン事務局のイスやテーブル等がちらかったままになっている。

Ⅲ 野球場

A. 施設状況

大嶽城址公園野球場以外は、ほぼ同じ競技面積になっています。

■野球場の施設状況

施設名	建築年	敷地規模	競技面積	備考
3. 市民球場	平成3年12月	23,180 m ²	13,353 m ²	
6. 市営球場(カママ嶺)	昭和54年6月	14,485 m ²	13,848 m ²	
8. 城辺運動公園野球場	平成3年7月	13,120 m ²	13,120 m ²	
15. 下地運動公園野球場	平成4年4月	16,879 m ²	13,040 m ²	
24. 大嶽城址公園野球場	昭和57年3月	7,233 m ²	7,233 m ²	
33. 伊良部勤労者体育センター (野球場)	昭和59年10月	15,968 m ²	12,600 m ²	

B. 利用状況

利用者が最も多いのは、市営球場(カママ嶺)であり、次いで市民球場となっています。市民球場や下地運動公園野球場は、プロ野球キャンプや社会人の宿泊・キャンプ等で利用されています。施設の専用利用の料金は施設により異なります。

■野球場の利用実態

施設名	年間利用者数 (平成24年度)	利用イベント・大会
3. 市民球場	3,371人	本島・宮古高校野球交流試合、夏季高校野球大会、中体連夏季大会(野球)、宮古体育大会、高校野球新人大会、中体連春季大会(野球)、オリックス・バファローズキャンプ(1軍)、大学、高校キャンプ
6. 市営球場(カママ嶺)	8,310人	連盟夏季軟式、連盟当間杯軟式、宮古体育大会、
8. 城辺運動公園野球場	271人	実業団野球チーム、大学、高校キャンプ
15. 下地運動公園野球場	1,751人	全中軟式(連盟)、下地体協野球大会、下地体協ソフトボール大会、オリックス・バファローズキャンプ(2軍)、
24. 大嶽城址公園野球場		
33. 伊良部勤労者体育センター (野球場)		

■野球場の利用方法

施設名	申請方法	利用金額	
		専用利用	個人利用
3. 市民球場	窓口申請	16,000円(9時~21時半)	一般 500円(1h)練習
6. 市営球場(カママ嶺)	窓口申請	3,780円(全日)	一般 500円(1h)練習
8. 城辺運動公園野球場	窓口申請	10,000円(1日)	一般 500円(1h)練習
15. 下地運動公園野球場	窓口申請	10,000円(1日)	一般 500円(1h)練習
24. 大嶽城址公園野球場	窓口申請	1,550円(全日)	
33. 伊良部勤労者体育センター (野球場)	-	3,780円(全日)	

C. 管理運営状況

施設により担当課や利用時間、休館日が異なります。全ての野球場で、常駐管理者は配置されていません。

■野球場の施設状況

施設名	担当課	常駐管理者の有無	管理形態	利用時間	休館日
3. 市民球場	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	9:00～21:30	月・祝・慰霊の日・年末年始
6. 市営球場(カママ嶺)	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	9:00～日没	月・祝・慰霊の日・年末年始
8. 城辺運動公園野球場	建設部 都市計画課	無	直営	7:00～17:00	月・祝・慰霊の日・年末年始
15. 下地運動公園野球場	建設部 都市計画課	無	直営	7:00～17:00	月・祝・慰霊の日・年末年始
24. 大嶽城址公園野球場	建設部 都市計画課	無	直営	9:00～日没	月・祝・慰霊の日・年末年始
33. 伊良部勤労者体育センター(野球場)	伊良部支所 地域づくり課	無	直営	9:00～日没	月・祝・慰霊の日・年末年始

D. 収入（施設利用料）

施設利用料による収入は、市民球場が最も多く、次いで下地運動公園野球場となっています。これらの野球場は、オリックス・バファローズの利用による利用料金の収入が大部分を占めています。

■野球場の施設状況

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
3. 市民球場	842,150円	2,655,920円	2,285,275円	3,857,600円	6,022,960円	3,895,780円
6. 市営球場(カママ嶺)	389,367円	411,141円	230,391円	211,470円	193,305円	228,900円
8. 城辺運動公園野球場	-	-	-	-	247,250円	237,700円
15. 下地運動公園野球場	-	-	-	486,650	213,790円	1,592,490円
24. 大嶽城址公園野球場	-	-	-	-	-	-
33. 伊良部勤労者体育センター(野球場)	-	-	-	-	-	-

E. アンケート調査結果（野球場に関する内容を抜粋）

施設利用者アンケート調査の施設利用の満足度では、市民球場と下地運動公園野球場は、概ね満足しているという結果になっています。市営球場（カママ嶺）では、「トイレの清潔さ」に対して不満があるという結果になっています。

■施設利用者アンケート調査 「施設利用の満足度」

<満足を2、やや満足を1、やや不満を-1、不満を-2として平均値を提示>

施設名	回答数	施設の開館日	施設の利用時間	申請の方法	利用の手続きや	施設の利用料金	や電話対応	職員の窓口対応	員の対応	施設内において職	運動スペースの質	清潔さ	運動スペースの清潔さ	種類や数、質	施設内の用具の種類	トイレの清潔さ
3. 市民球場	7	1.60	1.67	1.20	0.33	1.00	1.33	0.33	0.67	0.40	0.20					
6. 市営球場(カママ嶺)	4	1.75	1.75	1.33	1.67	1.75	2.00	1.50	1.25	0.33	-1.00					
8. 城辺運動公園野球場	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
15. 下地運動公園野球場	6	0.86	1.43	1.57	1.57	0.33	0.83	0.29	0.50	1.00	-0.50					
24. 大嶽城址公園野球場	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
33. 伊良部勤労者体育センター(野球場)	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

施設名	トレーニング室の種類の数	トレーニング室のスペース	トレーニング室の清潔さ	照明の明るさ	空調設備	音響設備	バリアフリー	喫煙所(場所、スペース)	購買や自販機	駐車場・駐輪場の場所・広さ	公共交通によるアクセス性
3. 市民球場	1.50	1.00	0.50	0.33	1.00	0.00	0.00	0.67	0.80	0.83	0.00
6. 市営球場(カママ嶺)	-1.00	-1.00	2.00	2.00	2.00	2.00	1.00	2.00	0.00	1.67	2.00
8. 城辺運動公園野球場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. 下地運動公園野球場	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00	0.33	1.50	0.60	0.67	0.50
24. 大嶽城址公園野球場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33. 伊良部勤労者体育センター(野球場)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

＜施設利用者アンケート調査 施設に関する自由意見＞

＜市民球場＞

- 土日祝日は施設を利用できるようにしてほしい。
- 球場内をキレイにしてほしい。場外の草刈は後回し。場内の水まき(内野)、雑草(内野)年間通してやってほしい。
- 夜間照明が暗い感じがしたので、改善してほしい。
- 照明施設をナイターの試合が可能な施設に改善してほしい。ナイター設備のない地域では大会等の誘致が困難になる。
- 駐車場をもっと確保してほしい。各スポーツ施設をまとめて総合スポーツ施設にしてほしい。

＜市営球場（カママ嶺）＞

- ティーバッティングなどに使うネットがあれば便利。
- 市営球場の修繕工事を望む
- トイレが汚いので清掃してほしい。ゴミ箱を設置してほしい。

＜城辺運動公園野球場＞

- 芝整備→韓国プロ野球キャンプ誘致

＜下地運動公園野球場＞

- 芝整備→韓国プロ野球キャンプ誘致

＜伊良部勤労者体育センター（野球場）＞

- 施設が適切に管理されていなく、利用者もほとんどいないように思われる。

IV 多目的広場・運動場

A. 施設状況

競技面積が最も大きいのは「平成の森公園」であり、次いで「多目的前福運動場」となっています。

■多目的広場・運動場の施設状況

施設名	整備年	敷地規模	競技面積	備考
5. 多目的前福運動場	平成 5 年	23,114 m ²	23,114 m ²	
9. 城辺運動公園多目的広場	平成 3 年 7 月	12,250 m ²	12,250 m ²	
19. 下地運動公園芝生広場	平成 4 年 4 月	3,616 m ²	3,616 m ²	
25. 大嶽城址公園多目的広場	昭和 57 年 3 月	4,000 m ²	4,000 m ²	
30. 佐良浜スポーツセンター 多目的広場	平成 2 年 7 月	10,628 m ²	9,758 m ²	
31. 伊良部運動公園		14,355 m ²	14,355 m ²	
34. 平成の森公園	平成 8 年	62,570 m ²	62,570 m ²	

B. 利用状況

年間利用者数が最も多いのは、多目的前福運動場であり、次いで佐良浜スポーツセンター多目的広場となっています。多目的前福運動場は、全市のサッカー大会やラグビー大会等で利用されています。

■多目的広場・運動場の利用実態

施設名	年間利用者数 (平成 24 年度)	利用イベント・大会
5. 多目的前福運動場	5,933 人	中体連夏季大会(サッカー)、G・G宮古実行委、宮古サッカーリーグ(社会人)、少年サッカー大会、ラグビー大会
9. 城辺運動公園多目的広場	2,107 人	
19. 下地運動公園芝生広場		
25. 大嶽城址公園多目的広場		
30. 佐良浜スポーツセンター 多目的広場	5,000 人	
31. 伊良部運動公園		
34. 平成の森公園		

■多目的広場・運動場の利用方法

施設名	申請方法	利用金額	
		専用利用	個人利用
5. 多目的前福運動場	窓口申請	広場:5,000 円(9 時~21 時半) 小:3,000 円(9 時~17 時)〈17 時以降:1h400 円〉 投球:1 プルペン 200 円	
9. 城辺運動公園多目的広場	窓口申請	10,000 円(1 日)	一般 500 円(1h) 練習
19. 下地運動公園芝生広場	窓口申請		
25. 大嶽城址公園多目的広場	窓口申請		

30. 佐良浜スポーツセンター 多目的広場	窓口申請		
31. 伊良部運動公園	窓口申請		
34. 平成の森公園	窓口申請		

C. 管理運営状況

施設により担当課や利用時間、休館日が異なります。全ての多目的運動場で、常駐管理者は配置されていません。

■多目的広場・運動場の施設状況

施設名	担当課	常駐管理者の有無	管理形態	利用時間	休館日
5. 多目的前福運動場	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
9. 城辺運動公園多目的広場	建設部 都市計画課	無	直営	7:00～17:00	無
19. 下地運動公園芝生広場	建設部 都市計画課	無	直営	7:00～17:00	無
25. 大嶽城址公園多目的広場	建設部 都市計画課	無	直営	7:00～17:00	無
30. 佐良浜スポーツセンター 多目的広場	教育委員会 伊良部分室	無	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
31. 伊良部運動公園	建設部 伊良部建設室	無	直営		無
34. 平成の森公園	建設部 伊良部建設室	無	直営		無

D. 収入（施設利用料）

多目的前福運動場の施設利用料の収入は、年度によって大きな差があります。

■多目的広場・運動場の施設状況

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
5. 多目的前福運動場	213,400円	74,300円	83,050円	49,650円	48,460円	98,465円
9. 城辺運動公園多目的広場	-	-	-	-	-	-
19. 下地運動公園芝生広場	-	-	-	-	-	-
25. 大嶽城址公園多目的広場	-	-	-	-	-	-
30. 佐良浜スポーツセンター 多目的広場	-	-	-	-	-	-
31. 伊良部運動公園	-	-	-	-	-	-
34. 平成の森公園	-	-	-	-	-	-

E. アンケート調査結果（多目的広場・運動場に関する内容を抜粋）

施設利用者アンケート調査の施設利用の満足度では、多目的前福運動場と平成の森公園は、概ね満足しているという結果になっています。

■施設利用者アンケート調査 「施設利用の満足度」

施設名	回答数	施設の開館日	施設の利用時間	申請の方法	利用の手続きや	施設の利用料金	や電話対応	職員の窓口対応	員の対応	施設内において職	運動スペースの質	清潔さ	運動スペースの清潔さ	種類や数、質	施設内の用具の種類や数、質	トイレの清潔さ
5. 多目的前福運動場	20	0.11	1.00	0.15	0.90	0.07	0.27	0.29	0.43	0.33	-0.69					
9. 城辺運動公園多目的広場	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19. 下地運動公園芝生広場	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 大嶽城址公園多目的広場	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31. 伊良部運動公園	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34. 平成の森公園	2	1.50	1.50	1.00	1.00	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00

施設名	トレーニングマシンの種類、数	トレーニング室のスペース	トレーニング室の清潔さ	照明の明るさ	空調設備	音響設備	バリアフリー	喫煙所（場所、スペース）	購買や自販機	駐車場・駐輪場の場所・広さ	アクセシビリティ	公共交通による
5. 多目的前福運動場	-0.60	-0.60	0.20	0.86	0.40	-0.50	-0.50	-0.60	0.14	0.38	0.00	
9. 城辺運動公園多目的広場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19. 下地運動公園芝生広場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 大嶽城址公園多目的広場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31. 伊良部運動公園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34. 平成の森公園	0.00	0.00	1.00	1.50	1.50	1.00	0.00	0.00	0.50	-0.50	-0.50	

<施設利用者アンケート調査 施設に関する自由意見>

<多目的前福運動場>

- 芝が伸び放題の時があります。
- (目的はグラウンドゴルフ) 芝の状態が非常に悪い。草の成長が速い 4・5 月頃から 11 月頃までは定期的に草刈を実施してほしい。
- 芝生の刈取を頻繁に丁寧にしてほしい。
- 除草回数を増やしてほしい。雑草が伸びすぎて支障をきたすことがしばしばある。
- 一年中、利用できるようにしてほしい。(前福グラウンドなど芝生の養生といても使用できない状態が多い)。
- 芝生の養生の期間が長すぎて使用できないことが多い。
- トイレをもっと清潔にしてほしい。
- 利用手続き、利用支払いも時間がかかり大変。
- 施設の整備やプロチーム使用等で使用禁止になることが多く、市民として不満を感じている。同様な施設(できればサッカー場)の建設を強く望む。
- 前福の芝の整備→社会人ラグビー、Jリーグ誘致。

V 屋内運動場

A. 施設状況

競技面積が最も大きいのは多目的前福屋内運動場であり、次いで下地運動公園屋内テニスコートとなっています。多目的前福屋内運動場と下地運動公園屋内テニスコートは、ほぼ同時期に整備させた施設となっています。

■屋内運動場の施設状況

施設名	建築年	敷地規模	競技面積	備考
4. 多目的前福屋内運動場	平成4年11月	23,114 m ²	11,300 m ²	
18. 下地運動公園 屋内テニスコート	平成4年4月	621 m ²		

B. 利用状況

屋内運動場は、雨天時の室内練習やフットサルで利用されています。また、オリックス・バファローズキャンプの時は、室内練習場として利用されています。

■屋内運動場の利用実態

施設名	年間利用者数 (平成24年度)	利用イベント・大会
4. 多目的前福屋内運動場	3,395人	フットサル大会、オリックス・バファローズキャンプ
18. 下地運動公園 屋内テニスコート	1,608人	

■屋内運動場の利用方法

施設名	申請方法	利用金額	
		専用利用	個人利用
4. 多目的前福屋内運動場	窓口申請	一般 3,400円(1h)	
18. 下地運動公園 屋内テニスコート	窓口申請	一般 6,000円(1日)	

C. 管理運営状況

施設により担当課や利用時間、休館日が異なります。屋内運動場で、常駐管理者は配置されていません。

■屋内運動場の施設状況

施設名	担当課	常駐管理者の有無	管理形態	利用時間	休館日
4. 多目的前福屋内運動場	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	8:30～21:30	月・祝・慰霊の日・ 年末年始
18. 下地運動公園 屋内テニスコート	建設部 都市計画課	無	直営	9:00～21:00	月・祝・慰霊の日・ 年末年始

D. 収入（施設利用料）

多目的前福屋内運動場の施設利用料の収入は、年度によって大きな差があります。

■屋内運動場の施設状況

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
4. 多目的前福屋内運動場	1,261,800円	1,415,300円	607,100円	554,200円	502,900円	590,850円
18. 下地運動公園 屋内テニスコート	-	-	-	-	-	-

E. アンケート調査結果（屋内運動場に関する内容を抜粋）

多目的前福屋内運動場では、「施設の利用料金」や「運動スペースの清潔さ」、「トレーニングマシンの種類、数」に対して不満があるという結果になっています。下地運動公園屋内テニスコートでは、「運動スペースの質」に対して不満があるという結果になっています。

■施設利用者アンケート調査 「施設利用の満足度」

<満足度を2、やや満足を1、やや不満を-1、不満を-2として平均値を提示>

施設名	回答数	施設の開館日	施設の利用時間	申請の方法	利用の手続きや	施設の利用料金	職員や電話対応	職員窓口対応	施設内において職員	運動スペースの質	運動スペースの清潔さ	運動スペースの清潔さ	種類や数、質	施設内の用具の種類や数、質	トイレの清潔さ
4. 多目的前福屋内運動場	6	-0.60	0.20	0.50	-1.40	0.20	0.20	-0.60	-1.00	-0.50	-0.83				
18. 下地運動公園 屋内テニスコート	4	-0.33	1.67	1.67	2.00	1.67	1.67	-1.00	0.33	0.33	-0.33				

施設名	トイレの種類、数の種類、数	トレーニング室のスペース	トレーニング室の清潔さ	照明の明るさ	空調設備	音響設備	バリアフリー	喫煙所(場所、スペース)	購買や自販機	駐車場・駐輪場の場所・広さ	アクセシビリティ	公共交通による
4. 多目的前福屋内運動場	-2.00	2.00	2.00	0.75	0.75	0.67	0.67	1.00	1.17	0.83	1.00	
18. 下地運動公園 屋内テニスコート	1.00	1.00	1.00	1.33	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	-0.50	

<施設利用者アンケート調査 施設に関する自由意見>

<多目的前福室内運動場>

- 前福屋内運動場の照明代が高く、学生での利用が厳しい。
- 前福屋内運動場にあるフットサルゴールのネット補修をお願いしたい。
- 屋内運動場は雨漏りがひどい。
- 少年用のゴールポストがない。他の市町村に比べてサッカー競技に対する備品等の配慮が足りない。

<下地運動公園屋内テニス場>

- 夜利用していると虫がすごく入る時があり、何か良い方法があれば(網戸を付ける等)良い。
- ネットを後片付けるのも義務付けが定着してよかった。
- テニスコートは使用后コート整備も義務付けたらもっと快適に使えるのではないかな。
- 冬季に施設が利用できないのが残念。夜間だけでも利用できたらよい。企業や団体に長期利用させるのは反対。
- 1~3月プロ野球キャンプ等で下地屋内テニスコートが使用できないため屋内多目的施設が他にあると便利。
- 室内のテニスコートをもっと充実させてほしい。(前福の屋内運動場でもテニスができるようにしてほしい)
- 屋内テニスコートを増やしてほしい。
- グラウンドゴルフもこのような施設を利用できれば良い。

VI テニスコート

A. 施設状況

競技面積が最も大きいのは城辺運動公園テニスコートであり、次いでカママ嶺テニスコートとなっています。最も古い施設は、カママ嶺テニスコートであり、次いで城辺運動公園テニスコートとなっています。

■テニスコートの施設状況

施設名	建築年	敷地規模	競技面積	備考
7. カママ嶺テニスコート	昭和 57 年 7 月	3,403 m ²	2,617 m ²	
10. 城辺運動公園テニスコート	平成 6 年 7 月	3,000 m ²	3,000 m ²	
17. 下地運動公園テニスコート	平成 4 年 4 月	2,590 m ²	2,484 m ²	
28. 伊良部テニスコート	平成 7 年 6 月	83,950 m ²	764 m ²	

B. 利用状況

年間利用者数が最も多いのは、カママ嶺テニスコートであり、次いで下地運動公園テニスコートとなっています。全市の大会は、カママ嶺テニスコートで行われています。

■テニスコートの利用実態

施設名	年間利用者数 (平成 24 年度)	利用イベント・大会
7. カママ嶺テニスコート	2,931 人	中体連夏季大会〈テニス〉、宮古体育大会テニス競技、中体連春季大会〈テニス〉、ジュニアテニス大会
10. 城辺運動公園テニスコート		
17. 下地運動公園テニスコート	111 人	
28. 伊良部テニスコート	60 人	

■テニスコートの利用方法

施設名	申請方法	利用金額	
		専用利用	個人利用
7. カママ嶺テニスコート	—		一般 200 円〈1h1面〉
10. 城辺運動公園テニスコート	—		一般 100 円〈1h〉
17. 下地運動公園テニスコート	窓口申請	6,000 円〈9 時～17 時〉	一般 200 円〈1h〉
28. 伊良部テニスコート	窓口申請	10,000 円〈9 時～19 時〉	

C. 管理運営状況

施設により担当課や利用時間、休館日が異なります。全てのテニスコートで、常駐管理者は配置されていません。

■テニスコートの施設状況

施設名	担当課	常駐管理者の有無	管理形態	利用時間	休館日
7. カママ嶺テニスコート	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	9:00～21:00	月・祝・慰霊の日・年末年始
10. 城辺運動公園テニスコート	建設部 都市計画課	無	直営	9:00～17:00	無
17. 下地運動公園テニスコート	建設部 都市計画課	無	直営	8:30～21:00	月・祝・慰霊の日・年末年始
28. 伊良部テニスコート	建設部 伊良部建設室	無	直営	8:30～19:00	土・日

D. 収入（施設利用料）

カママ嶺テニスコートの施設利用料の収入は、年度によって大きな差があります。

■テニスコートの施設状況

施設名	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
7. カママ嶺テニスコート	582,000円	583,260円	465,130円	111,000円	127,200円	56,880円
10. 城辺運動公園テニスコート	-	-	-	-	-	-
17. 下地運動公園テニスコート	-	-	-	-	-	-
28. 伊良部テニスコート	-	-	-	-	-	-

E. アンケート調査結果（テニスコートに関する内容を抜粋）

カママ嶺テニスコートでは、「トイレの清潔さ」に対して不満があるという結果になっています。

■施設利用者アンケート調査 「施設利用の満足度」

<満足度を2、やや満足を1、やや不満を-1、不満を-2として平均値を提示>

施設名	回答数	施設の開館日	施設の利用時間	申請の方法	利用の手続きや	施設の利用料金	や電話対応	職員の窓口対応	施設の対応	施設内において職	運動スペースの質	運動スペースの清潔さ	種類や数、質	施設内の用具の	トイレの清潔さ
7. カママ嶺テニスコート	1	1.00	1.00	-1.00	-1.00	2.00	1.00	-1.00	-1.00	1.00	-2.00				
10. 城辺運動公園テニスコート	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17. 下地運動公園テニスコート	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28. 伊良部テニスコート	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施設名	の種類の数	トレーニング室のスペース	トレーニング室の清潔さ	照明の明るさ	空調設備	音響設備	バリアフリー	喫煙所(場所、スペース)	購買や自販機	駐車場・駐輪場の場所・広さ	公共交通によるアクセス性
7. カママ嶺テニスコート	-	-	-	-	-	-	-	-	2.00	2.00	-
10. 城辺運動公園テニスコート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17. 下地運動公園テニスコート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28. 伊良部テニスコート	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

<施設利用者アンケート調査 施設に関する自由意見>

<カママ嶺テニスコート>

- 台風で柵などが壊れて危険な箇所がある。
- テニスコートの補修（コート面が傷んでいる）
- ナイター設備が壊れたままになっている。平日夜間しか練習できない一般の方々も尊重してほしい。
- 昨年からナイターも使えず、仕事をしている一般の方々はとても不便。
- カママ嶺テニスコートの照明の設置。
- ナイター設置、フェンス設置、まわりの革をとって、ネットを新しくして、できれば倉庫、ベンチプラス屋根も設置。
- カママ嶺、下地屋外、城辺のテニスコートの芝の状態が悪いので再整備してほしい。コケ等が生えている為すべって危険。
- 土・日が祝祭日の場合は開館してほしい。

<下地運動公園 テニスコート>

- 下地運動公園テニスコート、公休日でも利用できるようにしてほしい
- ナイターは一面のみで12月から3月は使用できない。
- 早急にテニスコートの補修、ナイターを設置してほしい。
- 一般は車があり利用できますが、中高生はなかなか行けなかった。

<城辺運動公園 テニスコート>

- 城辺運動公園テニスコートのネットが壊れていて利用できないので直してほしい。

VII ゲートボール場

A. 施設状況

競技面積が最も大きいのは、伊良部老人福祉センター（ゲートボール場）であり、次いで、城辺運動公園ゲートボール場となっています。

■ゲートボールの施設状況

施設名	建築年	敷地規模	競技面積	備考
11. 城辺運動公園 ゲートボール場	平成 3 年	3,000 m ²	3,000 m ²	
16. 下地運動公園 ゲートボール場	平成 4 年 4 月	1,887 m ²	1,809 m ²	
22. 上野ゲートボール場	昭和 62 年 3 月	2,576 m ²	2,576 m ²	
32. 伊良部老人福祉センター (ゲートボール場)	昭和 61 年 4 月	5,134 m ²	5,134 m ²	

B. 利用状況

各ゲートボール場は、地区の大会などで利用されています。

■ゲートボールの利用実態

施設名	年間利用者数 (平成 24 年度)	利用イベント・大会
11. 城辺運動公園 ゲートボール場	2,660 人	—
16. 下地運動公園 ゲートボール場	—	—
22. 上野ゲートボール場	—	—
32. 伊良部老人福祉センター (ゲートボール場)	—	—

■ゲートボールの利用方法

施設名	申請方法	利用金額	
		専用利用	個人利用
11. 城辺運動公園 ゲートボール場	窓口申請	—	—
16. 下地運動公園 ゲートボール場	—	—	—
22. 上野ゲートボール場	—	—	—
32. 伊良部老人福祉センター (ゲートボール場)	—	—	—

C. 管理運営状況

施設により担当課や利用時間、休館日が異なります。全てのゲートボール場に、常駐管理者は配置されていません。

■ゲートボールの施設状況

施設名	担当課	常駐管理者の有無	管理形態	利用時間	休館日
11. 城辺運動公園 ゲートボール場	建設部 都市計画課	無	直営	日中	無
16. 下地運動公園 ゲートボール場	建設部 都市計画課	無	直営	9:00~22:00	無
22. 上野ゲートボール場	生涯学習部 市民スポーツ課	無	直営	9:00~	無
32. 伊良部町老人福祉センター (ゲートボール場)	建設部 伊良部建設室	無	直営	8:30~17:00	土・日

D. 収入（施設利用料）

各ゲートボール場の施設利用による収入はありません。

E. アンケート調査結果（ゲートボール場に関する内容を抜粋）

ゲートボール場の利用者が回答したアンケートはありませんでした。

VIII プール

A. 施設状況

競技面積が最も大きいのは、リフレッシュパークプールであり、次いで、佐良浜スポーツセンター屋外プールとなっています。

■プールの施設状況

施設名	建築年	敷地規模	競技面積	備考
26. リフレッシュパークプール (うえのドイツ村のプール)	平成 13 年(改)		1,098 m ²	
29. 佐良浜スポーツセンター 屋外プール	平成 2 年 7 月	10,628 m ²	870 m ²	

B. 利用状況

公共プール施設は、レジャーで夏期のみ利用されており、競技利用されていません。

■プールの利用実態

施設名	年間利用者数 (平成 24 年度)	利用イベント・大会
26. リフレッシュパークプール (うえのドイツ村のプール)	6,489 人	-
29. 佐良浜スポーツセンター 屋外プール	507 人	-

■プールの利用方法

施設名	申請方法	利用金額	
		専用利用	個人利用
26. リフレッシュパークプール (うえのドイツ村のプール)	窓口申請	-	一般 700 円<1 回> 中学生以下 500 円<1 回>
29. 佐良浜スポーツセンター 屋外プール	窓口申請	-	一般 100 円<1h>

C. 管理運営状況

リフレッシュパークプールは、指定管理者制度を活用して施設管理されています。

■プールの施設状況

施設名	担当課	常駐管理者の有無	管理形態	利用時間	休館日
26. リフレッシュパークプール (うえのドイツ村のプール)	うえのドイツ村	無	指定管理	(平)9:00~20:00 (土・日・祝)9:00~18:00	月曜日
29. 佐良浜スポーツセンター 屋外プール	教育委員会 伊良部分室	有(夏期のみ)	直営	9:00~18:00	月・祝・慰霊の日・年末年始

D. 収入（施設利用料）

佐良浜スポーツセンター屋外プールの施設利用料による収入は、年間 2～5 万円と なっています。

■プールの施設状況

施設名	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
26. リフレッシュパークプール (うへのドイツ村のプール)	-	-	-	-	-	-
29. 佐良浜スポーツセンター 屋外プール	47,150 円	23,200 円	23,700 円	39,250 円	18,800 円	25,200 円

E. アンケート調査結果（プールに関する内容を抜粋）

プールの利用者が回答したアンケートはありませんでした。

<施設利用者アンケート調査 施設に関する自由意見>

- 年間を通じて利用できるプールがほしい。
- 宮古島市経営のプールを作って宮古に住んでいる方がいつまでも元気で長生きできるような日本一の長寿の島にしていきたい。
- 市の屋内プールがあるといい。
- 市民プール等を造るといい。
- 市民プールのような施設があればいい。
- プール施設が少なすぎる。
- 市営のプールがあれば色々活用できる。ぜひ検討してほしい。
- 室内プールがほしい。

<佐良浜スポーツセンタープール>

- 時々、プール内のペンキの塗装がはがれ水が汚れて見える。プール内のペンキの塗装はできないものか。

(2)アンケート調査

1)市民アンケート調査

<調査概要>

- 目的 : 宮古島市のスポーツ政策の基盤となる「施設」、「人材」、「コスト」、「情報」を総合的かつ計画的にマネジメントし、スポーツアイランドの実現を図るために、「スポーツマネジメントプラン」を策定する基礎資料とするため、宮古島市民を対象に、スポーツに対してどのように認識や期待を持っているか等を把握することを目的として実施しました。
- 調査日時 : 平成 25 年 (2013) 11 月 6 日 (水) ~ 11 月 15 日 (金)
- 調査対象 : 20 歳以上の市民 2,000 名 (無作為抽出。ただし、行政区・年齢・性別毎の人口比率から抽出件数を割り出しました)
- 調査方法 : 郵送での配布・回収による無記名アンケート形式
- 配布数 : 2,000 件
- 回収状況 : 407 件、回収率 : 20.4%

<調査結果の概要>

【回答者属性】

- ・回答者は、男女比では女性が少し多く、年齢層比では 50 代が少し多い。

【スポーツの実施状況について】

- ・週 1 回以上運動すると回答した人は 5 割以上。
- ・実施しているスポーツは、「散歩・ウォーキング」が最も多く、次いで「ランニング・ジョギング」、「体操 (ラジオ体操)」であった。
- ・主に運動やスポーツを行っている場所は、「道路・歩道」が最も多く、次いで「自宅や近所の公園」、「公共体育施設」であった。
- ・運動やスポーツに関する活動方法は、「個人で自由に活動」が最も多く、次いで「仲間で作っているサークル・同好会」であった。

【スポーツイベントの参加状況について】

- ・最も認知度が高いイベントは、全日本トライアスロン。
- ・今後のイベントへの関わり方は、「当日のみのボランティア」が最も多く、また、スポーツイベントになにかしら関わっていきたいと回答した方は 5 割以上。
- ・スポーツイベントの活性化に必要なことは、「イベントに関する情報提供」が最も多い。

【スポーツ施設の利用について】

- ・最近 1 年間で利用したスポーツ施設は、「宮古島市陸上競技場」が最も多く、次いで「宮古島市総合体育館」、「多目的前福運動場」であった。

<市民アンケート調査票>

運動・スポーツに関する市民アンケート

運動・スポーツの実施状況について

問1 あなたはこの1年間でスポーツや運動をどのくらい行いましたか。該当する番号に「○」をつけてください。

- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週4～5回 | 3. 週2～3回 |
| 4. 週1回 | 5. 2週間に1回 | 6. 1か月に1回 |
| 7. その他() | 8. ほとんどしていない | |

問2 あなたはどのようなスポーツや運動をしていますか。該当するすべての番号に「○」をつけてください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|----------------|------------------------|
| 1. 散歩・ウォーキング | 2. ランニング・ジョギング | 3. 陸上競技(トラック・フィールド 競技) |
| 4. サイクリング | 5. 野球 | 6. ソフトボール |
| 7. サッカー | 8. フットサル | 9. テニス |
| 10. バスケットボール | 11. バレーボール | 12. 卓球 |
| 13. バドミントン | 14. ウェイトトレーニング | 15. マリンスポーツ |
| 16. グラウンドゴルフ | 17. ゲートボール | 18. 水泳 |
| 19. ゴルフ | 20. 体操(ラジオ体操) | |
| 21. その他() | | |

問3 あなたは主にどこでスポーツや運動を行っていますか。該当するすべての番号に「○」をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 市内の公共体育施設 | 2. 民間の体育施設 |
| 3. 学校体育施設(学校名:) | 4. 自宅や近所の公園 |
| 5. 道路・歩道 | 6. 海 |
| 7. その他() | |

問4 あなたは主にどのようにスポーツや運動を行っていますか。該当するすべての番号に「○」をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 個人で自由に活動 | 2. 家族で活動 |
| 3. 仲間で作っているサークル・同好会 | 4. 市や地域の大会や競技会に参加 |
| 5. 職場のクラブ・サークル | 6. 体力づくり教室等に参加 |
| 7. 民間のスポーツクラブ | 8. 総合型地域スポーツクラブ |
| 9. その他() | |

スポーツイベントへの参加状況について

問5 市内のスポーツイベントへの参加状況（最近5年間）について教えてください。イベントごとに該当する番号に1つ「○」をつけてください。

		競技者として、参加したことがある	スタッフやサポートとして、参加したことがある	参加したことはないが、見たことはある	参加・見に行ったことはないが、イベントは知っている	イベント自体を知らない
宮古島100kmワイドマラソン	<1月>	1	2	3	4	5
プロ野球オリックス・バファローズキャンプ	<2月>	1	2	3	4	5
ロマン海道伊良部マラソン	<2月>	1	2	3	4	5
全日本トライアスロン 宮古島大会	<4月>	1	2	3	4	5
ビーチバレー宮古島大会	<6月>	1	2	3	4	5
ツール・ド・宮古島	<6月>	1	2	3	4	5
サニツ浜カーニバル	<7月>	1	2	3	4	5
宮古体育大会	<8月>	1	2	3	4	5
エコアイランド宮古島マラソン	<10月>	1	2	3	4	5
「南部忠平杯」グラウンドゴルフ宮古島大会	<11月>	1	2	3	4	5
生涯学習フェスティバル	<11月>	1	2	3	4	5

問6 市内のスポーツイベントへ今後どのように関わっていきたいですか。該当するすべての番号に「○」をつけてください。（複数回答可）

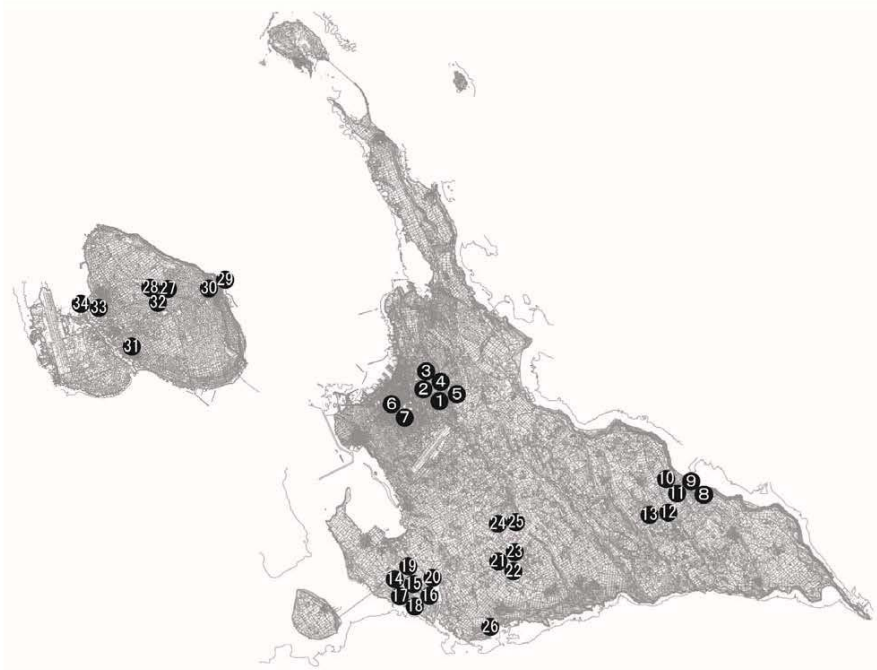
- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1. 競技者として | 2. 運営スタッフとして | 3. 当日のみのボランティア |
| 4. 全く関わりたくない | 5. わからない | |

問7 本市として、スポーツイベントの活性化のために今後何をしていく必要があると思いますか。該当するすべてに番号に「○」をつけてください。（複数回答可）

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. イベントに関する情報提供の充実 | 2. スタッフ・ボランティアの充実 |
| 3. プロスポーツチームや著名人の参加促進 | 4. スポーツ医療環境の充実 |
| 5. 子ども向けのイベントの充実 | 6. 観客が安心して観戦できる環境整備 |
| 7. 高齢者の健康促進のためのイベントの充実 | 8. 飲食店舗の充実 |
| 9. 障害者のスポーツイベントの充実 | 10. その他（_____） |

スポーツ施設の利用について

問8 最近1年間で利用したスポーツ施設を教えてください。該当するすべての番号に「○」をつけてください。(複数回答可)



市内の公共スポーツ施設位置図

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1. 宮古島市陸上競技場 | 18. 下地運動公園屋内テニスコート |
| 2. 宮古島市総合体育館 | 19. 下地運動公園芝生広場 |
| 3. 市民球場 | 20. 下地勤労体育センター(体育館) |
| 4. 多目的前福屋内運動場 | 21. 上野体育館 |
| 5. 多目的前福運動場 | 22. 上野ゲートボール場 |
| 6. 市営球場(カママ嶺) | 23. 上野陸上競技場 |
| 7. カママ嶺テニスコート | 24. 大嶽城址公園野球場 |
| 8. 城辺運動公園野球場 | 25. 大嶽城址公園多目的広場 |
| 9. 城辺運動公園多目的広場 | 26. リフレッシュパークプール(うえのドイツ村のプール) |
| 10. 城辺運動公園テニスコート | 27. 伊良部カントリーパーク(陸上競技場) |
| 11. 城辺運動公園ゲートボール場 | 28. 伊良部テニスコート |
| 12. 城辺陸上競技場 | 29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール |
| 13. 城辺トレーニングセンター | 30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場 |
| 14. 下地陸上競技場 | 31. 伊良部運動公園 |
| 15. 下地運動公園野球場 | 32. 伊良部町老人福祉センター(ゲートボール場) |
| 16. 下地運動公園ゲートボール場 | 33. 伊良部勤労者体育センター(野球場) |
| 17. 下地運動公園テニスコート | 34. 平成の森公園 |

問9 スポーツ施設、イベントなどについてご意見があればお書きください。

--

あなたについて

問10 あなたの性別に該当する番号に「○」をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問11 あなたの年齢に該当する番号に「○」をつけてください。

- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 | | |

問12 あなたのお住まいの地区（中学校区）に該当する番号に「○」をつけてください。

- | | | | |
|----------------------|-----------------------|------------|-----------------------|
| 1. 平良中学校
(平一小、南小) | 2. 北中学校
(北小、東小) | 3. 久松中学校 | 4. 鏡原中学校
(鏡原小、宮原小) |
| 5. 西辺中学校 | 6. 狩俣中学校
(狩俣小、宮島小) | 7. 池間小中学校 | 8. 西城中学校 |
| 9. 城辺中学校 | 10. 砂川中学校 | 11. 福嶺中学校 | 12. 下地中学校 |
| 13. 来間小中学校 | 14. 上野中学校 | 15. 伊良部中学校 | 16. 佐良浜中学校 |

※中学校区について不明な点がございましたら、担当者までご連絡ください。

アンケートへのご協力いただきありがとうございました。
アンケート用紙を同封の返信用封筒にいれ、11月15日（金）までに投函してください。

2)スポーツ施設利用者へのアンケート調査

<調査概要>

- 目的 : 宮古島市のスポーツ政策の基盤となる「施設」、「人材」、「コスト」、「情報」を総合的かつ計画的にマネジメントし、スポーツアイランドの実現に図るために、「スポーツマネジメントプラン」を策定する基礎資料とするため、宮古島市内の公共スポーツ施設の利用者を対象に、利用したスポーツ施設の満足度やスポーツ施設に対する期待等を把握することを目的として実施しました。
- 調査日時 : 平成 25 年 (2013) 11 月 6 日 (水) ~12 月 7 日 (金)
- 調査対象 : ①宮古島市内の公共スポーツ施設の利用者
②平成 24 年 3 月~平成 25 年 10 月の施設利用申請の提出者
- 調査方法 : ①スポーツ施設を利用申請の際に、窓口にて配布・回収による無記名アンケート形式、
②郵送による配布・回収による無記名アンケート形式
- 回収状況 : ①101 件、②86 件 合計 187 件

<調査結果の概要>

【回答者属性】

- ・回答者は、男女比では男性が少し多く、年齢層比では 60 代が少し多い。

【スポーツ施設の利用状況について】

- ・回答者の 8 割以上が団体利用。
- ・施設利用者の 7 割が自動車でアクセス。
- ・施設利用者の約 5 割が週 1 回以上利用している。
- ・施設利用の目的は、「健康維持増進」が 4 割以上と最も多く、次いで「練習・試合」、「趣味・余暇生活」であった。
- ・利用施設の選択した理由は、「身近にあるため」が約 4 割と最も多く、次いで「他の施設より施設や設備が充実しているから」、「他の施設より安価なため」であった。
- ・最近 1 年間で利用したスポーツ施設は、宮古島市総合体育館の利用者の回答が多いこともあり、「宮古島市総合体育館」が最も多く、次いで、「宮古島市陸上競技場」、「多目的前福運動場」であった。

【施設利用の満足度について】

- ・不満が多い項目として「イレの清潔さ」、「施設内の用具の種類や数、質」、「運動スペースの質（芝生の状態、グラウンドの固さなど）」、「駐車場・駐輪場の場所・広さ」、「照明の明るさ」、「施設の利用料金」などがあつた。

【施設の改善・要望について】

- ・施設の改善・要望は、「利用料金の引き下げ」が最も多く、次いで「用具・器具の充実」であった。

<施設利用者アンケート調査票>

スポーツに関する施設利用者アンケート

利用した施設について

今回利用した施設名と利用スポーツの種類を記載してください。

利用施設	
利用スポーツ種類	

あなたについて

問1 あなたの性別に該当する番号に「○」をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢に該当する番号に「○」をつけてください。

- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 0～9歳 | 2. 10歳代 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 |
| 5. 40歳代 | 6. 50歳代 | 7. 60歳代 | 8. 70歳以上 |

問3 あなたのお住まいの地区（中学校区）に該当する番号に「○」をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------|---------|
| 1. 宮古島市内 | 2. (県内)宮古島市外 | 3. 沖縄県外 |
|----------|--------------|---------|

↓ 「市内」と回答した方は、どの中学校区にお住まいですか。

- | | | | |
|----------------------|-----------------------|------------|-----------------------|
| 1. 平良中学校
(平一小、南小) | 2. 北中学校
(北小、東小) | 3. 久松中学校 | 4. 鏡原中学校
(鏡原小、宮原小) |
| 5. 西辺中学校 | 6. 狩俣中学校
(狩俣小、宮島小) | 7. 池間小中学校 | 8. 西城中学校 |
| 9. 城辺中学校 | 10. 砂川中学校 | 11. 福嶺中学校 | 12. 下地中学校 |
| 13. 来間小中学校 | 14. 上野中学校 | 15. 伊良部中学校 | 16. 佐良浜中学校 |

※中学校区について不明な点がございましたら、担当者までご連絡ください。

施設の利用状況について

問4 今回の利用形態は何ですか。該当する内容に「○」をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 個人利用 | 2. 団体利用 | 3. その他 () |
|---------|---------|------------|

問5 当該施設へはどのように来ましたか。該当する内容に「○」をつけてください。

- | | | |
|---------------|-----------|------------|
| 1. 自動車（学校車含む） | 2. 徒歩 | 3. 自転車 |
| 4. 路線バス | 5. バイク・原付 | 6. その他 () |

問6 当該施設の利用頻度をどのくらいですか。該当する内容に「○」をつけてください。

- | | | |
|----------|----------|---------------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度 | 3. 2～3週間に1回程度 |
| 4. 月1回程度 | 5. 年数回程度 | 6. はじめての利用 |

問7 当該施設を利用した目的は何ですか。該当する内容全てに「○」をつけてください。

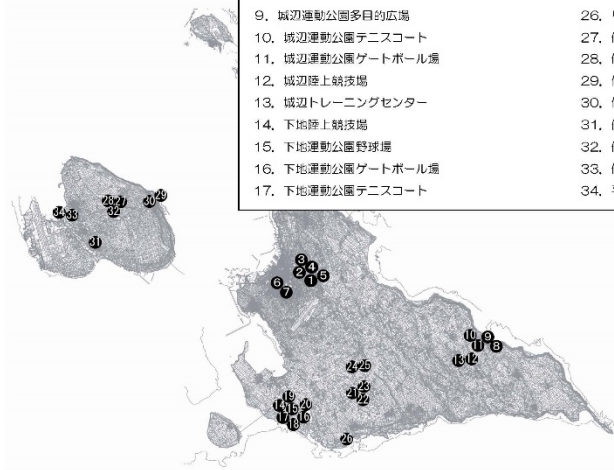
- | | | |
|-------------------|------------|-----------|
| 1. 健康・体力の維持増進 | 2. 趣味・余暇生活 | 3. 競技力向上 |
| 4. サークル参加 | 5. 練習・試合 | 6. ストレス解消 |
| 7. 教室・講習会等 | 8. ダイエット | 9. リハビリ |
| 10. その他 (_____) | | |

問8 当該施設を利用した理由は何ですか。該当する内容全てに「○」をつけてください。

- | |
|-------------------------|
| 1. 他の施設より施設や設備が充実しているため |
| 2. 他の施設より安価なため |
| 3. 他の施設よりスタッフが充実しているため |
| 4. 身近にあるため |
| 5. 関心のある催物をやっているため |
| 6. その他 (_____) |

問9 最近1年間で利用したスポーツ施設を教えてください。該当するすべての番号に「○」をつけてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1. 宮古島市陸上競技場 | 18. 下地運動公園屋内テニスコート |
| 2. 宮古島市総合体育館 | 19. 下地運動公園芝生広場 |
| 3. 市民球場 | 20. 下地勤労体育センター(体育館) |
| 4. 多目的前福屋内運動場 | 21. 上野体育館 |
| 5. 多目的前福運動場 | 22. 上野ゲートボール場 |
| 6. 市営球場(カママ権) | 23. 上野陸上競技場 |
| 7. カママ権テニスコート | 24. 大蔵城址公園野球場 |
| 8. 城辺運動公園野球場 | 25. 大蔵城址公園多目的広場 |
| 9. 城辺運動公園多目的広場 | 26. リフレッシュパークプール(うえのドイツ村のプール) |
| 10. 城辺運動公園テニスコート | 27. 伊良部カントリーパーク(陸上競技場) |
| 11. 城辺運動公園ゲートボール場 | 28. 伊良部テニスコート |
| 12. 城辺陸上競技場 | 29. 佐良浜スポーツセンター屋外プール |
| 13. 城辺トレーニングセンター | 30. 佐良浜スポーツセンター多目的広場 |
| 14. 下地陸上競技場 | 31. 伊良部運動公園 |
| 15. 下地運動公園野球場 | 32. 伊良部町老人福祉センター(ゲートボール場) |
| 16. 下地運動公園ゲートボール場 | 33. 伊良部勤労者体育センター(野球場) |
| 17. 下地運動公園テニスコート | 34. 平成の森公園 |



市内の公共スポーツ施設位置図

施設利用の満足度について

問 10 今回利用した施設の満足度について教えてください。項目ごとに該当する内容に「○」をつけてください。

		たいへん満足	どちらかといえば満足	やや不満	ひどく不満	利用したことがない
		良			悪	
利用条件	施設の開館日	1	2	3	4	
	施設の利用時間	1	2	3	4	
	利用の手続きや申請の方法	1	2	3	4	
	施設の利用料金	1	2	3	4	
スタッフ	職員の窓口対応や電話対応	1	2	3	4	
	施設内において職員の対応	1	2	3	4	
運動スペース	運動スペースの質（芝生の状態、グラウンドの固さなど）	1	2	3	4	
	運動スペースの清潔さ	1	2	3	4	
用具・設備	施設内の用具の種類や数、質	1	2	3	4	0
	更衣室・ロッカーの数	1	2	3	4	0
	更衣室・ロッカーの清潔さ	1	2	3	4	0
	シャワーの清潔さ	1	2	3	4	0
	トイレの清潔さ	1	2	3	4	0
トレーニング室	トレーニング室のマシンの種類・数	1	2	3	4	0
	トレーニング室のマシンのスペース（広さ）	1	2	3	4	0
	トレーニング室の清潔さ	1	2	3	4	0
環境	照明の明るさ	1	2	3	4	0
	空調湿度	1	2	3	4	0
	音響設備	1	2	3	4	0
	バリアフリー（段差の解消、手すりの設置）	1	2	3	4	0
その他	喫煙所（場所、スペース）	1	2	3	4	0
	購買や自動販売機	1	2	3	4	0
	駐車場・駐輪場の場所・広さ	1	2	3	4	0
	公共交通によるアクセス性	1	2	3	4	0

施設の改善・要望について

問 11 今回利用した施設で改善してほしい内容について教えてください。該当する内容全てに「○」をつけてください。

利用条件	1. 利用時間の拡大（早朝・夜間） 2. 利用料金の引き下げ 3. 利用手続き、料金支払方法の簡略化
スタッフ	4. 指導者・スタッフの配置 5. 管理人の常駐
施設・設備	6. 施設の競技スペースの質の向上 7. 快適な施設（空調・清掃）の維持 8. 更衣室・シャワーの充実 9. 用具・器具などの充実
利便施設	10. 談話室・軽食コーナーなどの設置 11. スポーツ用品の販売コーナーの設置 12. 健康・スポーツ相談室の設置
その他	13. 施設利用案内（パンフレット・掲示板など）の充実 14. スポーツ大会・イベントの開催 15. 初心者向けスポーツ教室の充実 16. その他（ _____ ）

問 12 スポーツ施設についてご意見があればお書きください。

アンケートへのご協力いただきありがとうございました。
アンケート用紙を同封の返信用封筒にいれ、11月15日（金）までに投函してください。

(3)策定の経過

本計画の策定までの経過は、次に示すとおりです

【平成 25 年度（2013）】

月 日	内 容
11月6日 ～15日	市民アンケート調査
11月6日 ～12月7日	施設利用者アンケート調査
11月25日	宮古島市スポーツマネジメント検討委員会 委嘱状（辞令）交付式 ・委嘱状交付
	第1回宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会 ・計画策定の背景及び事業概要について ・宮古島市のスポーツに関する現状について
1月9日 ～16日	スポーツ関連団体へのアンケート調査
1月30日	第2回宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会 ・課題について ・基本方針について ・意見交換
2月28日	第3回宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会 ・基本方針別取り組みについて ・地区別整備内容及びスケジュール ・モデル事業案について ・計画の愛称とスポーツアイランド憲章について
3月	計画の策定

(4)検討に関わる組織の設置要綱及び委員名簿

宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会設置要綱

平成25年9月27日

宮古島市教育委員会訓令第16号

(設置)

第1条 宮古島市スポーツアイランドの確立を図るため、基本方針となる「宮古島市スポーツマネジメントプラン」の策定に向け、宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、宮古島市スポーツマネジメントプランの策定に向けて、次に掲げることを検討する。

- (1) スポーツマネジメント方針に関すること。
- (2) スポーツ施設運営方針に関すること。
- (3) 指導者等人材育成に関すること。
- (4) パッケージモデル事業の展開に関すること。

(組織)

第3条 検討委員会は、委員20人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 有識者
- (2) スポーツ団体関係者
- (3) 地域関係者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、第1条に定める「宮古島市スポーツマネジメントプラン」の策定までの期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 検討委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によって選出し、副委員長は、委員長が指名する。
- 3 委員長は、検討委員会の会務を総理し、検討委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるときは、その職務を代理する。

(報償金)

第6条 委員に対する報償金は、予算の範囲内で決定し、これを支払うものとする。

(庶務)

第7条 検討委員会の庶務は、生涯学習部市民スポーツ課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する

宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会委員

	氏名	所属・役職等
1	吉田 章	元筑波大学大学院教授
2	本村 博昭	宮古島市スポーツ推進審議会 会長
3	上間 司	沖縄県 文化観光スポーツ部 スポーツ振興課長
4	砂川 恵助	宮古島市体育協会 副会長
5	来間 康夫	宮古島市スポーツ推進委員協議会 会長
6	豊見山 健児	宮古島観光協会 会長
7	下地 義治	宮古島商工会議所 会頭
8	垣花 義一	社会福祉法人 宮古島市社会福祉協議会 会長
9	野津 芳仁	(社)宮古青年会議所 理事長
10	大城 裕子	宮古島市文化協会 会長
11	洲鎌 菜保子	下地総合型スポーツクラブ 理事長
12	古堅 宗和	宮古島市 企画政策部長
13	安谷屋 政秀	宮古島市 総務部長
14	下地 康教	宮古島市 建設部長
15	平良 哲則	宮古島市 生活環境部長
16	下地 信男	宮古島市 観光商工局長
17	田場 秀樹	宮古島市教育委員会 教育部長
18	垣花 徳亮	宮古島市教育委員会 生涯学習部長

(5)宮古島市スポーツ推進委員会検討委員会について

「第1回宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会」議事録（要録）

日時 平成25年11月25日（月） 14時00分～16時00分

場所 宮古島市陸上競技場 会議室

1. 開会

2. あいさつ

- ・教育委員長からあいさつがあった。



3. 委員長及び副委員長選任

- ・委員長は、吉田章氏に選任された。
- ・副委員長は、本村氏に選任された。

4. 委員長あいさつ

- ・吉田章委員長からあいさつがあった。

5. 各委員の紹介

- ・各委員から本検討委員会に対する意気込みと自己紹介があった

6. 議事

(1) プラン策定の背景及び事業概要

(2) 宮古島のスポーツに関する現状

意見概要

- 今回のこのマネジメントプランでは、8年間の基本となる計画であれば、スケジュール的に非常に厳しいと思う。ある程度見える形でターゲットを絞りながら進める必要がある。
- 施設の有効活用・整備では、例えば一つの考え方として「ゾーニングする」ということも考えられる。宮古島の施設をゾーニング（取り組みの視点をそれぞれ分野別に分ける）して、住民向けに使いやすい施設、これはスポーツコンベンションに有効活用する施設などの施設整備の方針が考えられる。
- 人材育成では、どんな人材を求めているかということが重要である。人材を競技ス

スポーツや産業振興、地域活性化、イベントなどの分野別に分けて、方向性を持って人材を育成していくことなどが考えられる。

- 情報発信は、市民が対象なのか、あるいは県内外、県外が対象なのか。ターゲットの絞り方によっても情報発信の仕方が違う。
- 宮古島の環境では、団体競技より個人競技、例えばウエイトリフティングや、ボクシングなどが宮古島の環境にあっているという側面もある。宮古島の子供たちは非常にスポーツ競技に熱心であり、適切な競技種目をターゲットにした選手の育成、それから有能指導者の人材育成が、この宮古島のスポーツマネジメントの中でこういう人的パワー、人材育成、大きな歴史的なチャンスだと思っている。
- 東京オリンピックの時に宮古島からも、1人でも2人でもオリンピック選手が出たら、宮古島の人たちはスポーツに非常に関心があるので熱狂する。

7. 閉会

以上

「第2回宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会」議事録（要録）

日時 平成26年1月30日（木） 14時00分～17時00分

場所 宮古島市平良庁舎 6階 会議室

1. 開会

2. 委員長あいさつ

- ・吉田委員長からあいさつ

3. 報告



（1）第1回検討委員会での意見と対応(資料①)

- ・事務局から、第1回検討委員会での意見とその対応について報告を行った

（2）吉田委員長による意見

- ・吉田委員長より、第1回検討委員会の総括及びスポーツ振興に関する構想について報告を行った

4. 議題

（1）課題案について(資料②)

（2）基本方針案について(資料③)

意見概要

- 基本方針の施設の質の向上とは、どの程度を考えているか。また、施設の新設は考えていないのか。

- ➔ 施設ごと、または地区ごとに目指すべき施設の質を考えていかなければならないと考えている。
- ➔ 本計画は、既存施設の活用を中心だが、地区で設定する施設整備の方向性により、必要な施設を新たに整備することも考えられる。

- 東京オリンピックの開催は7月であり、最低でも空調設備を整った施設を整備が必要である。いろんな競技団体のアスリートが宮古島市で合宿を行うというのが前提であり、ハード面、ソフト面を急いで整備していく必要がある。
- 市営球場が来月から1年かけて整備を行うと聞いているが、マネジメントプランに

沿って、市営球場の整備をどのように進めているのか。また、この計画の内容と連携して、良いものができるか。

- ➔ 本計画は、現在策定中のため、市営球場の整備については、この計画の内容は反映されてない。
- ➔ 野球場の整備であるが、事業申請上は防災基地という位置づけがされている。今後の施設の在り方や整備のやり方については、一緒になって進めていく必要がある。

- この計画で、今後の宮古島市の総合的な整備計画が盛り込まれると期待していましたが、そのような内容になっていないのが残念である。もっと積極的な施設整備の計画を盛り込んでよい。
- 旧市町村ごとに総合型スポーツクラブと地域づくり協議会があり、2つの組織が1つになって、既存施設の指定管理者になったらどうかと思っている。
- 市営のプールがなく、アンケートでも、プールが必要であるという意見が多々あったので、私たちの希望としてもあったらいい。
- 施設の必要性について検討すると同時に、取り壊した後に何を整備するかも検討しなければ、7年後のオリンピックの選手を招く施設にならない。目的にあったスポーツ施設を各地に点在させていくのがよい。
- 新しく施設を整備する場合、何かイベントと絡めないと市民の理解は得にくい。2020年に開催される「東京オリンピック」の練習会場を整備するためには、市民の共感が得られるような目的を持たないといけない。
- 沖縄県では、年輪ピック、スポーツレクリエーションサイトを開催しており、宮古島からもかなりの方が参加されている。宮古島市にどちらかのイベントを誘致すれば、かなりの方々宮古島に足を運んでくれて、経済の活性化にもつながる。
- 平成22年度の沖縄県の男子の平均寿命は79.4歳、宮古島市は78歳である。宮古島市の平均寿命は県内で最下位であり、宮古島市が沖縄県の平均寿命を下げていると懸念している。
- 質の向上は、来る人（トップアスリート）が何を求めているのかが重要である。これは、市民利用レベルとは異なるレベルが求められる。市民の意見としてアンケートを取られているが、利用する側が何を求めているのをポイントして抑えてほしい。
- 必要人材育成は競技だけではない。総合型スポーツクラブが一番地域に近く、住民のためのスポーツの場であるので、生涯スポーツ、健康づくりの部分の人材育成が必要である。また、地域をマネジメントできる、地域の健康づくりをコーディネートできる人材も必要であり、長期的な視点で地域の健康づくりができる人材が必要

である。

- 資料3のスポーツマネジメントの目指すべき姿の中の「資源」とは、何を指すのですか。

→ 宮古島の資源には「自然」、「観光」、「文化」等も含まれるが、このスポーツマネジメントプランの主な資源は、「施設」と「人材」を指している。目指すべき姿の文言は、あくまで事務局案であるため、より適切な表現をご議論いただきたい。

5. 意見交換

(1) 意見交換について

(2) スポーツマネジメントプランの検討について

意見概要

- P16、P17：多目的前福運動場と城辺多目的広場は、サッカー拠点として弱いのではないかと。新しくサッカー場を整備する必要があるのではないかと。

→ サッカー場としての位置づけではないが、県営公園（仮称）の整備でサッカーができる整備を県に要望している。

- プールは、新しく市民プールを整備するのか、既存の施設を活用するのか。

→ プールに関しては、委員の意見を伺いたいと考えている。

- 類似施設がたくさんあり、施設の性能を変えても、今後も、これだけの施設が本当に必要かという議論になってしまうと思う。これらの施設の解体についての検討も必要ではないかと。

6. 閉会

以上

4) 第3回宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会

「第3回宮古島市スポーツマネジメントプラン検討委員会」議事録（要録）

日時 平成26年2月28日（金） 14時00分～17時00分

場所 宮古島市陸上競技場 会議室

1. 開会

2. 委員長あいさつ

- ・吉田委員長のあいさつ

3. 報告



(1) 第2回検討委員会での意見と対応(資料①)

- ・事務局から、第2回検討委員会での意見とその対応について報告を行った。

4. 議事

(1) スポーツマネジメントプラン素案について(資料②)

- ・事務局から、スポーツマネジメントプランの構成について説明を行った。

(2) スポーツマネジメントプランの内容について(資料③)

- ・事務局から、第4～6章の内容について説明を行い、委員から意見をいただいた。

(4) モデル事業案について(資料⑤)

- ・事務局から、第7章のモデルプランについて説明を行い、(2)の議事の時に、委員から意見をいただいた。

意見概要

- 空調設備が整備されていなければ、全国大会やプロチームの試合等を誘致できないため、市内の体育館に空調整備を取り付ける必要がある。
- 城辺地区は、サッカー競技の拠点となっているが、城辺地区の野球場はどのように利用されていくのか。

➔ 城辺地区は、サッカー拠点として整備の優先度も持たせるために位置づけています。野球場の整備をしないということではない。

- 芝生の維持管理については、民間活力の導入はもちろんですが、行政も施設管理の体制を整備することも必要である。

→ 芝生の維持管理については、専門人材が必要であることを計画の中で位置付けていきたい。

- 指定管理者制度の導入に関するスケジュールを計画に盛り込めないか。

→ 指定管理者制度の導入については、全施設で導入をするのか、地域別で絞るのかは、今後1年間を目処に結論を出したいと考えている。

- トップ選手が宮古島市でトレーニングをしている中で、もっと高規格な施設を新設する必要があるのではないか。

→ スポーツマネジメントプランは、施設の整備計画という位置づけではない。地域にとって必要な機能が、既存施設等で対応できない場合に、新設という議論になる。

- モデル事業を取り組んでいくためには、どのような施設が必要なのか、既存の施設をどのように整備していくことが必要ないのかが重要である。キャンプやアスリートを活用しながら、好循環型を目指すためには、もっと違う切り口で、どのようなスポーツ選手が宮古島に来て、何をして、何を求めているのかを情報として発信していくことが必要だと思う。

→ モデル事業に取り組む中で、必要な施設や人材が出てくる。その中で新設も検討されると思う。そのために、まずモデル事業を手がけようということである。

- 現在、計画中である宮古島ドーム（仮称）と県営公園（仮称）は、スポーツマネジメントプランの中にどのように盛り込まれているのか。

→ 県営公園（仮称）については、規模や場所等が決定していないため、本市の計画への反映はできないと考えている。宮古島ドーム（仮称）については、今後関連課と調整を行い連携について考えていきたい。

（3）計画の愛称とスポーツアイランド憲章について（資料④）

- 委員長から計画のサブタイトルとして「施設・人・地域の好循環を目指して」、キャッチフレーズとして「ばっしらいんホライゾン（水平線） 心に残るスポーツ体験」とする提案があり、承認された。
- 委員長から「宮古島市スポーツアイランド憲章」の提案があり、委員から意見をいただいた。

意見概要

- 「スポーツの絆を大切にします」は、スポーツ同士の絆のようならえ方になってしまうのではないか。

→ 絆ということは、人と人とのものであるため、あえて人と記載しなくてもよいと考えている。

- 「スポーツを応援し」が少しわかりにくいので「スポーツで、共に支え合います」に修正してはどうか。

→ ご指摘の通り修正する。

- スポーツと文化は両輪であるので、「文化・スポーツに誇りを持ちます」に修正してはどうか。

→ ご指摘の通り修正する。

- 既にスポーツアイランド構想があり、同じようなスポーツアイランド憲章を作成するためには、それぞれの位置づけや内容の整合性を確認してほしい。

→ 事務局で確認する。

<参考：意見を受けて修正した「宮古島市スポーツアイランド憲章（案）」>

宮古島市スポーツアイランド憲章（案）

- 一、宮古島市民はスポーツを楽しむ権利を大切にします。
- 一、宮古島市民は自らスポーツに親しみ、スポーツを楽しみます。
- 一、宮古島市民は積極的にスポーツで、共に支え合います。
- 一、宮古島市民はスポーツの絆を大切にします。
- 一、宮古島市民は島の文化・スポーツに誇りを持ちます。
- 一、宮古島市民はスポーツを通して島を明るく元気にします。
- 一、宮古島市民は全てのスポーツマンを歓迎します。
- 一、宮古島市民はスポーツの力を信じます。

5. 閉会

以上

宮古島市スポーツマネジメントプラン
(沖縄振興特別推進市町村交付金事業)

平成 26 年 3 月発行

編集・発行 宮古島市教育委員会

生涯学習部 市民スポーツ課

〒906-0007

沖縄県宮古島市平良字東仲宗根 676 番地 1

TEL 0980-73-4469

FAX 0980-73-5832

受託者 昭和株式会社

